

令和元年度版

市川市の教育

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育



市川市教育委員会



いつも新しい流れがある いちかわ

目 次

市川市の概要	2
第1章 教育行財政	4
第1節 教育委員会	5
第2節 組織及び事務分掌	11
第3節 教育財政	15
第4節 第3期市川市教育振興基本計画	16
第2章 学校教育	18
第1節 令和元年度学校教育の指導方針	19
1 幼稚園 編	
2 小・中学校、義務教育学校 編	
3 特別支援学校 編	
第2節 コミュニティ・スクール	32
第3章 生涯学習	34
第1節 生涯学習の推進	35
第2節 家庭・学校・地域の連携推進	37
第3節 学校施設の開放	41
第4節 青少年の健全育成の推進	42
第5節 文化財の保護と活用	51
第4章 教育機関	52
1 市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）	53
2 市川市教育センター	55
3 市川市立図書館	58
4 市川市公民館（社会教育課）	65
5 市川考古博物館	68
6 市川歴史博物館	70
7 市川自然博物館	72
8 市川市少年自然の家	74
資料編	76
I 学校施設関係	77
II 学校教育関係	93
III 生涯学習関係	110

市川市の概要

1 市川市の沿革

市川の地域に人々が住みはじめたのは今から約2万年前にさかのぼるといわれる。当時の市川は海と陸地に二分され、前者は現在の市川、八幡、中山、行徳、南行徳など市の南側の地域や低地が相当し、後者は貝塚などの遺跡の多い北側の台地すなわち須和田、国分、中国分、北国分、曾谷、大柏等が相当する。縄文時代、人々は海辺に近い場所に住居を構え、海と陸地からそれぞれの幸を食糧として生活し、相当大きな集落を形成していたと思われる。これら祖先の歴史は、堀之内、曾谷及び、姥山といった大貝塚をはじめ数多くの貝塚やその他の遺跡により知ることができる。

7世紀、大化の改新の後、今の国府台周辺に下総国を統治するために国府が設けられ、その後聖武天皇の代（天平14年）に国分寺が全国60余カ国に建立されることになり、下総国の国分寺は現在の市川市国分に建てられ、国分、国府台周辺を中心に非常に発展したものと考えられる。

江戸時代になると、幕府直轄の所領は寺社領等に属したが、廃藩置県後の明治6年、千葉県所管となった。同22年市制、町村制の施行により、市川町、八幡町、中山村及び国分村に分立したが、大正13年に至り中山村が町制を施し、昭和9年11月3日、市川町、八幡町、中山町及び国分村とが合併して市制を施行した。千葉県では、千葉市、銚子市について3番目の市、当時の人口は約4万だった。更に昭和24年11月3日大柏村、昭和30年3月31日行徳町、昭和31年10月1日南行徳町をそれぞれ合併した。

また、京葉工業地帯開発の一環として昭和32年以降51年1月まで公有水面埋立事業を行い、二俣新町、高谷新町、千鳥町、高浜町、塩浜、東浜、新浜3丁目がそれぞれ市域に編入され、現在（平成30年10月1日）市の面積56.39Km²、人口492,752人となっている。

2 位置・地勢

市川市は、千葉県の北西部に位置し、北は松戸市、東は船橋市、鎌ヶ谷市、南は浦安市及び東京湾に各々面し、西は江戸川を隔てて東京都江戸川区及び葛飾区と相對している。都心部と県内各地域を結ぶ広域交通網の集中する位置にあり、東西方向はJR総武線をはじめとする7路線の鉄道や、京葉道路、国道14号などの都市計画道路が整備されている。

市川市の地形は、北部から南部に向かってやや傾斜しているが概して平坦であり、北部は標高20m程度の台地、南部は標高2m程度の低地帯を形成している。台地は粘質壤土、低地は砂質壤土である。

北部には梨栽培などの農業が盛んで屋敷林などの緑も多く、また私立の幼稚園、小・中・高等学校、短大、大学なども多い文教・住宅都市である。南部は東京湾に臨み、京葉工業地帯の一翼を担っているとともに、新しい都会的な住宅都市が形成されている。



3 世帯数および人口の推移 (各年10月1日現在)

年	世帯数	人 口			人口増加率 (%)	人口密度 (1km ² 当たり)	世帯人員 (1世帯 当たり)	性比 (女=100)	備 考	
		総数	男	女						
大正 9年	3,217	17,921	9,717	8,204	-	781	5.57	118.4	国勢調査(第1回)	
	6,003	29,528	15,351	14,177	64.8	1,287	4.92	108	" (第2回)	
昭和 5年	7,467	37,789	19,067	18,722	28.0	1,647	5.06	101.8	国勢調査(第3回)	
	9	8,347	40,869	19,376	21,493	8.2	1,781	4.90	90.2	推計人口(市制施行11.3)
	10	8,895	46,711	22,637	24,074	14.3	2,035	5.25	94.0	国勢調査(第4回)
	15	11,706	58,060	28,324	29,736	24.3	2,530	4.96	95.3	" (第5回)
	19	15,691	69,711	32,073	37,638	20.1	3,038	4.44	85.2	人口調査(2.22)
	20	16,876	74,522	35,828	38,694	6.9	3,247	4.42	92.6	" (11.1)
	21	18,483	84,855	40,790	44,065	13.9	3,697	4.59	92.6	" (4.26)
	22	20,275	92,719	44,874	47,845	9.3	4,040	4.57	93.8	臨時国勢調査(第6回)
	23	20,710	95,091	46,422	48,669	2.6	4,143	4.59	95.4	常住人口調査(8.1)
	24 ※	21,738	100,252	48,974	51,278	5.4	3,039	4.61	95.5	大柏村合併(11.1)
	25	22,199	102,506	49,675	52,831	2.2	3,107	4.62	94.0	国勢調査(第7回)
	30 ※	26,851	126,959	62,095	64,864	23.9	2,772	4.73	95.7	行徳町合併(3.31)
	30	27,559	129,700	63,598	66,102	2.2	2,832	4.71	96.2	国勢調査(第8回)
	31 ※	29,917	141,528	69,280	72,248	9.1	2,752	4.73	95.9	南行徳町合併(10.1)
	32	31,314	145,175	71,349	73,826	2.6	2,823	4.64	96.6	
	33	32,476	148,352	73,104	75,248	2.2	2,885	4.57	97.2	
	34	34,048	151,299	74,514	76,785	2.0	2,942	4.44	97.0	
	35	37,647	157,301	78,220	79,081	4.0	3,059	4.18	98.9	国勢調査(第9回)
	36	40,150	160,195	79,745	80,450	1.8	3,115	3.99	99.1	
	37	45,356	168,914	84,311	84,603	5.4	3,285	3.72	99.7	
	38	49,515	179,233	89,376	89,857	6.1	3,381	3.62	99.5	
	39	54,650	191,256	95,990	95,266	6.7	3,608	3.50	100.8	
	40	56,549	207,988	105,731	102,257	8.7	3,923	3.68	103.4	国勢調査(第10回)
	41	58,770	215,338	109,887	105,451	3.5	4,062	3.66	104.2	
	42	63,935	228,446	116,381	112,065	6.1	4,276	3.57	103.9	
	43	67,487	238,580	121,457	117,123	4.4	4,448	3.54	103.7	
	44	70,765	247,700	126,073	121,627	3.8	4,608	3.50	103.7	
	45	77,618	261,055	132,787	128,268	5.4	4,856	3.36	103.5	国勢調査(第11回)
	46	81,610	271,094	137,894	133,200	3.8	5,043	3.32	103.5	
	47	86,024	280,603	142,723	137,880	3.5	5,219	3.26	103.5	
48	90,647	290,484	147,726	142,758	3.5	5,350	3.20	103.5		
49	95,174	301,952	153,680	148,272	3.9	5,464	3.17	103.6		
50	102,678	319,291	163,179	156,112	5.7	5,730	3.11	104.5	国勢調査(第12回)	
51	106,991	331,019	169,113	161,906	3.7	5,917	3.09	104.5		
52	110,451	341,387	174,176	167,211	3.1	6,103	3.09	104.2		
53	114,004	351,618	179,252	172,366	3.0	6,280	3.08	104.0		
54	115,869	356,925	181,893	175,032	1.5	6,380	3.08	103.9		
55	127,775	364,244	184,969	179,275	2.1	6,469	2.85	103.2	国勢調査(第13回)	
56	131,026	372,478	189,287	183,191	2.3	6,615	2.84	103.3		
57	134,635	380,126	193,095	187,031	2.1	6,751	2.82	103.2		
58	138,166	386,823	196,722	190,101	1.8	6,870	2.80	103.5		
59	141,452	393,748	200,458	193,290	1.8	6,993	2.78	103.7		
60	141,437	397,822	202,454	195,368	1.0	7,055	2.81	103.6	国勢調査(第14回)	
61	146,710	407,548	208,131	199,417	2.4	7,227	2.78	104.4		
62	151,294	415,073	212,333	202,740	1.8	7,361	2.74	104.7		
63	157,169	422,577	216,671	205,906	1.8	7,494	2.69	105.2		
平成 元年	162,022	428,709	220,337	208,372	1.5	7,603	2.65	105.7		
	2	169,836	436,596	225,177	211,419	1.8	7,742	2.57	106.5	国勢調査(第15回)
	3	175,340	443,378	228,909	214,469	1.6	7,863	2.53	106.7	
	4	179,741	446,897	231,204	215,693	0.8	7,925	2.49	107.2	
	5	181,576	447,165	231,457	215,708	0.1	7,930	2.46	107.3	
	6	181,568	444,468	230,034	214,434	△0.6	7,882	2.45	107.3	
	7	181,213	440,555	227,873	212,682	△0.9	7,813	2.43	107.1	国勢調査(第16回)
	8	183,081	440,627	228,077	212,550	0.0	7,814	2.41	107.3	
	9	185,683	441,893	228,870	213,023	0.3	7,836	2.38	107.4	
	10	189,031	444,575	230,184	214,391	0.6	7,884	2.35	107.4	
	11	191,932	447,335	231,551	215,784	0.6	7,933	2.33	107.3	
	12	193,582	448,642	232,473	216,169	0.3	7,956	2.32	107.5	国勢調査(第17回)
	13	198,203	454,858	235,556	219,302	1.4	8,066	2.29	107.4	
	14	203,210	461,603	238,796	222,807	1.5	8,186	2.27	107.2	
	15	205,024	463,103	239,192	223,911	0.3	8,213	2.26	106.8	
	16	206,963	464,873	240,050	224,823	0.4	8,244	2.25	106.8	
	17	208,168	466,608	239,659	226,949	0.4	8,275	2.24	105.6	国勢調査(第18回)
	18	210,519	468,113	240,213	227,900	0.3	8,301	2.22	105.4	
	19	213,411	470,074	241,009	229,065	0.4	8,336	2.20	105.2	
	20	216,655	473,064	242,477	230,587	0.6	8,389	2.18	105.2	
	21	219,184	475,751	243,836	231,915	0.6	8,437	2.17	105.1	
	22	220,582	473,919	239,222	234,697	△0.4	8,404	2.15	101.9	国勢調査(第19回)
	23	220,782	471,694	237,515	234,179	△0.5	8,365	2.14	101.4	
	24	219,645	469,224	235,766	233,458	△0.5	8,321	2.14	101.0	
	25	220,993	469,523	235,810	233,713	0.1	8,326	2.12	100.9	
	26	224,124	472,338	237,092	235,246	0.6	8,376	2.11	100.8	
	27	228,845	481,732	242,652	239,080	2.0	8,543	2.11	101.5	国勢調査(第20回)
	28	233,002	486,017	244,608	241,409	0.9	8,619	2.09	101.3	
	29	236,824	489,696	246,370	243,326	0.8	8,684	2.07	101.3	
	30	240,224	492,752	247,632	245,120	0.6	8,738	2.05	101.0	

注：大正9年から昭和5年までの国勢調査人口は、昭和9年11月3日市制施行時の市域(市川町、八幡町、中山町、国分村)をもって合算したものを示したもの。
 年次欄の※印は町村合併。 国勢調査年以外は、国勢調査の結果にその後の毎月の出生、死亡、転入、転出を加減したものである。
 平成29年版統計年鑑にて、平成27年10月1日現在の数値を平成27年国勢調査結果に差し替えた。

資料 総務部総務課

第1章 教育行財政	4
第1節 教育委員会.....	5
1 教育委員会の沿革	
2 教育委員会	
第2節 組織及び事務分掌.....	11
1 令和元年度 教育委員会組織図	
2 事務分掌	
第3節 教育財政.....	15
1 市川市一般会計予算と教育費の推移	
2 令和元年度当初予算（一般会計）	
3 教育費の割合（目的別・性質別）	
4 教育費の単位（市民1人、1世帯、児童生徒園児1人、1学級）あたり比較表	
第4節 第3期市川市教育振興基本計画.....	16
1 市川の教育の基本理念	
2 計画の基本的な考え方	
3 方針と目標	

第1章 教育行財政

第1節 教育委員会

1 教育委員会の沿革

昭和

- | | |
|---|---|
| <p>27. 11 教育委員会法（昭和23年法律第170号）により市川市教育委員会設置
事務局 市役所内（旧庁舎）庶務課、学校教育課、図書館、公民館をもって発足
委員長 内田安右衛門
教育長 島津新治
公選委員 山越亮治、広瀬安之、岩間義定、大原留吉
議会選出委員 内田安右衛門</p> <p>28. 4 平田小学校開校
4 事務局八幡小学校内へ移転
第1回市川市美術展覧会開催（公民館）
11 委員長 岩間義定就任</p> <p>29. 11 委員長 山越亮治就任</p> <p>30. 4 事務局 八幡2丁目地先へ移転
7 市川市公民館運営審議会設置
9 行徳小学校校舎落成
11 委員長 広瀬安之就任</p> <p>31. 1 第1回成人式式典挙行（和洋女子大）
4 鬼高小学校開校
4 稲荷木小学校開校
5 委員長 大原留吉就任
10 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31.6.30公布）により教育委員が任命制となる
委員長・越田穰、教育長・島津新治</p> <p>32. 4 菅野小学校開校
4 養護学校（中学部）開校
5 八幡宮境内に図書館新築・移転、同時に事務局図書館内に移転</p> <p>33. 7 市内各小学校のプール設置始まる（中山小、富貴島小、菅野小）</p> <p>34. 4 第六中学校開校
7 市庁舎落成、同時に事務局移転
10 委員長 伊東教順就任</p> <p>35. 1 市民会館開館
4 市川市文化財審議会設置
6 機構改革により指導課設置</p> | <p>36. 4 機構改革により教育研究所設置</p> <p>37. 4 第七中学校開校
6 市川市スポーツ振興審議会設置</p> <p>38. 4 機構改革により保健体育課設置
4 言語治療教室はじまる（八幡小）
7 委員長 神納木与志雄就任</p> <p>39. 6 市立図書館行徳分館開館
7 教育次長制実施</p> <p>40. 4 情緒障害学級はじまる（国府台小）
7 教育長 富田英夫就任</p> <p>41. 4 留守家庭児童会（現保育クラブ）発足（市川小内）
10 委員長 吉田真就任</p> <p>42. 4 第八中学校開校
4 鶴指小学校開校
7 新舞子に市立海の家開設</p> <p>43. 4 機構改革により青少年補導センター設置
4 宮久保小学校開校
5 市立図書館新館開館
12 共同調理場方式による学校給食開始（鶴指小、第八中）</p> <p>44. 3 市川市青少年補導センター運営協議会設置
4 機構改革により青少年課設置
7 市川市奨学生選考委員会設置</p> <p>45. 4 二俣小学校開校</p> <p>46. 4 二俣、信篤、稲荷木各幼稚園開園
10 機構改革により施設課設置</p> <p>47. 4 中国分、曾谷各小学校開校
4 養護学校（高等部）開校
4 難聴学級はじまる（稲荷木小）
11 市立博物館開館
11 市立市川博物館協議会設置
12 委員長 渋谷寿光就任</p> <p>48. 4 大町小学校開校
4 養護学校（小学部）開校
4 鬼越・鬼高青少年館開館</p> |
|---|---|

第1章 教育行財政

- | | | | |
|--------|---|-------|------------------------------------|
| 9 | 国府台公園に市民体育館開館、同時に名称をスポーツセンターに改称 | 4 | 機構改革により管理部内に企画調整課設置 |
| 49. 4 | 北方小学校開校 | 4 | 大野、南新浜、新井小学校開校 |
| 4 | 宮田青少年館開館 | 4 | 東国分中学校開校 |
| 4 | 市川市心身障害児就学指導委員会設置 | 4 | 本行徳公民館開館 |
| 9 | 大洲幼稚園開園 | 4 | 行徳図書館・移動図書館を本行徳公民館図書室に移転 |
| 10 | 機構改革により企画調査課設置 | 4 | 行徳、新井青少年館開館 |
| 10 | 機構改革により市民会館が市長部局総務部へ移管される | 4 | コミュニティスクール モデル校5校指定 |
| 11 | 西部公民館設置、同時に従来の公民館を中央公民館に改称 | 56. 4 | 稲越、塩焼、塩浜小学校開校 |
| 50. 4 | 市川青少年館開館 | 4 | 市川市立小・中学校通学区域審議会設置 |
| 4 | 新浜小学校開校 | 5 | 委員長 前川峯雄就任 |
| 4 | 委員長 甲田義男就任 | 5 | 市川駅南公民館開館(総合福祉センターに併設、現 こども発達センター) |
| 4 | 南行徳幼稚園開園 | 9 | 大野公民館開館(大柏出張所に併設) |
| 4 | 平田青少年館開館 | 10 | 市立行徳図書館新館開館(行徳支所に併設) |
| 4 | 市川市幼児教育振興審議会設置 | 10 | 委員長 富山新一就任 |
| 7 | 百合台幼稚園開園 | 10 | 稲越、塩焼小学校に市民図書館開設 |
| 9 | 移動図書館みどり号開設 | 57. 4 | 信篤公民館開館 |
| 10 | 宮久保青少年館開館 | 4 | 大洲、塩浜中学校開校 |
| 51. 11 | 湊青少年館開館 | 4 | 大洲中学校内に夜間学級開設 |
| 12 | 長野県菅平に菅平高原いちかわ村(林間施設)開設 | 4 | 塩焼幼稚園開園 |
| 52. 2 | 委員長 富山新一就任 | 4 | 本八幡、奉免青少年館開館 |
| 4 | 百合台小学校開校 | 7 | 市民プール開設 |
| | 市立新舞子海の家閉鎖 | 7 | 少年自然の家開所 |
| 53. 1 | 社会教育会館開館 | 10 | 委員長 伊藤一郎就任 |
| 4 | 機構改革により部制実施(学校教育部、社会教育部設置) 社会体育課及び文化課設置、企画調査課廃止 | 11 | 歴史博物館開館(従来の博物館が考古博物館となる) |
| 4 | 富美浜小学校開校 | 58. 4 | 大和田小学校開校 |
| 4 | 新浜幼稚園開園 | 5 | 曾谷公民館開館 |
| 7 | 信篤小学校、原木2-16-1へ移転 | 10 | 市立南行徳図書館開館 |
| 9 | 行徳公民館開館(行徳支所に併設) | 11 | 教育研究所を市川市教育センターに改称、南八幡5丁目へ移転 |
| 10 | 鬼高公民館開館 | 60. 4 | 福栄小学校開校 |
| 54. 2 | 信篤図書館開館(信篤小跡地) | 4 | 南行徳中学校開校 |
| 2 | 市立図書館行徳分館を行徳図書館に改称 | 4 | 香取青少年館開館 |
| 2 | 八幡青少年館開館 | 5 | 信篤市民体育館開館 |
| 2 | 富美浜青少年館開館 | 10 | 福栄小学校に市民図書館開設 |
| 4 | 柏井、大洲、幸小学校開校 | 61. 4 | 妙典中学校開校 |
| 4 | 下貝塚、高谷、福栄中学校開校 | 10 | 文化振興基金設置 |
| 4 | 東部公民館開館 | 62. 4 | 自然博物館開館準備室開設 |
| 5 | 機構改革により管理部設置(二部制より三部制へ) | 5 | 若宮公民館開館 |
| 8 | 教育長 山口重直就任 | 6 | 市民プールに太陽熱利用プールハウス設置 |
| 55. 3 | 柏井公民館開館 | 10 | 平田図書室開館 |
| | | 12 | 青少年教育国際交流基金設置 |
| | | 63. 4 | 妙典中学校新校舎落成 |

第1章 教育行財政

平成

- 元. 3 大畑・教育基金設置
- 4 行徳図書館移転（行徳支所隣）
- 4 全校コミュニティスクール実施
- 5 幸公民館開館
- 7 中央図書館等建設準備室開設
- 10 市川自然博物館開館（市川市動植物園内）
- 10 塩浜市民体育館開館

- 2. 4 スクールコンサルタント室開設
- 5 南行徳公民館開館
- 7 機構改革により文化スポーツ部設置（三部制より四部制へ）文化課、社会体育課を移管

- 3. 4 大柏小学校に市民図書室開設
- 5 市川公民館開館

- 5. 4 教育長 最首輝夫就任

- 6. 4 委員長 多田實就任
- 4 青少年補導センターを少年センターに改称
- 7 機構改革により社会教育部を生涯学習部に、社会教育課を生涯学習課に改称
管理部中央図書館等建設準備室を中央図書館等開設準備室に改称し生涯学習部へ、図書館を文化スポーツ部から生涯学習部へ移管
- 11 市川市生涯学習センター「メディアパーク市川」開館
中央図書館、映像文化センター、教育センター、中央こども館（児童福祉部）を設置
機構改革により中央図書館等開設準備室を廃止し、映像文化センターを設置
市立図書館を廃止し、中央図書館を設置

- 7. 3 教育委員会事務局が東大和田1-2-10に移転
- 4 委員長 長谷川千代就任
- 4 ライフカウンセラー配置
- 10 「市川市余裕教室活用基本方針」策定
- 10 公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業を本格実施
- 8. 8 「市川市生涯学習振興指針」策定

- 9. 1 宮久保青少年館閉館
- 4 ナーチャリングコミュニティ事業の実施
- 4 通学区域の弾力化開始
- 9 今後の地方教育行政の在り方について、創意と活力のある学校づくり事業開始

- 10. 4 委員長 緑谷一雄就任
- 6 国府台小学校に「国府台デイサービスセンター」開所

- 11. 4 妙典小学校開校
- 4 機構改革により文化スポーツ部廃止（四部制より三部制へ）管理部を教育総務部に、庶務課を教育総務課に、学校施設課を教育施設課に、学務課を義務教育課に、生涯学習課を生涯学習振興課に、社会体育課をスポーツ振興課に改称
文化スポーツ部を生涯学習部に統合
文化課を市長部局に移管
少年センターを生涯学習部青少年課の所管へ
- 4 「市川市生涯学習推進計画」策定

- 12. 3 石井秋蔵教育振興基金設置
- 4 機構改革により就学支援課を新設
- 4 学校評議員制度
- 4 給食民間委託化

- 13. 1 「市川市教育計画」策定
- 4 機構改革により七中建設担当室、公民館センターを新設
- 8 教育長 西垣惇吉就任

- 14. 4 機構改革により七中建設担当室を七中建設担当とし教育施設課の所管へ
青少年課を廃止し、地域教育課を新設
少年センター、少年自然の家を地域教育課に所管替え
- 4 委員長 大熊徹就任
- 7 市川市教育改革懇話会設置
- 9 教育委員会事務局が市役所本庁舎へ移転

- 15. 4 全国高校総体推進担当室を設置
コミュニティサポートシステムの発足

- 16. 4 組織改正により全国高校総体推進担当室を全国高校総体推進担当としスポーツ振興課の所管へ
- 6 中央公民館菅野分館開館
- 9 PFIにより七中建替工事完了

- 17. 4 委員長 五十嵐美美子就任
妙典小学校区改編実施
中国分スポーツ広場開設
ヘルシースクール事業本格開始
- 8 全国高等学校総合体育大会 女子ハンドボール競技大会開催

- 18. 4 市川の学校教育3ヵ年計画策定・実施
総合型地域スポーツクラブ設立（国府台）

- 19. 4 組織改正によりスポーツ振興課、映像文化センターを市長部局に移管
青少年育成課を市長部局から移管
- 4 新井小学校区改編実施

第1章 教育行財政

- 7 少年自然の家をリニューアル 少年育成課所管へ、自然博物館を考古博物館所管へ
- 20. 4 組織改正により企画調整課と教育総務課を統合し、教育政策課へ 4 市川市教育支援委員会を設置
- 4 特別支援学校小学部を稲越小学校内に移転するとともに、校名を須和田の丘支援学校（本校）、須和田の丘支援学校稲越校舎（分校）に改称 10 市長が「市川市教育振興大綱」を策定
- 4 市川市教育振興会議を設置 28. 4 二俣幼稚園休園
- 7 幼児教育振興プログラム策定 4 塩浜小・中学校が小中一貫校の義務教育学校「塩浜学園」として開校
- 21. 3 市川市教育振興基本計画策定 5 コミュニティ・スクール導入開始
- 4 教育長 田中庸恵就任
- 4 委員長 宇田川進就任
- 4 市川駅南口図書館開館 29. 4 組織改正により教育政策室を廃止し、一室二部体制（教育政策室・生涯学習部・学校教育部）から二部体制（生涯学習部・学校教育部）へ
- 22. 8 第三次生涯学習推進計画策定 教育政策課が教育政策室から生涯学習部の所管へ
- 23. 4 教育長 田中庸恵再任 少年センターが青少年育成課から教育センターの所管へ
- 4 委員長 宇田川進再任 就学支援課が生涯学習部から学校教育部の所管へ
- 4 市川市立図書館中期計画策定 学校地域連携推進課を新設し、青少年育成課及び社会教育課より一部事務移管
- 4 市川市教育振興審議会を設置 4 市川市特別支援教育推進計画（第2期）策定
- 4 菅野公民館開館
- 24. 4 市川市特別支援教育推進計画 策定 30. 3 二俣幼稚園廃園
- 25. 4 組織改正により地域教育課を廃止し生涯学習振興課と青少年育成課へ事務移管 4 教育長 田中庸恵再任
- 公民館センターを社会教育課に名称変更し、生涯学習振興課より一部事務移管 4 組織改正により教育政策課を廃止し、教育総務課と教育施設課へ事務移管
- 自然学習課を新設し自然博物館と少年自然の家を所管 4 市立幼稚園に関する事務について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条の7の規定に基づき、市長の補助機関である職員に委任
- 少年センターが青少年育成課所管へ 9 塩浜学園校舎等新築工事着工
- 26. 1 市川市教育振興基本計画（第2期）策定 31.1 市長が「市川市教育振興大綱」を策定
- 2 教育行政運営方針の策定開始 1 市川市教育振興基本計画（第3期）策定
- 3 菅平高原いちかわ村閉村
- 3 稲荷木幼稚園廃園
- 4 「校内塾・まなびくらぶ」開始
- 5 教育委員会が南八幡仮設庁舎へ移転
- 11 中央図書館開館二十周年記念行事開催
- 27. 3 市川市立図書館運営基本計画策定
- 4 教育長 田中庸恵再任
- 4 市長が市川市総合教育会議を設置
- 4 塩浜小・中学校において小中一貫教育を開始
- 4 第四次生涯学習推進計画策定
- 4 市川市立幼稚園は特定教育・保育施設となる
- 4 組織改正により教育委員会が三部体制（教育総務部・学校教育部・生涯学習部）から一室二部体制（教育政策室・生涯学習部・学校教育部）へ
- 自然学習課を廃止し、少年自然の家を青

2 教育委員会

教育委員会は、教育長及び5人の教育委員をもって組織している合議制の執行機関である。
 教育長及び教育委員は、市長が市議会の同意を得て任命し、任期は教育長は3年、教育委員は4年である。

(1) 教育委員会の会議（平成30年度）

① 開催状況

定例会 12回 臨時会 1回 計 13回

② 議決内訳

(件)

件名	議案等			議決結果等		
	議案	報告	計	原案可決	審議未了	計
1 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること	4	0	4	4	0	4
2 教育委員会の規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	2	10	12	2	0	2
3 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	0	0	0	0	0	0
4 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	19	9	28	19	0	19
5 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	2	1	3	2	0	2
6 法第27条(幼保連携型認定子ども園に関する意見聴取)及び第29条(教育委員会の意見聴取)に規定する意見の申出に関すること	1	9	10	1	0	1
7 教育機関の敷地を設定し、又は変更すること	2	0	2	2	0	2
8 教育機関の施設の整備計画を定めること	0	0	0	0	0	0
9 教育功労者を表彰すること	1	0	1	1	0	1
10 学校の通学区域の決定に関すること	0	0	0	0	0	0
11 教科書の採択に関すること	4	1	5	4	0	4
12 重要文化財の指定及び解除に関すること	1	0	1	1	0	1
13 教育委員会がその当事者である争訟に関すること	0	0	0	0	0	0
14 職員団体との重要な交渉に関すること	0	0	0	0	0	0
15 請願及び陳情に関すること	0	0	0	0	0	0
16 上記に掲げるもののほか、重要かつ異例に属するもの	7	0	7	7	0	7
合計	43	30	73	43	0	43

(2) 教育長及び教育委員



教育長 田中 庸恵



教育委員 平田 信江



教育委員 平田 史郎



教育委員 島田 由紀子



教育委員 大高 究



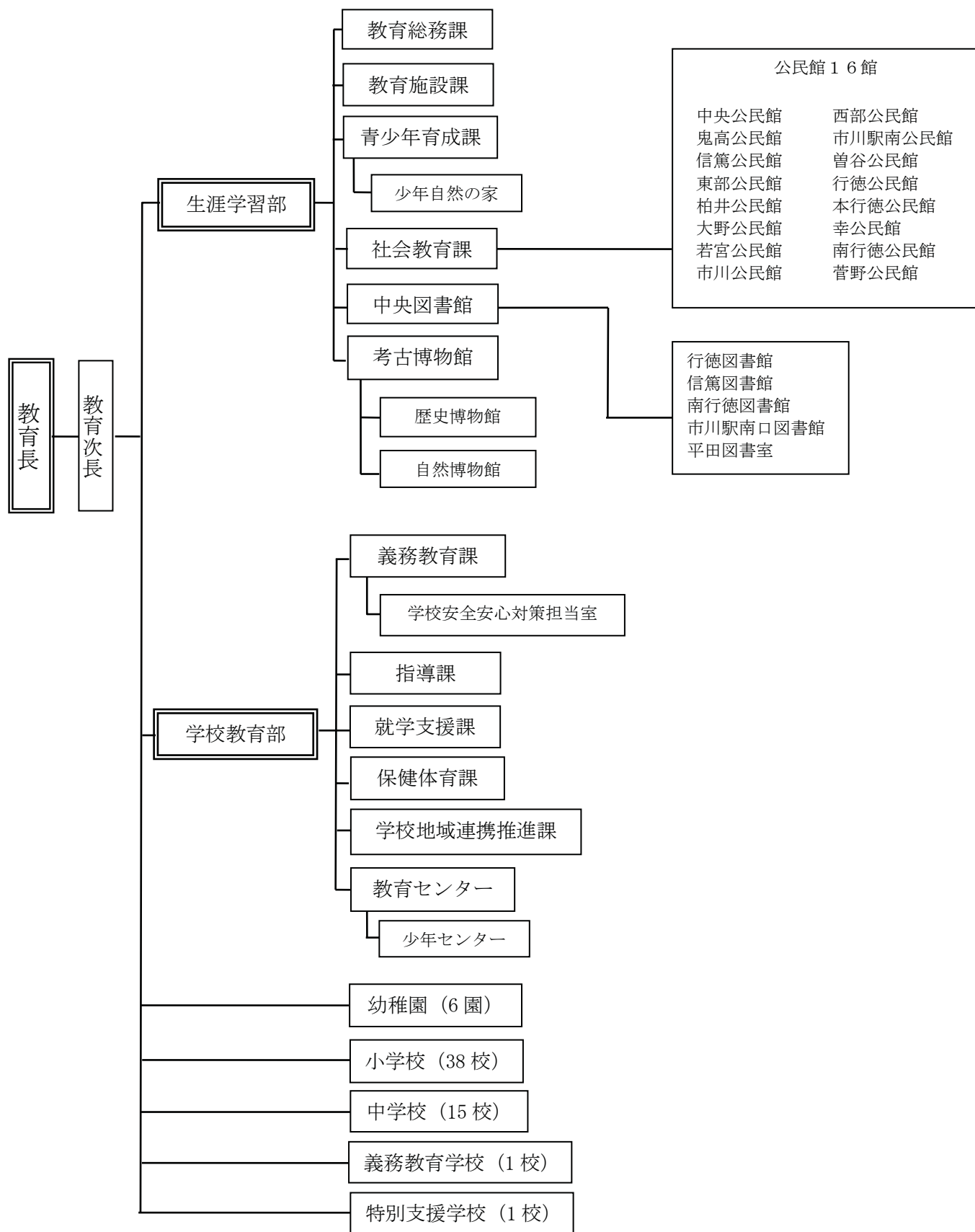
教育委員 山元 幸恵

令和元年10月1日現在

職名	氏名	任期	主な経歴
教育長	田中 庸恵	H21. 4. 1～H23. 3. 31 H23. 4. 1 再任～H27. 3. 31 H27. 4. 1 再任～H30. 3. 31 H30. 4. 1 再任～R3. 3. 31	
教育委員	平田 信江	H29. 8. 2～R3. 8. 1	保護者
教育委員	平田 史郎	H31. 4. 1～R5. 3. 31	学校法人平田学園理事長 国府台女子学院学院長
教育委員	島田 由紀子	H29. 4. 1～R2. 3. 31	國學院大學教授
教育委員	大高 究	H29. 7. 1～R3. 6. 30	医師
教育委員	山元 幸恵	H30. 4. 1～R4. 3. 31	元市川市立中学校長

第2節 組織及び事務分掌

1 令和元年度 教育委員会組織図



2 事務分掌

【生涯学習部】

《教育総務課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 教育振興基本計画に関する事。
- (3) 委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等に関する事。
- (4) 教育行政の総合的な連絡調整に関する事。
- (5) 委員会の組織及び定員の管理に関する事。
- (6) 委員会の予算の調整に関する事。
- (7) 委員会の会議に関する事。
- (8) 委員会の公印の統括的管理に関する事。
- (9) 儀式及び表彰に関する事。
- (10) 教育長の秘書に関する事。
- (11) 教育行政に関する相談窓口に関する事。
- (12) 職員の任免及び給与に関する事。
- (13) 職員の服務に関する事。
- (14) 職員の研修及び福利厚生に関する事。
- (15) 教育振興審議会に関する事。
- (16) 幼児教育振興審議会に関する事。
- (17) 生涯学習部の所管に係る事務事業の連絡調整に関する事。
- (18) 部内他の課の所掌に属しない事項に関する事。
- (19) 他の部の所掌に属しない事項に関する事。

《教育施設課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 教育機関の整備計画に関する事。
- (3) 教育機関の火災保険に関する事。
- (4) 学校の用に供する財産の管理に関する事。

《青少年育成課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 青少年健全育成事業の計画及び実施に関する事。
- (3) 青少年団体に関する事。
- (4) 放課後児童健全育成事業に関する事。
- (5) 少年自然の家に関する事。
- (6) 自然体験活動に関する事。

〈少年自然の家〉

- (1) 少年自然の家の管理に関する事。
- (2) 事業の企画、調整及び実施に関する事。
- (3) 生活指導に関する事。
- (4) 学習活動の指導及び援助に関する事。

《社会教育課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 社会教育の振興に関する事。
- (3) 社会教育関係団体に関する事。
- (4) 社会教育委員に関する事。
- (5) 公民館に関する事。
- (6) 公民館運営審議会に関する事。
- (7) 社会教育法（昭和24年法律第207号）に基づく事業等の実施に関する事。
- (8) 生涯学習施策の調整に関する事。
- (9) 生涯学習推進の企画立案に関する事。

〈公民館〉

- (1) 社会教育法に基づく事業等の実施に関する事。

《中央図書館》

- (1) 館の庶務に関する事。
- (2) 図書館法（昭和25年法律第118号）に基づく事業の実施に関する事。
- (3) 行徳図書館、信篤図書館、南行徳図書館並びに市川駅南口図書館及び平田図書室に関する事。
- (4) 生涯学習センターの施設等の管理に関する事。

〈行徳図書館、信篤図書館及び南行徳図書館〉

- (1) 図書館法に基づく事業の実施に関する事。

《考古博物館》

- (1) 館の庶務に関する事。
- (2) 博物館法（昭和26年法律第285号）に基づく事業の実施に関する事。
- (3) 博物館協議会に関する事。
- (4) 博物館関係団体に関する事。
- (5) 歴史博物館に関する事。
- (6) 自然博物館に関する事。
- (7) 文化財保護に関する事。
- (8) 文化財の管理に関する事。
- (9) 文化財保護審議会に関する事。

〈歴史博物館及び自然博物館〉

- (1) 博物館法に基づく事業の実施に関する事。

【学校教育部】

《義務教育課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 学校（幼稚園を除く。）の設置及び廃止に関する事。
- (3) 児童及び生徒の入学、転学等に関する事。
- (4) 学級編制に関する事。
- (5) 通学区域の設定及び変更に関する事。
- (6) 小学校、中学校及び義務教育学校通学区域審議会に関する事。
- (7) 教職員の任免、給与及び服務に関する事。
- (8) 教職員の福利厚生に関する事。
- (9) 学校運営の指導及び助言又は支援に関する事。
- (10) 学校の防災及び情報管理に関する事。
- (11) 学校長・園長会に関する事。
- (12) 学校教育部の所管に係る事務事業の連絡調整に関する事。
- (13) 部内他の課の所掌に属しない事項に関する事。

〈学校安全安心対策担当室〉

- (1) 担当室の庶務に関する事。
- (2) 学校運営の指導及び助言又は支援に関する事。
- (3) 学校の防災及び情報管理に関する事。
- (4) 学校長・園長会に関する事。

《指導課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 学校における教育内容の充実のための調査及び企画に関する事。
- (3) 学校における教育課程、学習指導、進路指導等に関する事。
- (4) 教職員に対する学校教育についての専門的事項の指導に関する事。
- (5) 教職員研修の計画立案に関する事。
- (6) 学習支援事業に関する事。
- (7) 青少年教育国際交流基金の管理（運用を除く。）及び処分に関する事。
- (8) 教育センターとの連絡に関する事。
- (9) 幼稚園園児、児童及び生徒の安全政策に関する事。

《就学支援課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 学校の予算に関する事。
- (3) 学校の備品の管理に関する事。
- (4) 要保護及び準要保護児童生徒援助費に関する事。

- (5) 特別支援教育就学奨励費に関する事。
- (6) 奨学資金に関する事。
- (7) 奨学生選考委員会に関する事。
- (8) 大畑恣教育基金の管理（運用を除く。）及び処分に関する事。
- (9) 入学準備金の貸付けに関する事。
- (10) 私立学校等に係る補助に関する事。

《保健体育課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関する事。
- (3) 学校の保健に関する事。
- (4) 学校給食（学校給食の実施に必要な施設の整備計画を除く。）に関する事。
- (5) 交通安全指導に関する事。
- (6) 学校体育に関する事。
- (7) 学校体育団体に関する事。
- (8) 独立行政法人日本スポーツ振興センターに関する事。

《学校地域連携推進課》

- (1) 課の庶務に関する事。
- (2) 学校と地域の連携推進に関する事。
- (3) こどもの居場所作り事業に関する事。
- (4) コミュニティクラブ事業に関する事。
- (5) 青少年相談員に関する事。
- (6) 家庭教育に関する事。
- (7) 学校施設の開放に関する事。

《教育センター》

- (1) センターの庶務に関する事。
- (2) 教育課程の調査研究に関する事。
- (3) 教育内容及び方法の調査研究に関する事。
- (4) 教育実践に参考となる資料の収集及び作成に関する事。
- (5) 教職員の研修に関する事。
- (6) 教育相談に関する事。
- (7) 適応指導教室に関する事。
- (8) 教育支援委員会に関する事。
- (9) 少年センター運営協議会に関する事。
- (10) 少年センターに関する事。

〈少年センター〉

- (1) センターの運営に関する事。

【総務部】

《人事課》

- (1) 市立幼稚園の教職員の任免に関する事。

《職員課》

- (1) 幼稚園の教職員の給与に関する事。

《人材育成課》

- (1) 幼稚園の教職員の研修（幼稚園の園児に対する指導等に係る研修を除く。）に関する事。

【財政部】

《管財課》

- (1) 幼稚園の火災保険に関する事。

【こども政策部】

《こども施設入園課》

- (1) 市立幼稚園の入園及び退園に関する事。
- (2) 市立幼稚園保育料の徴収に関する事。
- (3) 市立幼稚園保育料の滞納処分に関する事。

《こども施設運営課》

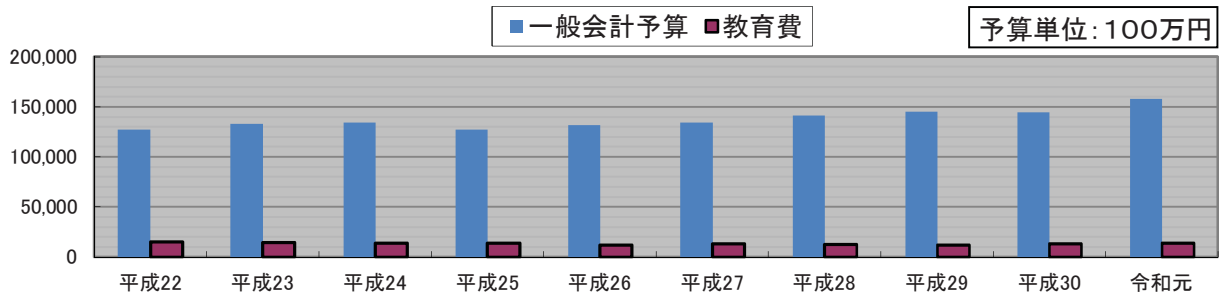
- (1) 市立幼稚園に勤務する職員のサービスに関する事。
- (2) 市立幼稚園の施設及び備品の管理に関する事。
- (3) 市立幼稚園の運営に関する事。
- (4) 市立幼稚園の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関する事。
- (5) 市立幼稚園の園児の保健管理及び交通安全に関する事。
- (6) 市立幼稚園の環境衛生に関する事。

《こども施設計画課》

- (1) 市立幼稚園の整備等に関する事。

第3節 教育財政

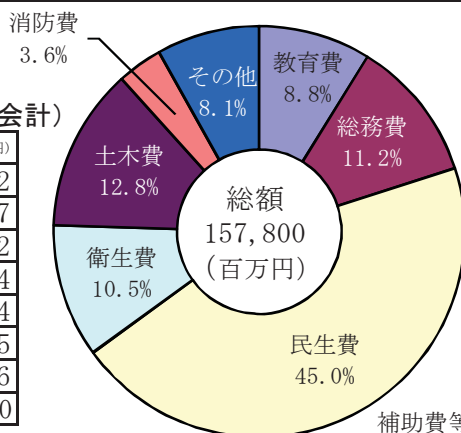
1 市川市一般会計予算と教育費[※]の推移



年度	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和元
一般会計予算	126,800	132,600	133,800	127,100	131,100	134,000	140,800	144,800	144,000	157,800
教育費	15,363	14,571	14,172	13,916	12,000	13,455	12,447	11,890	13,427	13,922
割合(%)	12.1	11.0	10.6	10.9	9.2	10.0	8.8	8.2	9.3	8.8

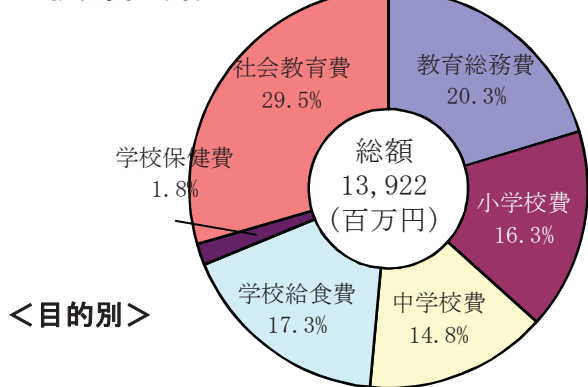
2 令和元年度当初予算(一般会計)

	構成比(%)	予算額(百万円)
教育費	8.8	13,922
総務費	11.2	17,727
民生費	45.0	71,002
衛生費	10.5	16,554
土木費	12.8	20,254
消防費	3.6	5,605
その他	8.1	12,736
計	100.0	157,800

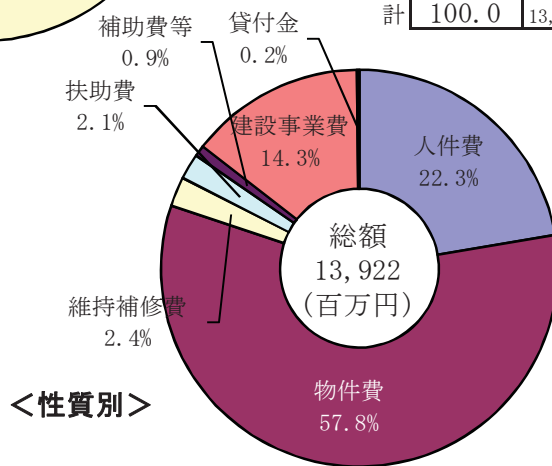


	構成比(%)	予算額(千円)
人件費	22.3	3,098,549
物件費	57.8	8,052,371
維持補修費	2.4	332,662
扶助費	2.1	290,015
補助費等	0.9	123,613
建設事業費	14.3	1,994,690
貸付金	0.2	30,100
計	100.0	13,922,000

3 教育費の割合



<目的別>



<性質別>

4 教育費の単位(市民1人、1世帯、児童生徒園児1人、1学級)あたり比較表

【令和元年5月1日現在】

当初予算額(千円)	市民1人あたり(円)	1世帯あたり(円)	児童・生徒・園児あたり(円)	1学級あたり(円)	
総額	13,922,000	28,429	56,610		
教育総務費	2,831,869	5,783	11,515		
小学校費	2,270,461	4,636	9,232	103,499	
中学校費	2,064,393	4,216	8,394	218,154	
学校給食費	2,408,906	4,919	9,795	76,717	
学校保健費	244,443	499	994		
社会教育費	4,101,928	8,376	16,679		
(参考)					
幼稚園費	416,962	851	1,695	690,334	
		男 248,362	世帯数 245,928	児童数(小) 21,937	学級数(小) 755
		女 241,343		生徒数(中) 9,463	学級数(中) 301
		総数 489,705		園児数(幼) 604	学級数(幼) 24
				総数 32,004	総数 1,080

※幼稚園費は平成30年4月から民生費へ移行した。

第4節 第3期市川市教育振興基本計画（計画期間：令和元年度～令和5年度）

市川市の教育の目指すべき姿とその実現に向けた今後5年間で取り組む施策を明らかにし、市川市における教育政策を実効あるものとするため、第3期市川市教育振興基本計画を策定しました。計画期間は、令和元年度から令和5年度までの5年間です。

1 市川の教育の基本理念

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

人は、多様な人と関わりながら生活をしています。また、自然との共存や、文化的な利益の享受は、人として生きていくために欠かせないものとなっています。このようなさまざまな関わりを通して、自らの思考や感情、興味や関心を育み、心を豊かなものとしています。

技術革新の進展、長寿化に伴い、産業構造や私たちの生活が大きく変わっていく未来社会においては、誰もが自分の個性を伸ばし、可能性を広げ、夢の実現につながる先見的な教育と、生涯を通じて主体的に学び続けることのできる教育環境の実現が不可欠です。

さらに、教育によって、人と自然、人と社会との成り立ちを学び、自らの生き方について考え、実践する力を養うなど豊かな人間性を育てていくことがさらに重要になります。

これらのことから教育委員会では、市川市第3期市川市教育振興基本計画においても、「人をつなぐ未来へつなぐ 市川の教育」を基本理念として、それぞれのライフステージにおける学びや家庭・学校・地域の連携・協働を大切に「つなぐ教育」を進めます。

教育は、家庭・学校・地域が連携・協働し、それぞれの役割を果たすことで成し得ることです。

「人をつなぐ教育」とは、家庭・学校・地域が一体となって、子どもを育てていく教育です。「教育の共有化」という理念の下、コミュニティ・スクールなど地域とともにある学校づくりと地域教育力を組織化し、地域全体で子どもを守り育てる環境づくりをさらに推進します。

「未来へつなぐ教育」とは、学びと育ちの連続性を大事にして、個性の伸長を図り、子どもの夢や思いを実現する教育です。「教育の接続化」という理念の下、中学校ブロック単位※における指導の一貫化の取組や特別支援教育の視点を生かした指導・支援を通して、進学・進級時のなめらかな接続と一人一人のニーズに応じた適切な段差の設定を図り、長期的な視野に立った教育、そして、自分らしく輝くための学びを実現します。

※ 中学校ブロック単位…市川市では、中学校とその学区内にある小学校でグループを作り、地域の小・中学校が連携している。15のブロックがある。

2 計画の基本的な考え方

基本理念をふまえて、今後5年間を通して実施するさまざまな施策の実現にあたっては、次の3つの考え方を重視します。

- I 多様な人との関わりを大切にして、個人の自立を促すとともに、社会の一員としての自覚を養う教育を進めます
- II 一人一人が、主体的に学び、個性を伸ばし可能性を広げることのできる教育を進めます
- III 学びや育ちの連続性と社会との連携を強化し、豊かな人間性を育む教育を進めます

3 方針と目標

基本理念と基本的な考え方をふまえ、家庭・学校・地域の連携・協働の下、今後5年間を通して市川市が取り組む教育政策の方針を3つに整理し、目標を掲げて取組を進めています。

家庭 ・ 学校 ・ 地域の 連携 ・ 協働	【方針1】 感性を豊かに働かせ、 社会の中でたくましく 生きていくことのできる 子どもを育てる	《目標1》自分を大切にし、他人を思いやる気持ちなど、豊かな心を育む
	【方針1】 感性を豊かに働かせ、 社会の中でたくましく 生きていくことのできる 子どもを育てる	《目標2》主体的に学びに向かい、知識・技能や思考力・判断力・表現力等の資質・能力を育成する
		《目標3》健康に関する意識を高め、健やかな体を育成する
		《目標4》社会的・職業的自立に向けた能力・態度を育成する
		《目標5》家庭・学校・地域の教育力の向上に向けた取組を推進する
		《目標6》人生100年時代を見据えた“自分らしく輝くための学び”を推進する
	【方針2】 “自分らしく輝くための 学び”の環境の実現と 学びのセーフティネット を構築する	《目標7》特別支援教育など、教育的ニーズに応じた支援を充実させる
		《目標8》グローバルに活躍する人材を育成する
		《目標9》新しい地域づくりを推進する
		《目標10》持続可能な学校指導体制を整備する
	【方針3】 社会の変化を見据えた 教育環境の整備を図り、 市川の質の高い教育を 推進する	《目標11》教育の未来環境を整備する
		《目標12》安全・安心で充実した教育環境を実現する

第2章 学校教育	18
第1節 令和元年度学校教育の指導方針	19
1 幼稚園 編	19
(1) 確かな学力をはぐくむ	
(2) 豊かな心をはぐくむ	
(3) 健やかな体をはぐくむ	
(4) 信頼される開かれた園をつくる	
2 小・中学校、義務教育学校 編	23
(1) 確かな学力をはぐくむ	
(2) 豊かな心をはぐくむ	
(3) 健やかな体をはぐくむ	
(4) 信頼される開かれた学校をつくる	
3 特別支援学校 編	28
(1) 確かな学力をはぐくむ	
(2) 豊かな心をはぐくむ	
(3) 健やかな体をはぐくむ	
(4) 信頼される開かれた学校をつくる	
第2節 コミュニティ・スクール	32

第1節 令和元年度学校教育の指導方針

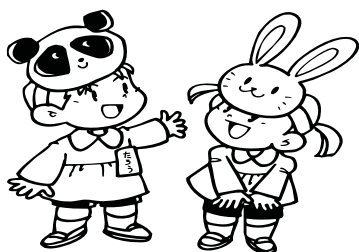
この「学校教育の指導方針」は、「学習指導要領」、「学校評価ガイドライン」、千葉県教育委員会の「学校教育指導の指針」及び市川市教育委員会の「市川市教育振興基本計画」に基づき、本市における学校教育の現状と課題を踏まえて作成したものである。

市川市の教育理念である「人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育」の主旨と以下に示す「指導方針」の内容を十分に踏まえた上で、創意と活力にあふれた教育活動を推進してもらいたい。そして、現在の激しく変わる社会の中で子どもたちが自ら課題を解決し、人生を切り拓くことが出来るよう、「生きる力」をしっかりと身に付けさせてほしい。

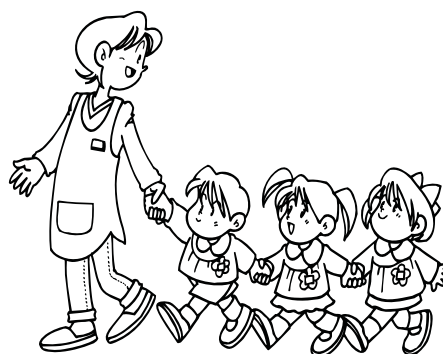
1 幼稚園 編

(1) 確かな学力をはぐくむ

○ 基礎基本の確実な習得と活用する力の育成を図る



- ・ 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を踏まえ、園や地域の特色、幼児の生活習慣等の実態を把握し、心身の発達の特性に応じた具体的なねらいと内容を明確にした指導計画を作成し、保育の充実を図る。
- ・ 身近な環境に自ら主体的に関わり、発見を楽しんだり考えたりする充実感、満足感を味わえるように、環境構成の工夫改善を図り、適切な指導と多様な援助を行う。
- ・ 遊びを通した総合的な指導を中心として、身近な事象に対する興味や関心を引き出し、生活の中で感じたことや考えたことを表現する活動を充実させることにより、豊かな感性や思考力、判断力、表現力等の基礎を培う。
- ・ 自分の思いを言葉で伝えるとともに、相手の話を理解しようとする態度を育て、伝え合いができるように言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。
- ・ 様々な活動を通して試行錯誤しながら、あきらめずにやり遂げることの達成感や見通しをもって、自分の力でやることの充実感を味わえるようにし、幼児の自立心を育てる。読み聞かせやお話会を実施したりするなど、読書活動を推進する。
- ・ 幼児の道徳性の育成に資する体験活動を推進したり、教材「チーバくん、ふるさと・ことばかるた」の活用を図ったりすることで、豊かな感性を育むとともに、基本的な生活習慣の基礎を培う。



○ 教職員の資質能力の向上を図る

- ・ 幼児一人一人に適切な評価を行い、一人一人のよさや可能性を把握し、指導方法の工夫改善に努め、個に応じた指導の一層の充実及び指導と評価の一体化を図る。
- ・ 園の教育ビジョンを明確にし、組織マネジメントの手法を生かしながら、全教職員が自己研鑽に努める環境をつくる。
- ・ 保育実践研究を積極的に行うとともに、保育園や小学校等の研究会に参加し、指導力の向上を図る。
- ・ 幼児の発達や子育てに関する相談に応じるなど、地域の幼児教育のセンターとしての役割を果たせるよう、教職員の指導力の向上を図る。
- ・ 幼児教育相談員等を活用し、一人一人の教育的ニーズに応じた保育の充実を図るとともに、園全体で取り組む特別支援教育の体制の整備を推進する。

(2) 豊かな心をはぐくむ

○ 人との関わりを重視した教育活動を進める

- ・ 園の教育活動全体を通して、挨拶の意味を理解させ、いつでも進んで挨拶する子どもを育成する。
- ・ 発達段階に応じた交流体験、自然体験等を推進する。
- ・ 異年齢集団による遊びや学び合いを進めたり、保育園や小学校との交流を計画的に進めたりする中で、人と関わる力を育成する。
- ・ 小学校への円滑な接続ができるよう、幼児と児童との交流の機会を設定し、小学校生活に期待をもたせる。



○ 道徳心を培う取組を進める

- ・ 全教師が協力して道徳教育を推進し、集団での生活を通して規範意識の芽生えを培う。
- ・ 飼育活動や栽培活動を通じて、命を大切にする教育活動を推進する。

○ 幼児期からの読書教育を進める



- ・ リズムや響きなど言葉の美しさを体感できる読み聞かせを実施し、美しい日本語が使える子どもを育成する。
- ・ 発達段階に応じた読み聞かせやお話会等を通して、絵本や物語への興味を持たせる。
- ・ 幼児が本に親しめるよう、環境づくりを工夫するとともに、地域と連携し、読書教育の充実を図る。

- ・ 幼・小・中の連携した読み聞かせ等の読書活動を推進する。

○ 教育相談活動の充実を図る

- ・ 園内教育相談体制の充実を図り、保護者との連携により心身の健やかな発達を促す。
- ・ 必要に応じて家庭や地域社会、関係機関及び関係する学校等と連携して対応を行う。

(3) 健やかな体をはぐくむ

○ 包括的な健康教育を推進する（ヘルシースクール）

- ・園庭での遊びの時間を確保し、全身を使ったり、身近な物や遊具を使ったりする様々な遊びを体験することによって、体を動かす楽しさを味わえるようにする。
- ・身の回りを清潔にし、衣服の着脱、排泄などの生活に必要な習慣が身に付くようにするとともに、自立心を育てる。
- ・家庭との連携を図り、幼児が栄養のバランスのとれた食事や早寝、早起きなどの望ましい生活のリズムを身に付けられるよう適切な援助をする。
- ・食への興味や関心を持ち、食べることを楽しみながら、進んで食べようとする気持ちを育てる。
- ・家庭との連携により、望ましい食習慣の形成を図る。
- ・ハンカチ、ティッシュを正しく使うことや、手洗い、うがいの習慣が身に付くようにすることで、自分の健康に関心を持ち、清潔を保つことの大切さを理解させ、病気の予防などができるようにする。



○ 安全な生活を実践する能力と態度を育成する

- ・遊びを通して、危険な場所や物事などを理解させ、状況に応じて安全な行動が取れるようにする。

(4) 信頼される開かれた園をつくる

○ 園評価による園運営の改善を図る

- ・評価の精度を高める工夫や、年2回の自己評価の実施による形成的な園評価によって、継続的で主体的な園運営の改善に努める。
- ・教職員による自己評価を、重点化した目標設定により、精選して行う。
- ・「保護者アンケート」を積極的に実施する。
- ・自己評価の結果の公表、園参観の実施やホームページの更新を含めた積極的な情報提供を行う。
- ・園長は、園関係者評価を次年度の園経営に生かすとともに、教職員への周知を図り、次年度の教職員の実践の改善に役立てる。
- ・園評価の結果を保護者・地域に広く公表することで、説明責任を果たすとともに、園の取組についての理解・協力を求め、家庭・園・地域の連携協力の推進を図り、園を活性化させる。
- ・園評価により「いちかわ学校三カ年計画」の検証を図り、各園におけるカリキュラム・マネジメントの確立を図る。
- ・「幼稚園における学校評価ガイドライン」に沿って学校関係者評価を重点にした適切な園評価を実施し、P D C A サイクルに基づき、改善を図るとともに家庭や地域等への情報提供に努める。

○ 家庭との連携を図る

- ・いじめの早期発見と適切な対応を促進するために、家庭・園・地域の連携を推進する。
- ・家庭や地域等に対して、ホームページや園だより等を活用して積極的に園の状況を情報提供したり「幼稚園公開日（週間）」を設定したりして、地域に幼稚園を開いていくよう努める。
- ・園施設の開放や子育て相談の実施、「学校から発信する家庭教育プログラム」の活用等により、地域における幼児教育のセンターとしての役割を果たす。

○ 子どもたちの安全・安心を守る

- ・学校安全計画やセーフティスクールプランを作成し、園独自の危機管理マニュアルを見直すことにより、家庭・地域・市関係部局と連携し、安全・安心な園づくりを推進する。
- ・非常災害時における保護者との連絡方法を確立するとともに、小・中学校、地域や家庭と連携した避難訓練や防災訓練を実施する。

○ 小学校教育への円滑な接続に向けた教育及び保育の内容の工夫を図る

- ・幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を踏まえ、子どもの発達や学びの連続性を保障するため、幼小が円滑に接続し、教育の連続性・一貫性を確保し、子どもに対して体系的な教育が行われるよう適切な教育課程「アプローチカリキュラム」の編成を工夫する。



2 小・中学校、義務教育学校 編

(1) 確かな学力をはぐくむ

○ 基礎基本の確実な習得と活用する力の育成を図る

- ・全国学力・学習状況調査を活用するなど、児童生徒の学力や学習状況及び生活行動の現状を把握・分析し、実態に基づいた指導計画を立案するとともに、指導内容、指導方法の工夫改善を行う。
- ・単元や題材など内容のまとまりを見通しながら、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行う。
- ・自ら学び思考し表現する力の育成を目指し、基礎的・基本的な知識・技能を習得する学習、問題解決的な学習、学んだことを活用する学習、探究的な学習の充実を図る。
- ・言語活動や体験活動を意図的、計画的に授業に取り入れる。
- ・ねらいに応じて習熟度別指導、課題別指導、ティームティーチングの活用を図るとともに、教科の特性を生かした少人数指導の充実を図る。
- ・放課後や長期休業中における学習機会「校内塾・まなびくらぶ」を運営することにより、児童生徒に基礎的・基本的な学習や発展的な学習に取り組む場を与え、学習意欲の向上を図る。
- ・学校や地域の実態に応じ、専門性の高い外部人材の活用や、個別学習・グループ学習に対応するための学習ボランティアの活用などの取組を推進するとともに、地域の学習環境（自然・文化や伝統・社会教育施設等）の活用を図る。
- ・学校図書館の学習センター機能の充実を図り、学校図書館の活用を各教科の年間指導計画の中に位置づけるとともに、教科の特質に応じて、情報の収集→整理・分析→まとめ・表現の過程を取り入れた授業を展開する。



- ・言語活動の充実を実現するため、国語科においては、課題に対して思考し、場・相手に応じてわかりやすく伝え合い、自分の考えを深めたり広げたりできる交流の場を設定する。各教科等においては、国語科で培った言語力を基本とし、記録、要約、説明、論述、話し合いなどの学習活動を推進する。
- ・ICTや学習支援システムの効果的な活用が図れるように、ICTの活用を各教科の年間計画の中に位置づけ、児童生徒の学力向上を図るとともに、情報活用能力や情報モラルの育成を目指す。
- ・「家庭学習の手引き」などを作成し、家庭学習が習慣化されるよう家庭へ啓発し、学習内容の基礎基本の定着を図る。
- ・小学校の外国語教育においては、カリキュラムの工夫や研修の充実を図る。

- ・小学校においては、「学びの突破ロガイド」や「ちばっ子チャレンジ100」、中学校においては、「ちばのやる気学習ガイド」等を活用し、補充・発展的な学習を取り入れるなど、学習活動を工夫する。
- ・特別支援学級においては、実生活に即した言語活動・体験活動の充実を図り、日頃の学習の成果を活用できるように計画する。



- ・特別な支援を必要とする児童生徒、および特別支援学級、通級指導教室等の児童生徒については、個別の指導計画を作成し、具体的な目標と手立てを明確にして学習の充実を図るとともに評価改善に取り組む。
- ・市川市特別支援教育推進計画に基づき「市川スマイルプラン」を活用して、ライフステージに応じた支援が引き継がれるようにする。
- ・必要な合理的配慮の提供について、十分な合意形成が図れるようにする。

○ 教職員の資質能力の向上を図る

- ・生徒指導の3つの機能「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的人間関係を育成する」を重視したわかる授業の実現に向け、学校全体で研修等に取り組む。
- ・目標を明確にし、指導と評価の一体化を図った授業づくりや個に応じた指導の充実を図るなど、指導方法の工夫改善を図る。
- ・教職員自身による研修計画作成にあたって、管理職は組織マネジメントの手法を生かしながら、指導・支援を行う。
- ・一人一授業以上の研究授業を行い、全教職員が自己研鑽に努める体制をつくる。
- ・「授業練磨の公開日」を活用し、近隣校との相互参観や交流授業等を積極的に実施するとともに、ブロックの教職員が参加する研究授業を展開し、協議会で力量を高め合うなど、中学校ブロックの連携を視野に入れた自主公開、研究授業を実施する。また、塩浜学園での成果を各小中学校間の連携に生かしていく。
- ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた「わかる授業」づくりについて研修を進める。

(2) 豊かな心をはぐくむ

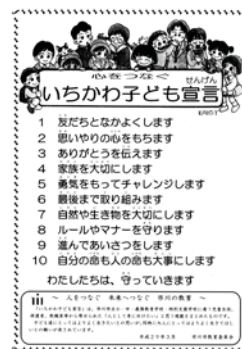
○ 人との関わりを重視した教育活動を進める

- ・様々な活動の中で、人と関わることの大切さを気付かせ、進んで挨拶する子どもを育成する。
- ・交流・宿泊・ボランティア活動等、発達段階に応じた体験活動の充実を図る。
- ・特別活動を要とした全教育活動の中で、キャリア教育を意図的・継続的に推進し、キャリア発達を踏まえた目標を設定して、教育課程に適切に位置づける。
- ・「職場体験」等の体験活動や外部人材の活用等を通して、地域社会と連携・協働し、中学校ブロックでの系統的なキャリア教育を推進する。

- ・「豊かな人間関係づくり実践プログラム」や「グループエンカウンター」などを活用して、人間関係づくりに必要な基本的な力を育む。
- ・児童生徒の多様なニーズに対応したインクルーシブ教育の推進に向け、効果的な指導や支援の充実を図る。
- ・異年齢集団での活動や地域の人たちとの交流を通して、人と関わる力を育成するとともに、思いやりや感謝の気持ちを育て、自分の成長を自覚できるようにする。
- ・障がいのある児童生徒と障がいのない児童生徒とが、共に活動する中でお互いを思いやる心をはぐくめるよう、交流及び共同学習に積極的に取り組む。

○ 道徳性を養う取組を進める

- ・教育活動全体を通じて行われる道徳教育の要として、新たに位置付けられた「特別の教科 道徳」を、教科書教材や映像教材、『道徳教育の手引き』等を活用し、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養えるよう、学習指導過程や指導方法の工夫改善を図る。
- ・各学校の方針の下に、道徳教育推進教師が中心となりながら、全教職員が協力し合う指導体制の充実を図る。
- ・児童生徒の発達段階に応じた規範意識や人権意識等が身に付くよう、地域の教育力を生かした道徳教育を積極的に実施・公開する。
- ・市内共通の指針「いちかわ子ども宣言」の活用を図る。
- ・動植物を育てる活動や獣医師会等の専門家による講演会の開催等を通して、命を大切にする意識を育む。



○ 未来につながる読書教育を進める

- ・読み聞かせや朗読体験をはじめとする多様な読書活動や、学習活動における図書を活用などの読書教育を推進する。
- ・発達段階に応じた読書を推進し、そこから得た感動を、読書意欲につなげていく。
- ・物語や伝記の主人公の生き方に触れることで、自らの生き方について考え、将来について夢を抱ける子どもを育成する。

○ 教育相談活動の充実を図る

- ・教育相談活動を充実させ、児童生徒・保護者等の不安や悩みを理解し、解決に向けた支援を行うことで、問題行動や学校への不適応が起きないようにする。
- ・不登校の子どもたちへの支援のために、不登校児童生徒支援教室の環境を整え、当該児童生徒と深く関わる教育関係者によるケース会議を定期的に行い、共通理解を図る。
- ・近隣の幼稚園や保育園と情報交換を密にし、小一プロブレムを未然に防ぐよう努める。
- ・中学校ブロックごとに連絡会議を実施し、中一ギャップを未然に防ぐよう努める。
- ・教育相談の方法や具体例について研修し、児童生徒理解を深めるための相談活動を定期

的に実施する。

(3) 健やかな体をはぐくむ

○ 包括的な健康教育を推進する（ヘルシースクール）

・業間休み時間の活用や運動週間・集会，さらに千葉県教育委員会が実施している「遊・友スポーツランキングちば」等を活用し，積極的に外で遊ぶ機会を設け，生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる。



・新体力テストの結果を考察し，改善に向けての具体的な取組を実施する。

・学校と家庭が連携を図り，生活習慣チェックカード等を通して，望ましい生活習慣を身に付けられるようにする。また，千葉県教育委員会が実施している「いきいきちばっ子健康体力づくりモデルプラン」「いきいきちばっ子元気アップ・プラン大作戦」等を活用し健康，体力づくりを推進する。

・学校園等での栽培活動や学校給食等の生きた教材を通して，食に関する学習を教育課程に位置付け，実践する。その際，栄養教諭，学校栄養職員等，専門的な立場からも，望ましい食習慣等，食の大切さについての指導を進める。

・すこやか検診の結果を通して栄養面等の個別指導を行い，望ましい食習慣の形成を図る。

・委員会活動の機能を生かし，手洗い・うがいの励行，ハンカチの使用，給食時のエプロン・三角巾の着用の徹底等，環境衛生面の指導を行い，健康的な生活を送るための自主的・実践的態度を育成する。

・学校環境衛生基準に基づいて，教室の照明等環境に係る事項について適切な対応をするとともに，学校備品等の安全管理の充実を図る。



○ 安全な生活を実践する能力と態度を育成する

・身の回りの危険に気付き，自ら安全な行動が取れるようにし，自他共に安全に生活する態度の育成に努める。

(4) 信頼される開かれた学校をつくる

○ 学校評価による学校運営の改善を図る

・評価の精度を高める工夫や，年2回の自己評価の実施による形成的な学校評価によって，継続的で主体的な学校運営の改善に努める。

・教職員による自己評価を，重点化した目標設定により，精選して行う。

・「児童生徒アンケート」や「保護者アンケート」を積極的に実施する。

・自己評価の結果の公表，学校参観の実施やホームページの更新を含めた積極的な情報提

供を行う。

- ・校長は、学校関係者評価を次年度の学校経営に生かすとともに、教職員への周知を図り次年度の教職員の実践の改善に役立てる。
- ・学校評価の結果を保護者・地域に広く公表することで、説明責任を果たすとともに、学校の取組についての理解・協力を求め、家庭・学校・地域の連携協力の推進を図り、学校を活性化させる。
- ・学校評価により「市川の学校教育三ヵ年計画」の検証を図り、各校におけるカリキュラム・マネジメントの確立を図る。



○ 家庭との連携を図る

- ・家庭学習計画表の作成、「家庭学習のすすめ」リーフレットの配付など、具体的な手立てをとるとともに、保護者へ理解・協力を求め、家庭学習の習慣化を図る。
- ・規則正しい生活リズムの定着や、挨拶、正しい言葉遣い等の習慣化、情報モラルの理解など、児童生徒の望ましい生活習慣・規範意識の向上を図るため、家庭と連携して取り組む。
- ・いじめの早期発見と適切な対応を推進するために、家庭・学校・地域の連携を推進する。

○ 子どもたちの安全・安心を守る

- ・学校安全計画やセーフティスクールプランを作成し、学校独自の危機管理マニュアルや安全マップを見直すことにより、学校と家庭・地域とが一体となって安全・安心な学校づくりを推進する。
- ・通学路の安全チェックを行い、家庭や地域・関係機関等と連携して、子どもたちが安心して登下校ができるようにする。
- ・地震や津波等も含めた災害発生時を想定し、家庭への確実な連絡方法を確立しておくとともに、家庭や地域・関係機関等と連携した避難訓練や防災訓練等を実施する。
- ・PTAや地域ボランティアによる青色防犯パトロール隊を編制し、活動を推進するとともに、中学校ブロックによるパトロール活動の充実を図る。

○ 学校と地域の連携を進める

- ・環境整備、環境美化及び施設の開放等に努め、地域住民みんなの学校として、地域から愛される学校づくりを行う。
- ・地域学校協働本部や学習支援クラブ等を活用し、地域の教育力を積極的に取り入れる。

○ 幼児期の学びや体験を生かした教育活動の工夫を図る

- ・子どもの発達や学びの連続性を保障するため、幼小が円滑に接続し、教育の連続性・一貫性を確保し、子どもに対して体系的な教育が行われるよう適切な教育課程「スタートカリキュラム」の編成を工夫する。

3 特別支援学校 編

(1) 確かな学力をはぐくむ

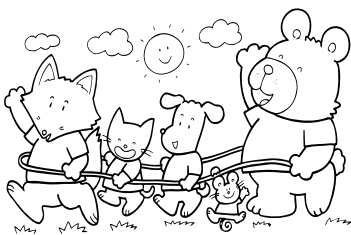
○ 基礎基本の確実な習得と活用する力の育成を図る

- ・障がいの状態や特性及び発達の段階、生活の様子等の実態を把握し、一人一人の教育的ニーズに応じた個別の指導計画を作成し、個に応じたきめ細かな指導を展開する。
- ・個別の指導計画に基づき、学習の目標を達成するための手立てや教材・教具等を工夫し、指導の一層の充実を図るとともに、その評価・改善に努める。
- ・ねらいに応じて指導の形態（各教科の指導、教科等を合わせた指導）や指導の場（個別指導、グループ指導等）を工夫するなど、多様な教育活動を展開し、その指導の充実を図る。
- ・家庭や地域と連携・協力し、生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能の習得を図る。また、地域の人材、自然環境、社会教育施設等を活用し、体験的・問題解決的な学習活動の充実を図り、自ら考え判断し、活用できる力を育成する。
- ・学校生活全体を通し、人と関わる機会を多く設け、積極的に人と関わろうとする意識や気持ちを育てる。
- ・様々なコミュニケーション手段の活用を含めた言語活動の充実を図り、個に応じたコミュニケーション能力を育成する。
- ・学校図書館の活用の仕方を工夫し、本に親しむ機会を充実させる。
- ・学習活動において、ICTを効果的に活用する。
- ・市川市特別支援教育推進計画（第二期）に基づき「市川スマイルプラン」を作成し、一人一人のライフステージを見据え、保護者・学校・関係機関が連携しながら、小・中・高等部を通じて一貫した支援を行っていく。



○ 教職員の資質能力の向上を図る

- ・特別支援学校の職員として多様な障がいに対応するための専門性と指導力の向上を図る。
- ・市川市全体の特別支援教育を推進する役割を担う教員の育成を目指す。
 - ・児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じて学習の目標を明確にし、指導方法の工夫改善を行い、個々の能力の伸長を図る。
 - ・一人一授業以上の研究授業を行い、全教職員が自らの授業改善に取り組む。
 - ・ユニバーサルデザインの視点を生かした環境づくり・授業づくりを推進する。



(2) 豊かな心をはぐくむ

○ 人との関わりを重視した教育活動を進める

- ・障がいの状態や特性及び発達段階に応じ、学校の教育活動全体を通じて、豊かな人間関係づくりを行い、コミュニケーション能力の育成を図る。
- ・生徒会を中心とした挨拶運動を実施し、進んで挨拶する子どもを育成する。
- ・校外学習、宿泊学習、その他の体験学習を通じて、いろいろな人と関わる力やいろいろな場面に適応する力を育てる。
- ・小・中・高等部の学部間の交流や進路学習、職場体験、産業現場等における実習等の学習を通して、一人一人の自立と社会参加に向けたキャリア教育・職業教育の一層の推進を図る。
- ・地域や近隣の学校との連携を図りながら、子どもたちが地域の一員として活動できるよう、交流及び共同学習を進める。

○ 生きる力の基礎をはぐくむ教育を進める

- ・学習活動全体を通し生活に結びついた体験を積み重ね、人と関わる力を培い、進んで社会に参加しようとする力を育成する。

○ 道徳心を培う取組を進める

- ・日常的な関わりの中で、自己や他者を尊重する態度や言葉づかいを身に付け、人権意識を育む。
- ・障がいの状態や特性及び発達段階に応じ、学校の教育活動全体を通じて、学校生活でのルール、公共交通機関や施設の利用時のマナーなどの規範意識を育む。
- ・動植物を育てる活動や友達と協力して行う活動などを通し、命を大切にする意識や相手を思いやる気持ちを育む。

○ 読書教育を進める

- ・読書活動や読み聞かせなどの学習を通し、お話の楽しさ、言葉の面白さを感じ、自ら伝え表現しようとする子どもを育成する。
- ・自由に本に親しめる環境づくりを進める。

○ 教育相談活動の充実を図る

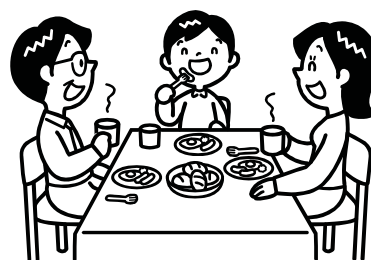
- ・児童生徒の抱える課題に早期に対応できるよう、児童生徒の様子を丁寧に観察し、その変化に気付けるようにする。
- ・保護者が感じている課題や不安に対し、いつでも相談を受けられる体制を作り、必要に応じて関係機関との連携を図って対応する。



(3) 健やかな体をはぐくむ

○ 包括的な健康教育を推進する（ヘルシースクール）

- ・障がいの状態や特性及び発達の段階に応じ、体を動かすことの楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに体力の向上を図る。
- ・家庭と協力して基本的な生活リズムを整え、望ましい生活習慣を確立する。
- ・発達の段階に応じ、家庭と協力しながら、望ましい食習慣（「よくかんで味わって食べる」「三食規則正しく食べる」「好き嫌いをなくして食べる」「マナーを守り人と楽しく食べる」等）の形成を図る。
- ・発達の段階に応じ、健康についての教育（手洗い・うがい等を通して体を清潔にすること、病気やけがの予防や手当てについて考えることなど）を学校全体で計画的に推進する。



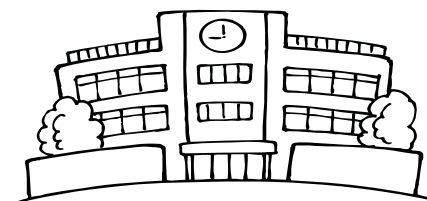
○ 安全な生活を実践する能力と態度を育成する

- ・安全な生活や行動をとることができるように、個に応じた、危険を予測し、回避する能力の育成に努める。

(4) 信頼される開かれた学校をつくる

○ 学校評価による学校運営の改善を図る

- ・評価の精度を高める工夫や、年2回の自己評価の実施による形成的な学校評価によって継続的で主体的な学校運営の改善に努める。
- ・教職員による自己評価を、重点化した目標設定により、精選して行う。
- ・「保護者アンケート」等を積極的に実施する。
- ・自己評価の結果の公表、学校参観の実施やホームページの更新を含めた積極的な情報提供を行う。
- ・校長は、学校関係者評価を次年度の学校経営に生かすとともに、教職員への周知を図り次年度の教職員の実践の改善に役立てる。
- ・学校評価の結果を保護者・地域に広く公表することで、説明責任を果たすとともに、学校の取組についての理解・協力を求め、家庭・学校・地域の連携協力の推進を図り、学校を活性化させる。
- ・学校評価により「市川の学校教育三ヵ年計画」の検証を図り、カリキュラム・マネジメントの確立を図る。

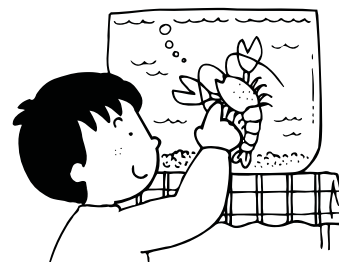


○ 家庭との連携を図る

- ・学校での学習の内容・成果等を報告し、理解と協力を得ながら、家庭での学習の習慣化を目指す。
- ・「早寝、早起き、朝ごはん」を合言葉に規則正しい生活習慣の確立を図るとともに、個に応じて自立に向けた社会性や規範意識をはぐくむために、個別の指導計画や「市川スマイルプラン」等を活用し、家庭と連携して取り組む体制を整備する。
- ・いじめの早期発見と適切な対応を推進するために、家庭・学校・地域の連携を推進する。

○ 子どもたちの安全・安心を守る

- ・学校安全計画やセーフティスクールプランを作成し、学校独自の危機管理マニュアルを見直すことにより、学校と家庭・地域が一体となって安全・安心な学校づくりを推進する。
- ・非常災害時における保護者との連絡方法を確立し、家庭や地域と連携した避難訓練や防災訓練を行う。



○ 特別支援学校のセンター的機能の充実を図る

- ・地域の小・中・義務教育学校，高等学校，幼稚園，保育園等の求めに応じ，教職員への指導・支援を行う。
- ・地域の特別支援教育に係る研修会への協力，情報提供など，理解・啓発を図る活動を推進する。
- ・他の特別支援学校や地域の相談支援機関等，他機関との連携を図り，必要な支援を進める。

第2節 コミュニティ・スクール

1. ねらい

<平成27年中央教育審議会答申より>

①地域とともにある学校への転換

学校と地域住民等が、地域でどのような子どもたちを育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」へと転換していく。

②子どもも大人も学び合い育ち合う教育体制の構築

地域の一部の人々だけが参画し協力するのではなく、地域全体で子どもたちの学びを展開していく環境を整えていく。また、子どもを軸に据え、様々な関係機関や団体等がネットワーク化を図り、子どもたちを支える一体的・総合的な教育体制を構築する。

③学校を核とした地域づくりの推進

一方的に、地域が学校・子どもたちを応援・支援するという関係ではなく、子どもたちも地域で学ぶ、あるいは、地域課題の解決に向けて学校・子どもたちが積極的に貢献するなど、学校と地域がパートナーとして連携・協働し、学校と地域の双方向の関係づくりを推進する。

学校と地域の双方で連携・協働を推進するための組織的・継続的な仕組みを構築



- コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入
- 地域学校協働本部の整備

2. 市川市の方針

- 学校運営協議会をすべての市立幼稚園・学校に設置する。
- 地域学校協働本部を中学校ブロック及び義務教育学校区単位で整備する。

- ①園長・校長のリーダーシップのもと、目指すべきビジョン（目標）の達成に向かって家庭・地域が応援団となり、力を発揮する。
- ②地域の力を生かした学校運営を行い、子どもたちの成長を多くの大人が支えていく。

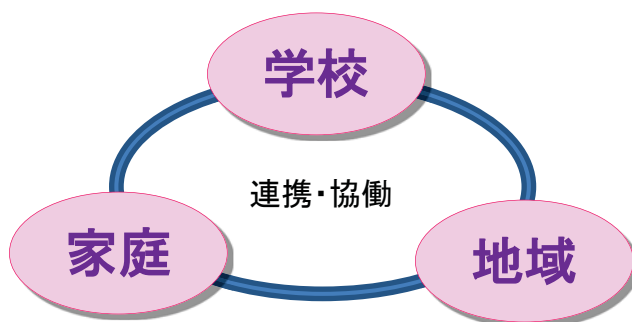


“未来の子どもたち”を育むためのしくみ

「生まれ育った土地に愛着を持ち、このまちに住み続けたい」と思える子どもたちを育む。

“地域とともにある学校”を目指すためのしくみ

学校と地域住民・保護者が心を合わせて子どもたちを育む。



3. 市川市の学校運営協議会のしくみ

「市川市学校運営協議会の設置等に関する規則」より

①委員

地域住民、保護者、対象学校の運営に資する活動を行う者、学識経験者、園長・校長、教職員、その他教育委員会が適当と認める者から15人以内で構成。

②役割

(1)校長の作成する学校運営の基本方針を承認する

園長・校長が学校運営協議会委員へ経営方針を説明し、承認を得る。

(2)学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べる

「挨拶の指導に力を入れてほしい」「校舎のバリアフリー化を進めてほしい」等、学校行事や授業改善、生徒指導、教育環境等について意見を述べる。また、家庭・学校・地域連携の視点から情報や意見の交換、さらに少年の健全育成を図るための意見交換を行う。

(3)教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べる

「地域連携の核となる社会教育主事資格者の教員の配置」「部活動を強化するための教員の配置」「小学校に中・高の英語の免許を所有する教員の配置」等、学校の課題解決や教育の充実のために校内体制の整備充実を図る観点での意見が述べられる。

(4)学校関係者評価を行う

学校運営協議会において、学校評価の結果を踏まえた評価を行い、その結果を公表する。

4. 市川市が目指す地域学校協働本部

地域学校協働本部とは、従来の学校支援地域本部のような学校と地域の連携体制を基盤とし、より多くの地域の人々や団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制である。そこで、現在行われている各事業の目的や機能を生かして、個別の活動のネットワークを強化し、中学校ブロック及び義務教育学校区ごとに整備していく。

第3章 生涯学習	34
第1節 生涯学習の推進.....	35
1 生涯学習の推進	
2 市民協働による生涯学習	
第2節 家庭・学校・地域の連携推進.....	37
1 地域学校協働活動・地域学校協働本部	
2 学校支援実践講座	
3 コミュニティクラブの推進	
4 体験事業の推進	
第3節 学校施設の開放.....	41
1 ねらい	
2 概要	
3 利用状況	
第4節 青少年の健全育成の推進.....	42
1 青少年健全育成活動の推進と非行防止への取り組み	
2 青少年育成団体の支援と育成	
3 自主活動・社会参加の促進	
4 良好な環境づくり	
第5節 文化財の保護と活用.....	51

第3章 生涯学習

第1節 生涯学習の推進

1. 生涯学習の推進

グローバル化、少子高齢化へと社会が急激に変化する中、我が国は今、知識基盤社会（新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会）への対応が求められている。

そのためには、市民一人ひとりが、生涯にわたって能動的に学び続け、その成果を地域コミュニティに生かしていくことのできる生涯学習社会の実現が必要である。

市川市では、平成26年度に第四次市川市生涯学習推進計画を策定し、平成27年からの5年間の重点課題として、「多様化・高度化する学習ニーズへの対応」「学び合い、支え合い、高め合う環境づくり」の2点を新たに設定した。この推進計画を基に、今年度も引き続き、地域コミュニティに関わる社会関係資本の連携協力を推進するとともに、学んだ成果を地域社会に還元することができ、生きがいを持って社会・地域に貢献できるような体制づくり（家庭・学校・地域活動の支援）に取り組む。

2. 市民協働による生涯学習

市民が生涯学習活動をとおして、自主的に活動する力を身につけることで、市川市が抱える、さまざまな諸課題を協働により解決できるように、市民、学校、高等教育機関、行政等との連携による学習や活動を支援し推進する。

(1) 家庭教育学級

家族や家庭を取り巻く環境の変化の中で、子どもの健やかな成長のため、子育てに関する諸問題を、一年間計画的・継続的に学習し、家庭の役割とその重要性について学習する機会を提供する。

市立幼稚園・小中学校・義務教育学校・特別支援学校に61学級を開設し、各学級生が以下の講座運営に主体的に取り組む。

- ①「自主企画による講座」を年間2回実施する。
- ②家庭教育指導員を講師とする「指導員派遣講座」を、各学級年間1回実施し、文部科学省・千

葉県教育委員会からの情報提供を含む「家庭教育を充実させるための啓発活動」を浸透させる。
③千葉県葛南教育事務所・市川市・市川市教育委員会等が行う「子育て」や「親子のコミュニケーション」に関連する講演会等に、学級生が個人単位で自由に参加できる「共通講座」（学校地域連携推進課が設定）を紹介し、幅広い学習機会を提供する。

(2) 団体活動等

○市川市PTA連絡協議会（会長：立原充彦）

市立小中学校・義務教育学校・特別支援学校のPTAと連携し、「時代やニーズに応じたPTA活動」に関する情報交換・研修等を行うとともに、会員の厚生に関する事業を展開している。

○市川善行会（会長：井上喜久男）

善行精神の普及を通じて、社会の福祉に貢献することを目的とする活動を行う。

○市川市婦人団体連絡協議会（会長：篠田美咲子）

地域婦人団体3団体をもって構成し、研修や社会福祉活動を展開している。

(3) いちかわ市民アカデミー講座

市内にある昭和学院短期大学・和洋女子大学・千葉商科大学の協力を得て、各大学の持つ専門的かつ高度な機能や施設と恵まれた環境の中で、知的好奇心の充足や生活向上の糧となる新しい知識の習得を目的とした講座を開催している。

【令和元年度】

コース名	定員	学習テーマ
昭和学院短期大学コース	80名	国際化と少子高齢化の時代を楽しく生きる
和洋女子大学コース	70名	知っておくべき！私たちを取りまく身近な環境
千葉商科大学コース	100名	サステナビリティ時代の暮らし・地域・社会

※学習期間 令和元年6月～令和2年2月

(4) 成人式

大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますため、毎年開催をしている。企画、運営に関して19歳、20歳を対象とした実行委員会方式を取り入れ、新成人の意見や考えを可能な限り反映させた自主的な「成人式」を実施している。

【平成30年度実績】(平成31年1月13日開催)

対象	平成10年4月2日～平成11年4月1日生
対象者	4,467名
出席者	2,048名(45.8%)
記念品	地図柄クリアファイル

第2節 家庭・学校・地域の連携推進

1. 地域学校協働活動・地域学校協働本部

(1) ねらい

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の目標を具現化し、地域にある個別の団体が連携・協働を深めるために、市川市立の15中学校ブロック・1義務教育学校区に「地域学校協働本部」を設置する。

また、「地域学校協働活動推進員」を委嘱し、地域の豊かな教育資源や人財を活用し、社会総がかりでの子供の教育の実現を推進する。

(2) 「地域とともにある学校づくり推進協議会」

学校（家庭教育）支援および地域振興事業を行う行政関係者・地域コミュニティの活性化に取り組む市民団体、社会教育諸団体、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）等の連携を推進するため、情報共有・協議を行い、各校が「主体的に地域の課題に取り組み、その体制強化を行政が支援する」環境を整備する。

(3) 「地域学校協働本部」

中学校ブロック及び義務教育学校区を単位に設置する“地域にある学校応援団”のこと。地域学校協働活動推進員を中心に、学校のニーズを引き出し、地域のネットワークを活用して様々な教育活動や地域活動をサポートする。また、地域と学校が連携・協働して、学校を核として地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく様々な活動を総称して『地域学校協働活動』と言う。

(4) 「地域学校協働活動推進員」

地域と学校をつなぐ「地域学校協働活動推進員」を市川市教育委員会が委嘱・育成し、地域支援者による地域学校協働活動を活性化させる。

2. 学校支援実践講座

(1) ねらい

★地域コミュニティの活性化

・教育委員会が行う人権啓発事業に対する市民の参加意欲を高めるとともに、それが参加者の自己啓発に留まることなく、地域（教育）力の向上へと確実につながるシステムを構築する。
・地域支援者による学校支援活動が効果的に行われるための環境を整える。

★深刻な「いじめ」の未然防止

・「児童生徒が次々に被害者になり加害者になる状況を改善し、深刻な“いじめ”を未然に防止するための取り組みが必要である」との認識に基づき、各学校における「いじめ防止活動」を支援する。
・生活体験や社会体験が乏しくなっている児童生徒に対し、地域人材との関わりを通して、この問題を考える機会を子どもたちに提供する。

(2) 事業内容

市民を対象として、学校における「いじめ問題」をテーマとした社会人権講座（年間3回）を行う。受講者は「地域支援者」として小中学生との交流会（1学級に対し5～6名派遣）に参加し、この問題について、本市が独自に開発した学習プログラムに基づき児童・生徒と意見交換を行う。その取り組みを通じ、「学校支援」と「いじめの未然防止」を図る。

具体的には、子どもたちが、①「自分には関係ない」②「いじめられている子にも問題がある」③「大人に相談することは卑怯だ」④「いじめがいけない事は分かっているけど、どうしたら良いか分からない」⑤「いじめなんて、なくなならない(なくせない)」という考えに流され、寛容になることが難しくなってしまうよう、①「お互いに多様な意見を自由に言い合える場を設定する」②「交流会実施後も、継続的にこの問題について学級内で話し合いが行える環境を維持する」③「互いに異なる視点や考えがあることを知り、それを承認しあえるよう、より多くの大人たちが、子ども同士の積極的な意見交換をサポートする」学習機会を提供する。

3. コミュニティクラブの推進

(1) ねらい

地域が中心となり「みんなで子どもたちを、みんなでボランティア」を合言葉に、地域教育力を高めながら、子どもたちに自主性・社会性・創造性等のいわゆる「生きる力」を培わせることを目的とし、併せて子どもたちの成長を支えるコミュニティづくりをねらいとしている。

また、子どもたちのためのボランティア活動を通して、地域の方々の生涯学習意識の高揚や、ボランティア意識の醸成を図りながら生涯学習社会の構築をめざしている。

(2) 活動内容

ボランティアで組織された16の実行委員会（各16学校区）が中心となり、それぞれの地域性を活かしながら「遊び」を通して、子ども

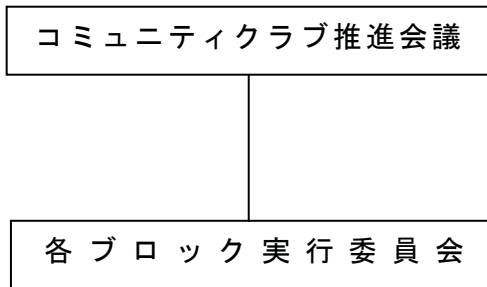
たちが主体的に関われる体験的活動、スポーツ・レクリエーション的活動、文化的活動や豊かな対人関係を築いていくための異年齢交流・世代間交流が図れる活動を実施していく。

- ①活動計画：各ブロック実行委員会で決定
（ボランティアの意向・子どもたちの要望）
- ②実施：ボランティア、子どもたち、当日の協力者等による
- ③実績（平成30年度）
活動回数：585回
参加者数：子ども 22,839名
（延べ人数）大人 7,289名
ボランティア 4,221名
合計 34,349名
- ④予算：一般配分として1ブロック 35万円の委託料。

【主な活動】

	継続活動・自由遊び	イベント型活動
ス ポ ・ レ ク 活 動	スポーツ教室	親子ドッジボール大会
	グラウンドゴルフ	卓球教室
	スポンジテニス教室	ヒップホップ体験
	卓球教室	寺社散策
	早春あそび塾	宿泊体験
	自由遊び広場・教室	地域運動会
		ウォークラリー
		お化けやしき
		デイキャンプ
		親子ハイキング
文 化 的 活 動		ペットボトルロケット発射大会
	囲碁・将棋教室	料理教室
	和太鼓教室	地域文化祭
	ビーズ教室	琴体験教室
	フラワーアレンジメント教室	天体観望会
	読み聞かせ活動	生け花教室
	陶芸教室	百人一首かるた大会
	マジック教室	茶道教室
	メロディベル	クリーングリーンマイタウン
	生け花教室	凧づくり&凧あげ大会
	和紙工芸教室	クラフト教室
	ダンスよさこい	お正月作り
	農作業体験教室	もちつき大会
	人形劇	炭焼き体験
	茶道教室	科学教室

(3) 組織



- ①推進会議：ブロックの代表者による会議で、各ブロックの活動に関する情報交換、意見交換及び課題等を協議する。
- ②実行委員会：ボランティアにより構成され、活動を企画・運営する。小・中・高・大学生の参加もある。(実行委員会の中に子ども部を設置しているブロックもある)



(4) 成果と課題

①子どもたちの成長

コミュニティクラブの活動により、子どもたちの社会性・協調性などが様々な体験活動により培われ、『生きる力』が育まれている。また、ボランティアとして関わっている中学生・高校生には、企画・運営することにより創造性やリーダー性が育っている。

②新しい人間関係の構築

異年齢・異世代の交流や、より広い地域での活動を通して、子どもたちの人間関係に広がりが見られ、豊かな交流が成されてきている。

③新たなコミュニティの広がり

コミュニティクラブの活動に対して、地域ボランティアの意識も、少しずつコミュニティづくりを意識したものに変化してきている。

また、子ども会、自治会等の団体との連携・協力は、地域活動を推進していく上で不可欠なことであり、家庭、学校とを含め、今後は、地域学校協働本部の一員としてさらに積極的に活動する必要がある。

④中学生以上の子どもたちの参画

異年齢交流が大切なことから、ボランティアとして、また、活動のリーダーとして中学生以上の子どもたちの参画を、活動内容の工夫や広報活動を通し促進していきたいと考えている。

また、近隣の高校・大学に対しても、コミュニティクラブの情報提供を行っており、興味のある高校生・大学生が当日のボランティアとして参加している。

(5) 今後に向けて

①新たなボランティアの発掘の推進

- ・小中学校や高等学校に通う子どもを持つ保護者のボランティア発掘、育成。
- ・市内および近隣高等学校、大学との人材面の連携。
- ・ブロックの状況によるが、各学校のPTAにも活動への協力依頼をしていく。

②複数ブロック連携活動や他団体連携活動の推進

- ・各ブロック間の人材面、活動面での交流を推進する。
- ・他の青少年育成団体、市内及び近隣高等学校、大学との活動面の交流を推進する。

③継続的な活動の充実

- ・ボランティアや地域の方の専門性を生かした「〇〇教室型活動」の充実を図る。
- ・子どもたちの活動ニーズに応えた「サークル型活動」の充実を図る。

④「自由遊びの場」づくりの推進

- ・子どもたちが集まり、自分たち自身で活動していくような場を多く提供していく。



4. 体験事業の推進

1 ねらい

異年齢との共同作業による農業体験を通し、自然とのふれあいや作物の生長への関わり、さらに勤労と収穫の喜びを体験することで、心豊かな子どもたちを育てることを目的としている。

2 農業・稲作体験活動（稲作・野菜作り）

市川市大野町4丁目、県立市川大野高等学園北側の「小川再生親子ふれあい農園」において、児童・生徒及びその保護者が農業（稲作・野菜作り）体験を行う。実際の米作り・野菜作りの指導と助言のため、「市川米っ人くらぶ」に事業委託している。

【30年度】

- 位置 大野町4丁目 2,398 番外1箇所
- 耕作面積 畑 920 m² 田 1,584 m²
- 参加者 延べ 1,248 名
- 予算 761 千円

30年度 農業・稲作体験活動の記録

日付	内容
4月7日	参加者説明会
4月21日	代かき、長ねぎ、小松菜植え
5月12日	田植え
5月26日	苗補植、さつまいも、落花生、南瓜植え、小松菜収穫
6月9日	田草取り、小松菜収穫、昆虫教室
6月16日	畑草取り、玉葱収穫
7月7日	田草取り、防鳥ネット張り、ジャガイモ収穫
8月18日	はぜ作り、大根植え、さつまいもつる返し
9月1日	稲刈り、はぜ掛け
9月8日	稲刈り、脱穀
9月22日	はぜ片付け、畑草取り、さつまいもつる返し、長ねぎ収穫
10月6日	さつまいも、落花生収穫
10月20日	長ねぎ収穫、玉葱植え
11月10日	収穫感謝祭

○生産物

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ・うるち米 | 570 kg | ・南瓜 | 18 kg |
| ・小松菜 | 64 kg | ・さつまいも | 105 kg |
| ・玉葱 | 9.2 kg | ・落花生 | 80 kg |
| ・ジャガイモ | 630 kg | ・長ねぎ | 386 kg |
| ・枝豆 | 13 kg | ・大根 | 240 kg |



子ども水田 田植えの様子



長ねぎ畑 収穫前の様子

第3節 学校施設の開放

1 ねらい

学校施設の開放により、スポーツ及び文化活動の振興を図り、地域住民の生涯学習意識の高揚を図ることを目的とする。

2 概要

本市には、小学校38校、中学校15校、義務教育学校1校、特別支援学校1校の計55校があり、学校教育活動に支障のない範囲で学校を開放している。

また、夜間照明は小学校28校、中学校2校の計30校に設置している。

平成30年度末時点で、施設開放委員会に登録されている団体は673団体で、登録者数については19,746人であった。

利用されている施設は、運動場や体育館のほか、会議室、音楽室などがある。

また、学校施設開放の一環として夏季休校期間中のうち、学校教育に支障の無い期間で開放日時を設定し、市民に小学校プールの開放も行っている。

3 利用状況

平成30年度 学校施設開放利用状況

運動場		体育館等		プール		計	
利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
17,864回	1,045,770人	33,607回	804,726人	60回	3,687人	51,531回	1,854,183人

【主な活動内容】

	活動内容
運動場	サッカー、野球、フットベースボール、ソフトボール等の練習や試合
体育館	卓球、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、ソフトバレーボール、インディアカ、体操、剣道、空手等の練習や試合
教室	コーラス、読書サークル、華道、手芸、ダンス、吹奏楽等

第4節 青少年の健全育成の推進

1. 青少年健全育成活動の推進と非行防止への取り組み

(1) ねらい

青少年問題の複雑化・多様化が進む現況を鑑み、健全な青少年を育成することは社会の責務である。学校・家庭・地域が一体となって、実

態に即した青少年健全育成活動と非行防止活動に取り組むことで、本市の青少年の健全な育成を図ることを目的とする。

(2) 少年健全育成連絡協議会

平成30年度 各健全育成連絡協議会の活動状況

(単位：人)

協議会名称	会員数	主な活動内容
第一中学校ブロック少年健全育成連絡協議会	38	・パトロール活動 ・クリアファイルの作製、配付
二中ブロック少年健全育成連絡協議会	37	・パトロール活動 ・子どもマップ作製、配付
三中ブロック少年健全育成連絡協議会	68	・パトロール活動 ・標語募集 ・挨拶運動 ・地域行事への参加
四中ブロック少年健全育成連絡協議会	77	・パトロール活動 ・あいさつ運動 ・いじめ防止（イエローリボン運動） ・情報伝達システムの構築と活用
第五中学校ブロック少年健全育成連絡協議会	34	・パトロール活動 ・花いっぱい運動 ・いじめをなくす運動 ・危険箇所点検
第六中学校区青少年健全育成連絡協議会	60	・パトロール活動 ・花いっぱい運動 ・地域行事への参加・あいさつ運動
行徳地区少年健全育成連絡協議会 (第七中・妙典中)	55	・パトロール活動 ・講演会 ・クリーングリーン作戦 ・ボランティア教育・キャリア教育
第八中学校ブロック健全育成会	28	・パトロール活動 ・標語コンクール ・地域行事への参加
下貝塚中学校ブロック少年健全育成連絡会	84	・パトロール活動 ・いじめ撲滅運動 ・カレンダー作成、配付
高谷中ブロック青少年健全育成会	30	・パトロール活動 ・花いっぱい運動 ・学区内危険箇所点検 ・地域行事への参加
福栄中学校区少年健全育成連絡協議会	81	・パトロール活動 ・挨拶運動 ・標語コンクール
東国分中学校区少年健全育成連絡協議会	64	・パトロール活動 ・安全マップ更新 ・花いっぱい運動
大洲中ブロック少年健全育成連絡協議会	41	・パトロール活動 ・あいさつ運動 ・クリーングリーンマイタウン ・いじめ防止活動
塩浜学園青少年健全育成連絡協議会	28	・パトロール活動 ・標語決定、看板作製、設置
南行徳中学校区少年健全育成連絡協議会	53	・パトロール活動 ・クリアファイル作製、配付

(3) 少年センター

① 設置の趣旨

少年センターは、小学校就学の始期から満20歳に達するまでの少年の非行防止と、その健全な育成を図るために、街頭補導・少年相談・少年を取り巻く環境の浄化活動及び啓発活動を、市川市少年補導員の協力と関係諸機関との連携を図りつつ推進している。

② 主な事業

ア. 街頭補導

(少年非行の早期発見と専門機関への連絡)

非行の早期発見・未然防止のため、教育委員会から委嘱された少年補導員と市川・行徳両警察の協力を得て、補導活動や環境浄化活動を実施している。

設置年月日 昭和43年4月1日
所在地 市川市鬼高1-1-4

平成30年度 街頭補導実施状況 (単位：人)

実施区分	回数	従事 延人数	計画補導 延人数	地区補導 延人数	補導 少年数
午前(10:00～)	58	272	0	272	5
午後(14:00～)	148	781	128	653	120
薄暮(16:00～)	88	435	54	381	61
夜間(19:00～)	106	528	115	413	183
合計	400	2,016	297	1,719	369

※ 少年補導員…1,950人 警察関係者…4人 教員…11人 少年センター職員…51人

平成30年度 補導少年行為・学職別状況 (単位：人)

	児童・生徒・学生								その他		計		合計	
	小学生		中学生		高校生		その他		有無職者					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
喫煙					19	6	5					24	6	30
怠学												0	0	0
飲酒							3		1			4	0	4
ゲームセンター出入り												0	0	0
危険な遊び	60	23	8				1	1	3	3		72	27	99
自転車二人乗り	2		14	2	11	13						27	15	42
自転車危険走行	34	2	19	8	9	4			1			63	14	77
その他	27	11	30	13	11	25						68	49	117
合計	123	36	71	23	50	48	9	1	5	3		258	111	369

過去5年間の補導少年数の推移 (単位：人)

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
338	351	436	451	369

イ. 少年相談（少年に関する相談活動、電話相談・eメール相談・面接相談）

市内の少年（小学校就学の始期から20歳に達するまで）や、その保護者からの悩みに対して支援を行うとともに、必要に応じて専門機関へも紹介している。

平成30年度 電話相談状況

(単位：件)

学職別	少年						成人						合計	総計									
	小学生	中学生	高校生	その他の学生	大学生	有職・無職	小計	保護者	一般成人	小計	合計												
内容別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	不明								
少年に関する相談	交友	1		1		1				1	2		6	1		1	6	2	8	0	10		
	いじめ			2		1				3	0		5			0	5	3	5	0	8		
	学業									0	0		3			0	3	0	3	0	3		
	性					2	1			1				5		5	0	8	1	0	9		
	異性			1		1				2				1		0	1	4	1	0	5		
	健康	1		1		2						3	62	13	9	16	71	18	73	0	91		
	家庭生活	1		3						2				3	45	1	2	4	47	9	48	0	57
	学校生活	3		1	1		1					4	2	17	2	1	2	18	6	20	0	26	
	虐待	1		1	1							1	2		1	2	2	2	3	3	5	0	8
	しつけ											0	0	1	19			1	19	1	19	0	20
	不登校				2							0	2	2	27	1		3	27	3	29	0	32
	非行											0	0	1	12	1	8	2	20	2	20	0	22
	進路									1				9				0	9	1	9	0	10
	仕事											0	0			2	2	2	2	2	2	0	4
その他			1			3					1	3	2	26	56	13	58	39	59	42	0	101	
保護者に関する相談	対人関係									0	0					0	0	0	0	0	0		
	健康									0	0	1	13			1	13	1	13	0	14		
	家庭生活									0	0		13			0	13	0	13	0	13		
	仕事									0	0		7			0	7	0	7	0	7		
	その他									0	0					0	0	0	0	0	0		
合計	3	4	9	6	7	5	0	0	6	0	25	15	13	266	84	37	97	303	122	318	0	440	
	7		15		12		0		6		40		279		121		400						

過去5年間の電話相談件数の推移

(単位：件)

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
776	839	644	747	440

平成30年度 eメール相談状況 (単位：件)

	交友	いじめ	学業	性	異性	健康	家庭生活	学校生活	虐待	しつけ	不登校	非行	進路	仕事	その他	総計
合計	1	0	0	0	0	35	25	13	0	14	4	0	2	0	8	102

過去5年間のeメール相談件数の推移 (単位：件)

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
212	113	124	204	102

平成30年度 面接相談状況 (単位：件)

	交友	いじめ	学業	性	異性	健康	家庭生活	学校生活	虐待	しつけ	不登校	非行	進路	仕事	その他	総計
合計	1	1	0	0	0	35	28	0	0	7	10	21	17	3	0	123

過去5年間の面接相談件数の推移 (単位：件)

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
304	332	291	212	123

ウ. 少年を取りまく環境の浄化・啓発活動

- a) 少年のたまり場調査等の実施。
- b) 「市川市明るい環境をつくる会推進会議」の開催。
- c) 「薬物乱用防止キャンペーン」の開催及び学生ボランティアの参加。
- d) 市内小・中・高校への青少年問題啓発リーフレットの配付。
- e) 少年のインターネットトラブルに関する啓発活動。

2. 青少年育成団体の支援と育成

(1) ねらい

地域社会は、子どもたちにとって様々なことを学べる場所であり、青少年育成に果たす役割は非常に大きい。地域の活性化を図り、青少年の主体的・社会的な活動を支援するため、地域の青少年育成団体が自主運営できるように指導・援助していく。

(2) 推進にむけた施策

- 育成団体の補助と青少年育成
(育成団体)
- ・市川市子ども会育成会連絡協議会
 - ・市川市青少年相談員連絡協議会
(施策)
 - ・青少年育成団体への支援及び指導

3. 自主活動・社会参加の促進

(1) 事業概要

①青少年指導者育成事業

【わんぱくセミナー】

目的・内容		
異年齢集団による遊びや自然体験を通して、基本的な生活力や創造力を養う。 また、たくさんの友達と交流する中で、集団における自分の役割を体験的に学ぶ。 キャンプ・レクリエーションゲーム・工作など、体験型の講習を実施している。		
対象	実施回数	30年度参加数
小学生	年間 5回 (内宿泊1回)	81人

【わんぱくセミナー 冒険キャンプ】



【みんなでテント張り】

【ジュニアリーダー講習会】

目的・内容		
集団活動を通して、リーダーシップ力及びメンバーシップ力を高める。 また、様々な体験を通して、中学生としての資質の向上を図る。 野外活動を中心にグループワークを行い、仲間との協力や集団における役割を体験的に学ぶ講習を実施している。		
対象	実施回数	30年度参加数
中学生	年間 7回 (内宿泊2回)	33人

【ジュニアリーダー講習会・ヤングカチャースクール 合同トレーニングキャンプ】



【野外炊事】

〔ヤングカルチャースクール〕

目的・内容		
様々な体験を通して知識や技術を習得し、青少年リーダーとしての資質向上を図る。 また、指導する体験を通して、リーダーシップ力を高める。 野外活動を中心に、小学生や中学生の指導的役割を担い、指導する力を体験的に養える講習を実施している。		
対象	実施回数	30年度参加数
高校生	年間 7回 (内宿泊2回)	4人

〔グループリーダーアカデミー〕

目的・内容		
子どもの育成者として資質向上をねらいとし、レクリエーション実技のスキルアップを目指す。 また、参加者同士の交流と情報交換を図る。 レクリエーションゲームや歌あそび、クラフトなど様々なあそびを紹介している。		
対象	実施回数	30年度参加数
18歳以上 高校生除く	年間 5回	59人

②青少年団体育成事業

【子ども会育成会連絡協議会】

目的・内容		
市内の子ども会の健全な活動と発展を図り未来を担う青少年の健全育成を推進する。 子ども会の各種行事を支援するとともに、育成会会員の研鑽に関する指導を支援する。		
対象	実施及び支援事業	30年度 会員数
子ども会員： 幼児～高校生 育成会員： 大学生以上	<ul style="list-style-type: none"> ・はぜ釣り大会 ・ファミリーイベント ・指導者育成講座 ・機関紙発行 ・貸出備品講習会 	子ども会員数 3,250人 育成会員数 2,420人

【グループリーダーアカデミー】



【言葉で 歌で 体で 表現を楽しもう】

【青少年相談員連絡協議会】

目的・内容		
千葉県知事と市川市教育委員会より委嘱され、スポーツ、野外活動等を通じた体験学習等の促進を図り、社会環境浄化の推進を行うことで、青少年健全育成の担い手とし各地域の指導者として活動している。		
対象	実施及び支援事業	30年度 相談員数
青少年相談員 20歳以上 55歳以下	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会事業 ・地区事業 ・子ども村キャンプ ・機関紙発行 	175人

【青少年相談員いちかわ子ども村】



【水遊びを思い切り楽しもう】

4. 良好な環境づくり

(1) 放課後保育クラブ

①概要

放課後保育クラブは、保護者等が就労等により昼間家庭にいない小学生の放課後等において、家庭にかわる適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全な育成を図ることを目的として運営している。現在、市内46カ所に保育クラブを開設しており、令和元年5月1日現在5,122人の児童が入所している。

②対象

小学校及び義務教育学校前期課程(1~6年)並びに特別支援学校の小学部に就学している児童。

③開所時間

平日は、下校時から午後6時30分まで。学校休業日(土曜日、夏休み等)は午前8時から午後6時30分(延長保育は午後7時)まで。

④費用

- ア. 保育料 児童1人当たり月額8,000円。
(同一世帯で2人以上利用する場合は、2人目から4,000円。)
- イ. おやつ代 月額2,000円

⑤開設場所

下表のとおり。

〔放課後保育クラブ開設場所一覧〕

開設場所	所在地	開設場所	所在地
市川小	市川2-32-5	新浜小	行徳駅前4-5-1
真間小	真間4-1-1	百合台小	曾谷6-10-1
中山小	中山1-1-5	富美浜小	南行徳2-3-1
八幡小	八幡3-24-1	柏井小	柏井町1-1149-1
国分小	東国分2-4-1	大洲小	大洲4-18-1
大柏小	大野町2-1877	幸小	幸1-11-1
宮田小	新田4-8-15	新井小	新井1-18-13
富貴島小	八幡6-10-11	南新浜小	新浜1-26-1
若宮小	若宮3-54-10	大野小	南大野1-42-1
国府台小	国府台5-25-4	塩焼小	塩焼5-9-8
平田小	平田3-28-1	稲越小	稲越町518-2
鬼高小	鬼高2-13-5	塩浜学園	塩浜4-5-1
菅野小	菅野6-14-1	大和田小	大和田1-2-6
行徳小	富浜1-1-40	福栄小	南行徳2-2-1
信篤小	原木2-16-1	妙典小	妙典2-14-2
南行徳小	欠真間1-6-38	稲荷木(こども発達センター分館内)	稲荷木1-14-1
鶴指小	大和田4-11-1	妙典(プレハブ)	妙典2-11-13
宮久保小	宮久保5-7-1	幸公民館	幸1-16-18
二俣小	二俣678	南行徳公民館	相之川1-3-7
中国分小	中国分1-22-1	本行徳公民館	本行徳12-8
曾谷小	曾谷7-18-1	行徳地域ふれあい館	富浜2-5-19
大町小	大町84-10	香取地域ふれあい館	香取2-19-1
北方小	北方町4-1356-1	富美浜地域ふれあい館	欠真間2-31-5

※令和元年度より本行徳公民館は休室中

【勉強の時間】



【楽しいおやつ時間】



(2) 子どもの居場所づくり
【ビーイング】

①ねらい

学校の施設等を活用し、放課後等における子どもの居場所をつくり、地域の人々とのふれあいや異年齢間の交流による豊かな生活体験の機会を提供することで、子どもの生きる力、創造性豊かな心及び共感する心を養い、児童生徒の健全な育成を図っている。

この事業は、平成14年4月開室の曾谷小学校に始まり、現在、市内5ヶ所で開室している。平成30年度は、延べ34,736名の児童生徒が利用した。

②対 象

小学生から高校生まで。放課後は、帰宅してから利用できる。

③開室時間

平日午後2時30分から午後5時30分まで。
ただし、学校休業日（土曜日、夏休み等）は午前10時から午後5時30分まで。
冬季短縮あり。

④開室場所

下表のとおり

〔ビーイング開室場所一覧〕

活動の様子① 【みんなで仲良く】



活動の様子② 【お楽しみ会】



開室場所 (開設年月)	所 在 地
曾 谷 小 (平成 14 年 4 月)	曾谷 7-18-1
鶴 指 小 (平成 15 年 3 月)	大和田 4-11-1
市 川 小 (平成 15 年 3 月)	市川 2-32-5
稲 荷 木 小 (平成 17 年 9 月)	稲荷木 1-14-1
平 田 地 域 ふれあい館 (平成 18 年 11 月)	平田 2-16-7

【子ども教室】

①ねらい

公立小学校において、放課後や長期休業等に子どもたちが安心して過ごすことのできる、安全な居場所の提供を目的とし、学習活動やスポーツ・文化・芸術活動及び地域住民との交流活動を実施している。

この事業は、平成31年4月より、これまで「ビーイング」として実施していた4カ所の運営形態を一部変更し、新たに「子ども教室」として運営を開始した。

②対 象

小学生

放課後は、学校から直接または帰宅してから利用できる。

③開室時間

平日放課後から午後5時まで。

ただし、学校休業日（土曜日、夏休み等）は午前8時から午後5時まで。

④開室場所

下表のとおり

〔子ども教室開室場所一覧〕

開室場所 (開設年月)	所 在 地
塩 浜 学 園 (平成 31 年 4 月)	塩浜 4 - 5 - 1
宮 田 小 (平成 31 年 4 月)	新田 4 - 8 - 1 5
八 幡 小 (平成 31 年 4 月)	八幡 3 - 2 4 - 1
富 美 浜 小 (平成 31 年 4 月)	南行徳 2 - 3 - 1

第5節 文化財の保護と活用

本市には、先人によって古くから残された歴史的な文化財も数多く存在する。文化財は郷土の歴史を伝え、また一度失われたら二度と元に戻せない貴重な国民的財産である。

本市は、文化財の調査、指定の拡充と修理等における補助、史跡の環境整備、博物館等の郷土理解のための施設などを通じて、文化財の保護と活用の推進に努めている。

<文化財の保護・活用例>



「常夜灯公園内に設置された常夜灯」



「神輿をはじめとする行徳の歴史や文化を紹介し、地域の魅力を発信する行徳ふれあい伝承館」
国登録有形文化財である旧浅子神輿店（左）と休憩所（右）

第4章	教育機関	52
1	市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）.....	53
2	市川市教育センター.....	55
3	市川市立図書館.....	58
4	市川市公民館（社会教育課）.....	65
5	市川考古博物館.....	68
6	市川歴史博物館.....	70
7	市川自然博物館.....	72
8	市川市少年自然の家.....	74

1. 市川市生涯学習センター

(メディアパーク市川)

〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 (中央図書館)

TEL 047-320-3346(代表) FAX 047-320-3351



特色

市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）は、市制施行60周年に合わせ平成6年11月、市民の生涯学習を支援する拠点として開館した。

本センターは、視聴覚資料・点字図書・大活字本など78万点を備えた「中央図書館」、グリーンスタジオ・ベルホール・資料室等を備えた文学と映像を活動の基盤とする「文学ミュージアム」、教育相談や研修が行われる「教育センター」、子ども達が遊びを通して感性や創造力を育てていく「中央こども館」、青少年の健全育成のための補導活動や少年相談業務を行う「少年センター」がある。

「読む」「見る」「聞く」「学ぶ」「遊ぶ」が一箇所のできる、新しいタイプの生涯学習施設である。

沿革

- 昭和63年4月 中央図書館等複合施設建設検討会設置
- 63年7月 ワーキンググループ設置
(基本計画案検討)
- 63年10月 中央図書館等生涯教育センター建設準備委員会設置
「仮称メディアパーク市川建設基本計画」策定
- 63年11月 用地取得

- 平成元年7月 「仮称メディアパーク市川建築計画書」策定
- 元年10月 競技設計実施
- 2年7月 基本設計完了
- 3年3月 実施設計完了
- 3年12月 着工
- 6年6月 竣工
- 6年11月 メディアパーク市川開館

利用

○開館時間

- ・中央図書館
 - 火曜日～金曜日 10:00～19:30
 - 土・日曜日・祝日 10:00～18:00
- ・こどもとしょかん
 - 火曜日～金曜日 10:00～18:00
 - 土・日曜日・祝日 10:00～17:00
- ・中央こども館
 - 火曜日～金曜日 10:00～18:00
 - 土・日曜日・祝日 10:00～17:00
- ・文学ミュージアム
 - 火曜日～金曜日 10:00～19:30
 - 土・日曜日・祝日 10:00～18:00
- ・文学ミュージアム資料室
 - 火～日曜日・祝日 10:00～17:00
- ・教育センター
 - 研修担当：月曜日～金曜日 10:00～17:00
 - 相談担当：火曜日～土曜日 9:00～17:00
- ・少年センター
 - 電話相談：月曜日～金曜日 9:00～17:00
(木曜日のみ) 9:00～19:00
 - 面接相談：月曜日～金曜日 9:00～17:00
 - eメール相談：24時間

○休館日

- ・月曜日
- ・年末年始 (12/28 ～1/4)
- ・館内整理日 (土・日を除いた月末)

施設

1. 概要

敷地面積 11,012㎡ 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造(地下1階、地上3階 一部4階建)
 建築面積 6,164㎡ 延床面積 19,647.79㎡ 総工費 125億 1,600万円

2. 施設案内

1階	中央図書館	5,943㎡	・開架フロアを一つにまとめ、小説・参考図書類を配架する ・収蔵能力100万冊 ・他に新聞、雑誌、ビデオ、CD、DVDを置く
	こどもとしょかん	468㎡	・児童図書及び児童文学研究に関する本をそろえる ・おはなし室、くつろぎ広場（じゅうたんコーナー）
	中央こども館	1,655㎡	・遊びを通してこども達の健全育成を図る ・造形スタジオ、プレイルーム、陶芸室、集会室
2階	文学ミュージアム	2,770㎡	・最大260名収容のグリーンスタジオ ・46人収容のベルホール ・文学、映像に関する企画展の開催・映像編集設備・文学研修室
3階	教育センター	2,067㎡	・教育関係者の研修会の実施、教育に関する研究 ・来所及び電話による教育相談や、不登校児童・生徒の教室の運営
	文学ミュージアム資料室	200㎡	・市川ゆかりの文学に関する情報、資料室
	少年センター	35㎡	・計画補導、地区補導を通して青少年の非行防止と健全育成を図る ・少年および保護者等からの相談業務
4階 地下1階 その他	機械室 駐車場 共有部分	6,510㎡	・駐車場99台 ・音楽スタジオ、集会室

3. 整備機能

地下1階

- ・音楽スタジオ
（1室はドラムセット・デジタルピアノを設置、5～6人演奏練習に利用可）

1階 中央図書館

- ・ポピュラーライブラリー
- ・レファレンスライブラリー
- ・レファレンスカウンター
（調べものの相談対応）
- ・ブラウジングコーナー
（新聞、雑誌の軽読書に利用）
- ・障害者サービス室
- ・AVコーナー
- ・インターネット（IT）ブース
- ・対面朗読室
- ・シニアルーム
（研究個室、拡大読書器設置）
- ・ビジネスルーム
（パソコン・電卓持込利用可）
- ・ヤングアダルトルーム
- ・資料検索コーナー
- ・ブックディテクション
（貸出確認システム）設置
- ・相互通話補助装置（フラットループ）整備

1階 こどもとしょかん

- ・おはなし室
- ・くつろぎ広場（じゅうたんコーナー）

1階 中央こども館

- ・アスレティック・フォーリー
- ・光のトンネル ・遊環路

中2・3階

- ・閉架書庫（収蔵能力80万冊）

2階 文学ミュージアム

- ・グリーンスタジオ
最大260人収容、可動床により様々な催しができる多目的スタジオ

- ・ベルホール
- ・通常展示フロア

- ・企画展示室
- ・映像メディア編集室
- ・文学研修室
- ・アナウンスブース

3階 教育センター

- ・研修室4室 ・和室研修室
- ・コンピュータ研修室
- ・教育相談室
- ・和室相談室 ・プレイルーム
- ・ふれんどルーム市川

3階 文学ミュージアム資料室

3階 少年センター

<p>2. 市川市教育センター</p>	<p>〒272-0015 鬼高1-1-4 TEL 047-320-3335(研修担当事務室) 047-320-3336(相談担当事務室) 047-320-3345(少年センター事務室) 教育センター行徳相談室 〒272-0192 末広1-1-31 TEL 047-318-3223</p>
----------------------------	--

特色

市川市教育センターは、昭和36年に「市川市教育研究所」として設置された。昭和58年には「市川市教育センター」に改称し、機能を整備し拡充してきた。

平成6年11月に、市川市生涯学習センターの設置と同時に移転し、生涯学習の基礎を担う一端に位置づけられた。

主に市内小・中・義務教育学校、特別支援学校の教職員の研修、学校の情報化に関すること、子供や保護者からの教育相談などを行っている。教育相談の内容は、子育てに関することから不登校など学校生活に関することまで幅広く、教育に関する経験と見識を併せ持つ相談員や臨床心理士が常駐している。

沿革

昭和36年 4月 市川市役所内に市川市教育研究所を置く

昭和37年 1月 教育相談事業開始

昭和38年 3月 小学3・4年生用副読本「わたしたちの市川」初版発行

昭和48年 4月 教職員等研修事業開始

昭和49年 4月 就学指導委員会条例施行

昭和54年 4月 教育実践記録論文「いぶき」第1回募集

昭和54年 6月 「教育いちかわ」1号発行

昭和58年12月 南八幡5-20-3に移転、「市川市教育センター」と改称

平成元年 公共図書館と学校とを結ぶネットワーク事業開始

平成 6年11月 市川市鬼高1-1-4、市川市生涯学習センター3Fに移転

平成 6年 適応指導教室開級

平成 8年 文部省指定「学校図書館情報化・活性化推進モデル地域事業」～10年

平成11年 文部省・郵政省指定「マルチメディア活用学校間連携推進事業」

平成13年 文部科学省指定「次世代ITを活用した未来型教育研究開発事業」

平成13年 文部科学省指定「学校図書館資源共有型モデル地域事業」～15年

文部科学省指定「不登校児童生徒の適応指導総合調査研究委託事業」～14年

平成15年 文部科学省指定「スクーリング・サポート・ネットワーク整備事業」

平成16年 文部科学省指定「学校図書館資源共有ネットワーク推進事業」～18年

平成18年 文部科学省指定「学校図書館支援センター推進事業」～20年

平成19年 きらきら体験留学事業

平成21年 文部科学省委託「学校図書館の活性化推進総合事業」

平成22年 文部科学省委託「学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究」～23年

平成22年 「ほっとホッと訪問相談」指導課より移管

平成25年 文部科学省委託「学校図書館担当職員の効果的な活用方策と求められる資質・能力に関する調査研究」～26年

平成25年 校内LANシステム、校務支援システム、ICT機器等の導入

平成27年 教育支援委員会条例施行

文部科学省委託「学校司書の資格・養成の在り方や資質能力の向上等に関する調査研究」～29年
平成30年 文部科学省委託「学校図書館ガイドラインを踏まえた学校図書館利活用に係る調査研究」
令和元年 5月 教育センター行徳相談室開室
11月 校内LANシステム 機器入れ替え

施設

市川市生涯学習センター 3階 2,067㎡
(通称 メディアパーク市川)

事業

(1) 学校情報化研究事業

情報活用能力育成のために、文部科学省より示された「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画(2018～2022年度)」等を参考に、学校のICT環境整備を進めていく。

(2) コンピュータ教育振興事業

学習の基盤となる資質能力としての情報活用能力を育てる。

・情報モラル教育を推進し、情報技術を適切かつ効果的に活用する力、情報社会に主体的に参画しようとする態度を育てる。

・小学校では、情報手段の基本的な操作能力や、プログラミング的思考を育て、さらに中学校では、生活や社会における問題をプログラミングによって解決する力を養う。

(3) 学校図書館支援センター事業

市川市教育センター内に学校図書館支援センターを設置し、学校図書館へのさまざまな支援を通して学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能の充実・強化を図る。また、学校の教育機能を高め児童生徒の「豊かな心」と「自ら学ぶ力」を育むとともに、生涯にわたって学び続ける市民の育成をめざす。

(4) 教職員等研修事業

市川市の教職員の資質・力量の向上を図るため、市川市、千葉県、国の教育施策をふまえ、教育の今日的課題や教職員のニーズに応じた研修を行う。

- ① 確かな学力と豊かな心を育む授業づくりの研修会
- ② 一人一人の子供を理解し支援していく研修会
- ③ 学校が現在直面している課題に対処する研修会
- ④ ICTを活用した授業づくり研修会

(5) 社会科副読本等製作事業

小学校における郷土に関する学習指導の在り方を研究するとともに、副読本「わたしたちの市川」(小学校3・4年用)及び指導解説資料等の作成をする。

(6) 教育広報活動事業

① 教育委員会広報紙「教育いちかわ」発行
市川市教育委員会の施策や新しい教育情報等を市民・保護者・学校関係者に提供し、理解と協力を求める。

② 教育実践記録論文集「いぶき」

教職員の日常の教育活動をまとめた論文を募集し、論文集を発行する。優れた実践を紹介し、市川教育の向上に努める。

③ 教科書センター

各種教科書を常設し、学習指導のための資料提供や教科内容の研究等を行うことができる。また、保護者、市民にも利用できるようにすることで、教科書や教科への理解を深める。

(7) 教育情報収集・提供事業

学校要覧、教育課程編成資料、研究紀要を収集し、各学校へ情報を提供する。

(8) 教育支援委員会運営事業

(市川市教育支援委員会)

特別の支援を必要とする幼児、児童生徒の適正な就園・就学及び転学に関し教育委員会の諮問に応じ調査審議するとともに必要に応じ建議する。

(9) 教育相談事業

①教育相談

市内在住の3歳以上の幼児、小学生、中学生とその保護者を対象に、子育てをしていく中で生じるさまざまな悩みに関して、専門的知識を持つ教育相談員等が保護者との面接相談やカウンセリングを行ったり、子供とのプレイセラピー(遊戯療法)を実施したりすることで悩みの軽減や解消を図る。

②ほっとホッと訪問相談

不登校をはじめとする子育て全般の悩みに対して、経験豊かな相談員が電話相談や訪問相談等を行うことで、児童生徒及び保護者の心の安定を図る。

(10) 適応指導教室運営事業

(ふれんどルーム市川)

心理的な要因等で不登校の状態になっている児童生徒に対して、小集団での活動を通じて自己肯定感を高め、集団生活への適応力を育む等、個々の児童生徒の状況に応じた必要な支援を行う。

(11) 補導員活動事業

非行の早期発見・未然防止のため、市が委嘱した160名の少年補導員と市川・行徳両警察署の協力を得て、実施計画に基づいた市内全域の補導活動を実施する。

(12) 少年相談事業

複雑化、深刻化する傾向にある相談者の悩みやニーズに対応できるよう、電話や電子メールから、面接相談や他の専門機関などへの適切な受け渡しに努め、相談効果を高める。

(13) 社会浄化啓発活動事業

少年非行及び犯罪の発生予防を目的として、少年(青少年)に有害な社会環境の浄化・改善活動、少年の非行化防止活動、ネットトラブル防止出張授業など少年の健全育成のために必要な施策を行う。

(14) 少年センター運営協議会事業

教育委員会の諮問に応じて、少年センターの運営についての方向性等を審議する少年センター運営協議会を開催する。

3. 市川市立図書館

〒272-0015 市川市鬼高 1-1-4 (中央図書館)
TEL 047-320-3346 FAX 047-320-3351



図書館は、社会を取り巻く様々な課題や個人の生き方について、市民一人ひとりが興味と関心に従って自由に学び、必要な知識を得て考え、意見を作り上げるための資料・情報と学習の場を提供する生涯学習機関である。

本市の図書館の今後の目指すべき方向性については、平成26年度に「市川市立図書館運営基本計画」を策定しており、その評価を実施し公表している。本計画では、三つの柱の本に、7つの「施策の方向」を置き、それぞれに具体的な施策を位置付けている。

1. 情報拠点としての市民の学びを支える図書館
 - 1-(1).様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持
 - 1-(2).図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実
 - 1-(3).関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供
2. 子どもの成長をサポートする図書館
 - 2-(1).発達に応じた豊かな読書のための環境整備
 - 2-(2).公共図書館と学校等との連携の強化
3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館
 - 3-(1).市川市の歴史・文化の保存と継承
 - 3-(2).行政の情報拠点としての役割

沿革

昭和		
25年	9月	創立開館 市川小学校に併設(2教室)
32年	5月	葛飾八幡宮境内に移転して 独立館として新設
37年	5月	夜間開館実施
39年	3月	図書館設置条例の制定
	6月	徳願寺境内に行徳分館開館
43年	5月	八幡本館隣りに新館開館
50年	9月	移動図書館「みどり号」運行
54年	2月	信篤図書館開館、行徳分館を 行徳図書館に改称
55年	4月	行徳図書館、移動図書館を本 行徳公民館図書室に移転
56年	10月	行徳図書館、行徳支所4・5 階に移転して開館
58年	10月	南行徳図書館開館
60年	11月	電算システムを導入し、市内 5館をオンラインで結び、シ ステムによる貸出開始
62年	10月	平田図書室開室
平成		
元年	4月	行徳図書館、行徳支所隣に新 館として開館
	6年	11月 市川市中央図書館開館
	12年	10月 蔵書公開を開始
	14年	11月 ウェブからの所蔵予約開始
	15年	3月 自動車図書館車を圧縮天然 ガス(CNG)車に更新
	17年	4月 「子どもの読書活動優秀実 践図書館」として文部科学大 臣表彰を受ける
	18年	10月 宅配サービス開始
	21年	4月 指定管理者制度を導入し、市 川駅南口図書館開館
	23年	4月 中期計画を策定
	26年	11月 中央図書館開館20周年記念 行事を開催
	27年	3月 運営基本計画を策定
	28年	4月 赤ちゃんカード発行
		7月 行徳図書館にIC機器導入
		12月 大野公民館図書室蔵書管理 のバーコード化
	31年	3月 西部公民館図書室蔵書管理 のバーコード化

施設概要

図書館名	中央	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口
敷地面積	11,012		4,958		410	
建築面積	6,164		674	304	120	
延べ床面積	6,411	256	2,397.66	912.6	364	573.03
建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上4階地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上2階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上5階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上3階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上3階	鉄骨鉄筋コンクリート造・地下2階/地上45階(3階部分)
蔵書冊数(冊)	736,054	40,624	156,600	45,768	42,550	88,030
雑誌(誌)*1	327	35	105	37	37	42
CD(点)	12,855		7,475			
ビデオ(点)	3,723		47			
DVD(点)	1,939		384			1,011
開館時間	火曜日～金曜日 10:00～19:30 土・日曜日・祝 10:00～18:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～金曜日 10:00～19:30 土・日曜日・祝 10:00～17:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～日曜日 9:30～17:00	火曜日～金曜日 9:30～21:00 土・日曜日・祝 9:30～18:00
閉館日	毎週月曜日及び土・日曜日にかからない月末日・国民の祝日 年末・年始及び蔵書点検期間 ※ 中央・市川駅南口・行徳のみ祝日開館					
閲覧席(席)	358	20	185	33	16	61
駐車場(台)	(共有)99		(共有)69	(共有)20		
利用者端末(台)	(*2)22	1	6	1	1	(*3)7
職員数(女性)*4	33(17)	3(1)	9(4)	3(2)	4(2)	指定管理者制度
司書数(女性)*4	27(17)	1(1)	5(4)	2(2)	2(1)	指定管理者制度
交通手段(最寄駅)	京成曳越駅より 徒歩13分 JR本八幡駅下 総中山駅より 徒歩15分	JR本八幡駅より 徒歩10分 京成菅野駅より 徒歩8分	東西線行徳駅より 徒歩5分	東西線原木中山 駅より徒歩2分	東西線南行徳駅 より徒歩15分	JR市川駅より 徒歩2分

*1 購入雑誌のみ。

*2 Web-OPAC・ITブース等を含む。

*3 外部データベース閲覧3台含む

*4 再任用職員を含む。平成31年4月1日現在

事業概要

(1) 資料の提供

市内に5館1室の施設を配置し、市川市在住・在勤・在学の者に対して、図書・雑誌・新聞・視聴覚資料等多様な資料の提供を行う。各館をオンライン化し、できるだけ均質なサービスの提供に努めるとともに男女共同参画センター情報資料室等の類縁機関との連携や市内各所への返却ポストの配置(平成30年4月現在12箇所)により、利便性の向上に努めている。

(2) 資料収集

「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき「市川市図書館分類別収集基準」、各年度の「資料収集計画」という体系

のもとで資料を収集する。選書にあたっては、中央図書館で毎週選書に関する会議を開催し、全館分の最終的な確認を行い、市川市全体で効果的な図書購入をしている。また、新刊購入だけでなく、既刊図書の買い替えや補充、復刊図書の購入などにも留意し、蔵書の適正な維持に配慮している。

①地域行政資料

郷土の歴史を後世に伝えるため、市川市に関する資料を中心に、千葉県内の郷土に関する資料を積極的に収集・提供する。又、市川市民の著作の収集に努める。

②視聴覚資料

CD・ビデオ・DVD等時代に合った記録媒体を提供するよう、幅広い資料収集と保存を行う。

③逐次刊行物資料

最新の情報を得られる速報性を踏まえ、市民の多様な興味・関心に留意し逐次刊行物（新聞・雑誌）の収集・整理・保存を行う。

（3）リクエストサービス

①リクエストサービス

利用者の求める図書が、図書館にない場合、貸出資料の予約や相互貸借、購入により提供するサービスである。

②国・県・市町村図書館との相互協力

リクエストされた資料が、市川市内の図書館に所蔵が確認できない場合、国立国会図書館・県立図書館及び他の市町村図書館等から、資料を取り寄せて提供するサービスである。

平成30年度は、県内市町村図書館への貸出冊数は3,737冊、借用冊数は5,527冊となっている。

（4）自動車図書館サービス

図書館だけでは補いきれない地域の人達や身体に障がいのある方、高齢者等、図書館を利用しにくい市民のために運行している。車は圧縮天然ガスを燃料とする環境対策車。

平成30年度末の蔵書冊数は16,567冊、延べ利用者数は3,774人、貸出点数は、19,767点となっている。

（5）レファレンスサービス

探している資料が見つからなかったり、知りたい「人」や「事柄」についてどんな資料を調べればよいかなど、利用者の調査・相談の手助けをする。寄せられた質問とこれに対する回答の事例はデータベース化して蓄積し、ホームページ上で公開するとともに国立国会図書館のレファレンス協同データベースにも提供している。

平成30年度の実績は63,504件となっている。



（6）学校図書館支援センター事業

学校での「調べ学習」や「読書」を活発に展開させ児童・生徒の「自ら学ぶ力」を養育するために、公共図書館と学校図書館が連携し、児童の「調べ学習」や「読書」を支援している。図書館で学校図書館支援専用資料として約1万1千冊を中央図書館で管理し、通常の図書館資料と併せて提供している。

平成30年度においては学校よりの依頼件数は517件、6,386冊の貸出があり、その他に学級文庫用に4,620冊を提供した。

（7）千葉商科大学付属図書館とのネットワーク事業

市内在住・在勤・在学の市川市立図書館利用者に、中央図書館で紹介状を発行することにより、千葉商科大学付属図書館の利用が認められる。この提携は、より専門的になってきた市民の要求に対応するため、市川市立図書館側が提案し大学側の理解を得て実現した。同大学は以前より公共図書館及び所属大学図書館の紹介があれば閲覧、複写のサービスを行っていたが、利用券の発行があれば貸出サービスも受けられる。

平成30年度の紹介状発行件数は132件。

（8）和洋女子大学メディアセンターとのネットワーク事業

市川市在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、和洋女子大学メディアセンター(図書館)所蔵の図書を市立図書館(中央・行徳・信篤・南行徳・市川駅南口・平田)の館内で閲覧することができる。市立図書館に所蔵がない図書が対象で、希望する図書の書誌事項をリクエストカードに記入の上、市立図書館のカウンターで申し込む。閲覧期間は2週間以内である。なお、雑誌・視聴覚資料・貴重書・館内閲覧資料は除く。

平成30年度、和洋女子大学より借用件数は7件(12冊)市川市立図書館よりの貸出件数は4件(4冊)。

（9）公民館図書室

7つの公民館（西部・東部・曾谷・大野・市川・市川駅南・本行徳）に公民館図書室があり、それぞれの地域に密着したサービスを提供している。特に、大野と西部を、市の北東部と北西部の図書館サービス拠点として定めて、バーコードによる蔵書管理とし、図書館システムのデータベースと一元化している。

(10) 市民図書室

4つの小学校（塩焼・稲越・福栄・大柏）に市民図書室があり、それぞれの地域に密着したサービスを提供している。平成12年10月より図書館端末を設置し、図書の貸出・返却・予約の拠点となり、連絡車が週2回巡回している。

(11) 児童サービス

児童サービスは、子どもたちが幼い頃から本に親しむことで、本から様々な興味を見いだし、本の世界の楽しさを知ることができるよう、子どもと子どもをとりまく大人に対してサービスを行う。

(12) ヤングアダルトサービス

中学生・高校生を中心とした世代を、Young Adult（若い大人）としてとらえ、児童書・一般書の枠にとらわれずに中学生・高校生向けの資料を集めた Young Adult コーナーを中央・行徳・信篤・南行徳図書館に設置。中央図書館ではグループで調べ学習等の活動ができる Young Adult Room があり、掲示板を置き、情報交換の場としても利用している。

(13) 障がい者サービス（図書館利用に障がいのある利用者へのサービス）

心身等、図書館を利用する上で何らかの障がいがある方に、それぞれの状況に応じた最も利用しやすいサービスを提供する。

(14) 返却ポストの設置

返却の利便性向上のために市内12ヶ所（市川市役所仮本庁舎・旧八幡市民談話室・情報プラザ・市川公民館・南行徳市民センター・歴史博物館・大野公民館・塩浜市民体育館・千葉商科大学付属図書館・イオン市川妙

典店・中山窓口連絡所・ベルクス市川堀之内店）の図書館外施設に、図書と雑誌が返却できるポストを設置。平成30年度の実績は、約21万冊の返却があった。

(15) 外国人利用者へのサービス

国際化社会に対応した多文化サービスの実現、さらに多文化を知りその背景を理解し共存していくことを目的にしているため、今後ますますその意義と必要性が求められているサービスである。その一環として、平成18年5月、大韓民国ソウル特別市江南区がインターネット上で運営している電子図書館のID1万件の贈呈を受けた。これにあわせて中央図書館に電子図書館閲覧コンピューターを設置した。

平成30年度主な言語別蔵書冊数は、英語7,295冊、中国語3,796冊、韓国語1,644冊その他の言語1,632冊となっている。

(16) リサイクルブック市

図書館の不用図書（除籍資料・寄贈資料のうち、すでに図書館で所蔵しているために受入しないと決定した資料）を有効利用するため市民に提供する。中央・行徳・信篤・平田・南行徳の各図書館で実施した。中央・行徳図書館では、市川図書館友の会の協力のもと実施。

また、中央図書館では、小・中学校図書室、こども館、放課後保育クラブ等の公の施設向けのリサイクルブック市も行っている。

平成30年度中央図書館リサイクルブック市の実績は、一般参加者1,273名、提供冊数11,080冊。



平成30年度統計

(1) 蔵書冊数 (平成30年度)

(単位：冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	11,326	65	345	2,388	350	327	348	15,149
1哲学	22,453	211	730	3,550	1,004	645	713	29,306
2歴史	31,027	323	1,595	9,106	1,688	1,575	3,108	48,422
3社会科学	56,233	454	2,363	15,622	2,478	2,441	1,775	81,366
4自然科学	26,660	384	1,354	6,639	1,596	1,452	1,092	39,177
5技術	20,219	1,685	2,913	8,541	3,011	2,752	5,816	44,937
6産業	8,509	187	693	2,725	713	568	896	14,291
7芸術	35,305	412	2,060	9,305	2,395	1,549	2,915	53,941
8言語	9,720	52	396	1,916	437	329	558	13,408
9文学	51,211	5,810	8,705	29,037	10,092	8,666	7,383	120,904
郷土行政	51,983	0	412	4,021	535	594	462	58,007
参考資料	25,911	0	149	2,118	352	230	404	29,164
外国語資料	13,664	0	0	703	0	0	0	14,367
障害者資料	10,836	240	0	597	0	0	0	11,673
コーナー別資料	266,188	0	4,412	23,554	8,295	6,220	48,015	356,684
一般計	641,245	9,823	26,127	119,822	32,946	27,348	73,485	930,796

(単位：冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	435	30	89	274	177	73	98	1,176
1哲学	499	24	99	217	78	67	64	1,048
2歴史	4,379	95	495	1,674	456	554	461	8,114
3社会科学	4,025	107	469	1,510	382	525	472	7,490
4自然科学	8,599	593	1,252	2,788	1,160	1,366	1,253	17,011
5技術	2,755	285	403	1,154	427	480	589	6,093
6産業	1,605	83	226	563	205	260	238	3,180
7芸術	3,519	389	562	1,420	681	616	803	7,990
8言語	839	21	141	337	132	138	144	1,752
9文学	25,544	1,923	3,909	9,904	3,811	4,876	3,456	53,423
E絵本	36,426	3,045	6,580	15,454	4,965	5,889	6,521	78,880
P紙芝居	1,096	149	246	464	122	176	361	2,614
児童郷土	1,582	0	8	295	79	16	0	1,980
児童参考	760	0	18	146	68	29	85	1,106
児童研究	2,746	0	0	578	79	137	0	3,540
児童計	94,809	6,744	14,497	36,778	12,822	15,202	14,545	195,397

図書計	736,054	16,567	40,624	156,600	45,768	42,550	88,030	1,126,193
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(単位：点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	40,968	0	1,341	6,049	1,512	1,162	1,248	52,280
ビデオ	3,723	0	0	47	0	0	0	3,770
DVD	1,939	0	0	384	0	0	1,011	3,334
CD	12,855	0	0	7,475	0	0	0	20,330
その他付録等	1,184	0	8	102	3	3	52	1,352
図書以外計	60,669	0	1,349	14,057	1,515	1,165	2,311	81,066

総計	796,723	16,567	41,973	170,657	47,283	43,715	90,341	1,207,259
----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(2) 分類別貸出冊数 (平成30年度)

(単位:冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	5,121	25	453	4,423	392	485	1,929	12,828
1哲学	25,554	221	1,499	13,589	1,843	2,134	8,424	53,264
2歴史	22,300	512	3,394	29,858	3,698	4,070	24,371	88,203
3社会科学	35,863	390	2,954	29,596	2,799	3,503	11,800	86,905
4自然科学	19,966	392	1,408	13,652	2,006	1,623	6,560	45,607
5技術	17,873	1,564	5,433	35,681	5,357	5,764	29,619	101,291
6産業	5,360	119	510	6,452	718	838	3,712	17,709
7芸術	21,129	193	1,438	13,490	2,728	1,695	11,171	51,844
8言語	14,344	91	507	5,403	593	581	3,883	25,402
9文学	24,003	4,795	11,295	67,454	11,614	11,461	42,052	172,674
郷土行政	3,980	3	144	591	144	122	1,071	6,055
参考資料	688	0	3	68	3	2	23	787
外国語資料	3,436	19	30	897	29	33	385	4,829
障害者資料	6,739	45	18	525	31	28	339	7,725
コーナー別資料	570,226	1,214	17,278	138,725	34,688	22,652	208,346	993,129
一般計	776,582	9,583	46,364	360,404	66,643	54,991	353,685	1,668,252

(単位:冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	944	17	194	552	72	76	429	2,284
1哲学	1,514	23	129	651	97	81	557	3,052
2歴史	5,672	73	249	2,983	280	309	1,616	11,182
3社会科学	6,603	297	300	3,118	194	434	1,549	12,495
4自然科学	17,095	841	1,098	9,934	1,027	1,221	4,859	36,075
5技術	7,960	478	818	5,846	792	1,125	3,280	20,299
6産業	2,543	112	284	1,400	191	314	786	5,630
7芸術	10,776	803	993	6,690	1,071	1,027	4,382	25,742
8言語	1,728	50	166	1,088	107	134	601	3,874
9文学	67,945	3,127	6,383	44,370	5,081	5,378	22,408	154,692
E絵本	201,995	4,097	15,273	104,739	16,411	15,785	61,214	419,514
P紙芝居	6,683	198	651	3,580	232	267	2,336	13,947
児童郷土	799	0	5	107	7	0	13	931
児童参考	80	0	1	11	3	1	5	101
児童研究	796	1	15	280	29	17	140	1,278
児童計	333,133	10,117	26,559	185,349	25,594	26,169	104,175	711,096

図書計	1,109,715	19,700	72,923	545,753	92,237	81,160	457,860	2,379,348
-----	-----------	--------	--------	---------	--------	--------	---------	-----------

(単位:点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	46,964	43	3,293	24,390	3,784	5,712	11,043	95,229
ビデオ	1,115	0	9	75	3	7	36	1,245
DVD	15,429	0	144	2,859	191	151	4,636	23,410
CD	39,053	0	622	17,185	872	513	3,862	62,107
その他付録等	16,496	24	239	6,342	332	336	30,118	53,887
図書以外計	119,057	67	4,307	50,851	5,182	6,719	49,695	235,878

総計	1,228,772	19,767	77,230	596,604	97,419	87,879	507,555	2,615,226
----	-----------	--------	--------	---------	--------	--------	---------	-----------

(3) 市民図書館統計

図書館名	開室 日数	利用者数		貸出 日数	貸出冊数		受入 冊数	除籍 冊数	蔵書冊数
			一日平均			一日平均			
塩焼市民図書館	147	13,262	90.2	147	25,450	173.1	734	1,608	20,149
稲越市民図書館	144	2,725	18.9	144	8,026	55.7	316	749	15,552
福栄市民図書館	146	9,983	68.4	146	25,984	178.0	543	258	18,847
大柏市民図書館	143	6,929	48.5	143	7,171	50.1	171	576	17,431
計	580	32,899	56.7	580	66,631	114.9	1,764	3,191	71,979

4. 市川市公民館（社会教育課）

〒272-0023 南八幡 1-17-15 南八幡仮設庁舎 2階
TEL 047-320-3343 FAX 047-320-3344

1 公民館運営の基本的な考え方

少子・高齢化、情報化、国際化などの現代的課題解決の必要性和自由時間の増加等が相まって、市民の学習意欲は高まりを見せている。また、そのニーズもますます多様化、高度化を示している。

これら社会情勢の変化に応じて、地域住民の身近な拠点として学習の場と機会の充実を図ると共に学習情報の提供等にも努め、生涯学習の一層の推進に取り組む。

2 具体的な目標

- (1) 施設整備を行い、安全で快適に利用できる施設に努める。
- (2) あらゆる世代が参加しやすい主催講座の企画・実施に努める。
- (3) 生涯学習に関する情報の提供に努める。
- (4) サークルの学習成果の発表の場の提供に努める。

3 公民館講座情報紙（ミーティアムガイド）の発行

公民館主催講座の情報紙として、9月と3月の年2回、公民館主催講座の開催にあわせて発行し、講座内容の紹介および受講生の募集をしている。

新聞折込配布、公共施設・駅スタンド配布、タブロイド版、2色刷り。

4 利用案内

- (1) 開館時間 午前9時～午後9時
- (2) 休館日 毎月の最終月曜日、祝日
(祝日が日曜日の場合は振替休日の日)、年末年始(12月29日～1月3日)



菅野公民館（平成23年4月開館）

5 沿革

- 昭和27年5月 市川市公民館が開館
(現在の中央公民館)
- 昭和49年11月 西部公民館が開館
市川市公民館を中央公民館に改称
- 昭和53年9月 行徳公民館が開館
- 昭和53年10月 鬼高公民館が開館
- 昭和54年4月 東部公民館が開館
- 昭和55年3月 柏井公民館が開館
- 昭和55年4月 本行徳公民館が開館
- 昭和56年5月 市川駅南公民館が開館
- 昭和56年9月 大野公民館が開館
- 昭和57年4月 信篤公民館が開館
- 昭和58年5月 曾谷公民館が開館
- 昭和62年5月 若宮公民館が開館
- 平成元年4月 「公民館だより」発行
(翌年「カルチャーガイド」に改称)
- 平成元年5月 幸公民館が開館
- 平成2年5月 南行徳公民館が開館
- 平成3年5月 市川公民館が開館
- 平成7年10月 一部公民館にて月曜開館の試行開始
- 平成10年9月 公募により公民館の愛称を「ミーティアム」に決定
- 平成11年4月 公民館組織改正
(地域別に4ブロック制に)
- 平成12年4月 公民館使用料の単価を、午前・午後・夜の3区分から、1時間単位に変更
- 平成12年5月 インターネットによる公民館予約システム開始
- 平成13年3月 「ミーティアムガイド」(「カルチャーガイド」から改称)を発行
- 平成13年4月 公民館組織改正
(公民館センターの設置)
- 平成14年4月 行徳公民館に新館を増設
- 平成16年6月 中央公民館菅野分館が開館
- 平成17年4月 全館月曜開館の実施
- 平成18年4月 夜間を管理委託から直営に
- 平成23年4月 菅野公民館が開館
- 平成25年4月 公民館組織改正
(公民館センターから社会教育課に変更)

第4章 教育機関

- 平成27年10月 公民館使用料に、市民等以外の料金を新設
- 平成28年4月 施設使用料統一減免基準施行開始
- 平成30年4月 一部のレクリエーションホール等で面積2分の1利用のサービス導入

6 平成30年度の状況

公民館名	総利用者数 (人)	主催講座 (講座数)	平成30年度開催講座の例
中央	37,696	16	史跡からみる「昔々の市川」 花咲く書道 めざせ、のぼせ、健康年齢 フルーツカッティング
鬼高	23,877	16	初めての写経 心を伝える朗読の魅力 初めての男のピラティス 家族で新聞を作ろう
信篤	73,836	21	大豆から作る味噌づくり 風合いを楽しむ一閑張り 市川の海で干潟遊び 筑前琵琶弾き語りコンサート
東部	59,779	17	苔玉・ミニ盆栽・寄せ植え 国立国会図書館へ行こう パパと作るパリの家庭料理 和太鼓コンサート
柏井	25,977	15	老後のライフプラン 子ども寺子屋 陶で楽しむ 日蓮宗不受不施派と房総
大野	79,507	16	身体と脳のストレッチ 子供科学工作 室礼と和のおもてなし 親子で英語 de 遊ぼう
若宮	28,158	14	市川案内人に聞く中山の歴史 カラフィット セカンドライフの基礎知識 キッズ「生き物の時間」
市川	90,878	18	メンズクッキング しめ縄を作ってお正月に飾ろう サマージャズコンサート 救急措置と心肺蘇生法
西部	81,961	14	いちかわ見聞録鉄道編 毎日の暮らしにアロマを 初めての手話 親子で染める秋色羊毛としぼり染め
市川駅南	53,264	18	陶芸に挑戦 夏休みだよ！未来のシェフ集合 生き残る知恵～大震災に備えて 暮らしのしきたり
曾谷	108,214	21	弓道講座 夏休みハッピーデー 空手エクササイズ 卓球を楽しみましょう
行徳	150,935	28	津軽伝統工芸こぎん刺し 声に出すシェイクスピア 健康は歯から 古写真絵はがきにみる市川市域
本行徳	33,899	18	絵本といっしょに幸せの時間 想いを伝える筆文字 子ども書初め教室 ツボと呼吸と笑いヨガ
幸	37,681	14	終活のすすめ 手縫いで簡単、着物リメイク 加曾利貝塚を学ぶ 一から学ぶ介護講座
南行徳	93,102	20	わくわく科学発見 プロに学ぶ魚のさばき方 人生100年時代のマネープラン 親子で運動あそび
菅野	54,877	21	住まいの防犯防災 家族と一緒に広場であそぼっ！ 50歳からのゆったり健康フラ エコで健康布ぞうり
合計	1,033,641	287	

5. 市川考古博物館

〒272-0837 市川市堀之内2-26-1
TEL 047-373-2202 FAX 047-373-2205



▲博物館全景



●博物館案内図

特 色

市川市は、原始・古代の遺跡が多く、堀之内貝塚・曾谷貝塚・姥山貝塚・下総国分僧寺跡・下総国分尼寺跡など、国の史跡に指定されている遺跡を有している。これらの遺跡から出土した考古資料によって、原始・古代の市川を中心とした地域の歴史の歩みを体系的に理解し、学べる施設である。

生涯学習の一翼を担う多彩な講座、体験学習、見学会などの実施によって、市川の歴史に対する認識を高め、郷土に対する愛着を深めてもらうよう努めている。

沿革

- 昭和47年11月 市立市川博物館として史跡堀之内貝塚の隣地に開館。
- 50年2月 登録博物館となる。登録第7号。
- 57年11月 市立市川歴史博物館の開館に伴い、館名を市立市川考古博物館に改称。
- 60年3月 常設展展示替えによる新装開館。

施設

建物構造 鉄筋コンクリート造2階建（一部地階）
敷地面積 7,253.00㎡（うち駐車場 990㎡）
建築面積 931.80㎡
延床面積 1,513.68㎡

〔主な施設〕

ホール展示室 90.9㎡
常設展示室 387.2㎡

学習室 28.2㎡
収蔵室 346.5㎡

交通機関

- 北総線「北国分駅」から徒歩10分
- JR総武線「市川駅」・京成線「市川真間駅」から京成バス「北国分駅」行き、「松戸駅（国分経由）」行き、「聖徳学園」行きで、「堀之内3丁目」バス停下車徒歩5分、「博物館入口」バス停下車徒歩10分。

収蔵資料

市川市史編さん事業や博物館・教育委員会（一部）による発掘資料と、個人から寄贈された考古資料などを収蔵している。

- (1)先土器（旧石器）時代関係
今島田遺跡、殿台遺跡
- (2)縄文時代関係
杉ノ木台貝塚、美濃輪台貝塚、上台貝塚、向台貝塚、今島田貝塚、姥山貝塚、曾谷貝塚、堀之内貝塚等
- (3)弥生時代関係
須和田遺跡、木戸口遺跡、後畑遺跡、国府台遺跡等
- (4)古墳時代関係
須和田遺跡、今島田遺跡、鬼高遺跡、杉ノ木台遺跡、法皇塚古墳等
- (5)奈良・平安時代関係
下総国府跡、下総国分僧寺跡、下総国分尼寺跡、須和田遺跡、国分遺跡等

事業

1 常設展示

過去10数万年間の自然環境の変化を導入とし、最初に住民がやってきてから律令社会が成立・崩壊していくまでの原始・古代の歴史を、市川を中心に展示している。

<展示内容>

○前室 環境の変化

過去10数万年の間でも自然環境は大きく変化していることを、貝化石、クジラ化石、サンゴ化石、地層模型などで紹介している。

○第1室 最初の住民<先土器時代>

原人、旧人、新人の胸像模型と、1万年以上も前の寒冷な時代に、主として狩りで暮らしていた人々の石器を展示している。

○第2室 貝塚の形成<縄文時代>

土器を使用した縄文人は、狩猟、漁労、植物採集で計画的に生活していたことを、豊富な貝塚の出土資料やジオラマにより複元。埋葬法、縄文人骨とその特徴などを実物や写真で紹介している。

○第3室 稲作文化の伝来<弥生時代>

朝鮮半島から伝来した稲作等の農耕とその文化が人々の暮らしを大きく変え、市川市に普及した様子を展示している。

○第4室 古墳の出現<古墳時代>

大和王権が各地を統一しようとした時代で、市川には6世紀半ばの法皇塚古墳がある。その出土品、当時の土器の土師器と須恵器、鉄やカマドの普及を紹介している。

○第5室 律令の社会<奈良・平安時代>

7世紀後半以降、律令を基にした中央集権国家が成立する。市川には下総国の政治の中心である国府と官立寺院の国分寺が置かれた。仏像、瓦、墨書土器、役人の服、伽藍模型や庶民にかかわる遺物を紹介している。

2 展示

ホール小展示

- ・「市川出土の縄文土器」H30.4/1～11/30
- ・「縄文の海を泳いだコクシラ」H30.4/1～6/10
- ・「組紐古技法『クテ打』試作展」
H30.6/23～R1.6/9

速報展

- ・「外環自動車道の遺跡
第8回『雷下遺跡』」H31.1/5～R1.9/8

3 講座・説明会・体験学習・見学会など

行事名		内容
講座・講演会等	○考古学教室	・『続日本紀』を読む全10回 ・『常陸国風土記』を読む全1回 ・『日本霊異記』を読む全11回 ・「聖武天皇と国分寺」 ・「過去1万年間の市川の植生と人間活動」
	○講演会	
体験・見学会・養成	○体験学習	・土器をつくろう 全5回 ・火おこし 5回 ・勾玉づくり 4回 ・組紐づくり 27回
	○サマーフェスタ	・組紐づくり ほか
	○小学校体験学習	・20校 1,897人
	○出前授業	・7校 789人
	○第19回縄文体験フェスティバル	・縄文の造形・火おこし・勾玉づくりなどを体験
養成	○ボランティア養成講座	・火おこし指導員の養成全4回 ・縄文学習指導員の養成全2回 ・組紐指導員の養成 全3回

4 協力

曾谷縄文まつり、真間史蹟まつり、市史講演会、市川市史編さん事業

5 学生・教員研修

中学生職場体験9校28人、学芸員館務実習3大学4人、体験学習教職員研修会2回54人

利用

1 利用案内

- ・開館時間 9時～16時30分
- ・休館日 月曜、月曜が祝日の翌日
年末年始（12月28日～1月4日）

2 入館料

- ・常設展・企画展は無料

3 利用状況(表1参照)

表1 (平成30年度) 開館日数302日

入館者			外部サービス利用者			合計		
18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	総計
7,661	12,703	20,364	6,228	1,532	7,760	13,889	14,235	28,124

6. 市川歴史博物館

〒272-0837 市川市堀之内2-27-1

TEL 047-373-6351 FAX 047-372-5770



第4室 台地の人々の生活のコーナー

特 色

原始・古代担当の考古博物館の後を受けて、市川における中世以降の歴史の流れを概観し、海・川・台地という地形を活かしたかつての市域の生活・生業を復元展示している。

本市の歴史民俗資料の滅失・散逸を防ぐため、これらを収集・保管・展示及び調査研究をして保護活用を図り、市民の郷土に対する認識と愛情が深まるよう努めている。

沿革

昭和57年11月 市立市川歴史博物館として開館。

12月 登録博物館となる登録17号。

施設

建物構造 鉄筋コンクリート造2階建(塔屋付)

敷地面積 3,388.04 m² 建築面積 1,199.16 m²

延床面積 2,001.57 m²

[主な施設]

常設展示室 430 m² 特別展示室 249 m²

講 堂 104 m² 収 蔵 室 234 m²

交通機関

- 北総線「北国分駅」から徒歩8分
- JR総武線「市川駅」から京成バス「北国分駅」行き、「松戸駅(国分経由)」行き・「聖徳学園」行きで、「博物館入口」バス下車徒歩10分、ほか。

案内図は、2ページ前の「考古博物館をご参照ください。

収蔵資料

市川市史編さん事業や博物館・教育委員会(一部)による収集資料と、個人から寄贈された歴史・民俗資料を収蔵している。

(1)中世(鎌倉～戦国時代)関係

板碑、日蓮関係資料(複製)等

(2)近世(江戸時代)関係

高札、古文書、塩製造用具等

(3)近現代(明治～昭和時代)関係

古写真、戦争関係資料、学校関係資料等

(4)民俗関係

生活用具、農具、漁具、職人関係資料等

事業

1 常設展示

○前室

当館設置の趣旨及び、案内図を配して展示し、室内の配置と順路を示す。また、市内の特徴のある写真や鳥瞰図を展示し、景観的イメージを印象づけて展示室へ導入するとともに、新着収蔵資料等を紹介する。

○第1室 中世以降の市川

中世以降の市川の歴史の主要事項を理解してもらい、各ルームの年代的位置づけを行う場として、パネルと資料で紹介する。
展示資料：立正安国論(複製)、空襲日誌等

○第2室 海辺の人々の生活

かつては交通の要所で、関東地方最大の塩の生産地でもあり、近代以降は海苔の養殖が盛んであった、市南部の行徳、南行徳の地域は、住宅地として急激な変貌を遂げている。ここでは、海辺の人々の生活を再現し、現在との関わりについて考える場とする。
展示資料：製塩用具、のり抄き用具等

○第3室 水路と陸路

市川市の西側を流れる江戸川は、水路として交通や物資の運搬に重要な役割を果たしてきた。

一方、市内の陸路は、参勤交代や成田参詣への道などがあり、これらが江戸川と交わる

ところに、市川関所と行徳新河岸があった。

ここでは、江戸時代を中心に示し、床面には市域の水路と陸路の概略を紹介する。

展示資料：往来手形（複製）、笹屋看板等

○第4室 台地の人々の生活

市の北部地域は下総台地の一画で、小さな谷津が入り込んだ地形をなしており、人々は谷津の泥深い田を耕して生活してきた。ここでは、民家の一部を移築復元して、土間を中心とした生活を再現し、さらに農耕と年中行事を組み合わせる事により、一年を周期とする生活を紹介します。

展示資料：稲作用具、辻切大蛇等

○第5室 郷土コーナー

郷土市川に関係した人物を「人で綴る市川の歴史」と題してまとめ紹介する。また市内の史跡や文化財についても紹介し、新着資料や季節の民俗資料を展示する。

展示資料：坪井玄道関係資料

2 展示

企画展

「発見・体験・昔の暮らし」

H30. 11/3～H31. 2/17

ロビー展示

「本山桂川展」

H30. 6/2～9/6

「館務実習展」

H30. 9/15～12/27

季節の展示 春、冬、春

H30. 4/1～5/13、H31. 1/20～2/19、

H31. 3/2～31

3 講座・説明会・体験学習など（表1参照）

4 協力

西部公民館他3館、市教科書副読本作成、市川市史編さん事業

5 研修

市内小学校教員研修2人、中学生職場体験7校26人、学芸員館務実習3大学4人

利 用

1 利用案内

- ・開館時間 9時～16時30分
- ・休館日 月曜、月曜が祝日の翌日
年末年始（12月28日～1月4日）

2 入館料

- ・常設展・企画展は無料。

3 利用状況（表2参照）

表 1

行事名		内 容
講座・講演会	○近代史講座 I	大柏村の近代文書を読む 9回
	○民俗学講座	市川市域の民俗について 4回
	○歴史カレッジ	市域の歴史と民俗 1回
体験・養成	○小学校体験学習	昔の暮らし体験（出前型）8回
	○昔遊び体験	昔の暮らし体験（来館型）19回 紋切り、紙芝居など毎週土日七夕飾り体験1回、正月飾り作り1回、和綴じ本作り1回
	○子ども歴史講座	歴史地図づくり全2回、昔の洗濯体験1回、水鉄砲作り
	○博物館サマーフェスタ	昔遊び
	○縄文体験フェスティバル	
	○ボランティア講習会	和綴じ本作り等指導員養成3回 昔のあそび指導員養成12回

表 2 （平成30年度）開館日数 302日

入 館 者			外部サービス利用者			合 計		
18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	計	18歳未満	18歳以上	総計
8,958	15,334	24,292	795	202	997	9,753	15,536	25,289

7. 市川自然博物館

〒272-0801 市川市大町284番地
TEL 047-339-0477 FAX 047-339-1210



特 色

市川市は、北部の台地と南部の低地、江戸川と東京湾などの自然環境に恵まれているが、現在は著しく都市化が進んでいる。市川の自然は都市化の中でかろうじて残されてきた自然と、市街地の自然によって特徴づけられる。

市川自然博物館では、こうした「市川の自然」を対象として、地域の自然環境や動植物について記録し後世に伝えるとともに、身近な自然環境や動植物とのつきあいかたを広く市民に伝え、市川市の自然を再発見することを博物館の使命としている。

一般に博物館には、資料収集や保存、調査や研究、教育普及や展示等さまざまな機能がある。当館では、資料収集や調査、研究等により得られた成果を生かした教育普及及び展示活動に主眼をおいている。

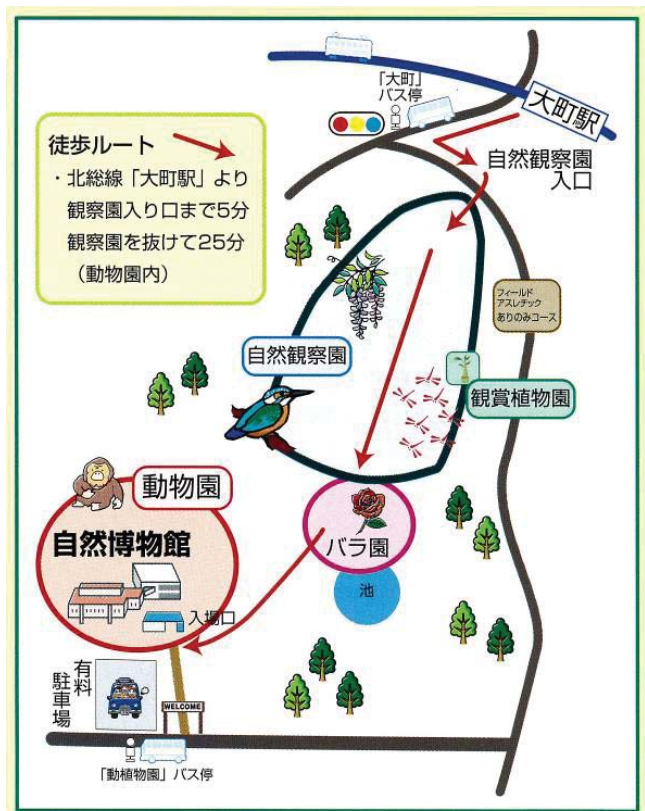
沿革

- 平成元年10月24日 開館
- 開館記念特別展「市川の植物」
- 平成2年度 企画展「大町自然観察園の自然」
- 平成3年1月10日 千葉県博物館原簿に登録
- 平成3年度 企画展「市川の鳥」
- 平成4年度 企画展「江戸川放水路の自然」
- 平成6年度 企画展「市川のさかな」
- 平成9年度 企画展「柏井雑木林の自然」
- 平成12年度 企画展「市川市内の絶滅危惧種」
- 平成15年度 企画展「長田谷津（大町自然観察園）」
- 平成18年度 企画展「いちかわの動植物 基本ブック」
- 平成21年度 企画展「長田谷津（大町公園自然観察園）いきもの暦」
- 平成24年度 企画展「いきものの成長」
- 平成27年度 企画展「いきものの体」
- 平成30年度 企画展「動物のなかまわけ」及び「堀之内地区一帯の土地利用の変遷とかつての自然景観」

施 設

建物構造	鉄筋コンクリート造 地下1階、地上2階、塔屋付
敷地面積	2,994.0㎡
建築面積	952.8㎡
延床面積	2,052.3㎡
〔主な施設〕	
常設展示室	459.2㎡
特別展示室	111.0㎡
収蔵庫	149.2㎡

博物館案内地図



交通案内

JR武蔵野線市川大野駅より、動植物園行き京成バスにて終点下車（土日休日のみ運行）、大町駅行き「駒形」下車徒歩15分（毎日運行）。

収蔵資料

市川市内の自然環境、動植物を主な対象として資料収集し、収蔵している。

種目	品目
標本資料	植物 さく葉標本
	植物 藻類さく葉標本
	鳥類 剥製標本
	鳥類 骨格標本
	鳥類 古巣標本
	鳥類 卵標本
	鳥類 付随標本
	哺乳類 剥製標本
	哺乳類 骨格標本
	哺乳類 付随標本
	魚類 液浸標本
	昆虫 乾燥標本
	昆虫 古巣標本
	昆虫 付随標本
	貝類 貝殻標本
	貝類 液浸標本
	甲殻類 乾燥標本
	甲殻類 付随標本
	地学 遺骸・化石標本
	地学 土壌標本
地学 岩石鉱物標本	
その他 人工物など	
映像資料	写真 デジタル画像
	写真 35 ^{ミリ} ポジ原版
	写真 6×7 ^{センチ} ポジ原版
	写真 35 ^{ミリ} ネガ原版
	写真 プリント
	映画 35 ^{ミリ}

常設展示

「市川の自然」をメインテーマとして、次の4つの大きなテーマで博物館資料を展示する。

また、実際に様々な生き物を飼育し展示するコーナーで展示を構成している。

○第1テーマ「市川のおたち」

市川の大地のなりたちと人間の影響による自然の変化について紹介している。

- ・ひろがる市街地
- ・市川の大地

○第2テーマ「残された市川の自然」

都市化が進むなかで、残された林や干潟の自然について紹介している。

- ・市川の本
- ・市川の海辺

○第3テーマ「都市化した市川の自然」

都市化が進み、おおぜいの人々がくらす市街地でいきいきと生活する身近な生き物について紹介している。

- ・帰化植物
- ・都市鳥
- ・身近な昆虫

○第4テーマ「湧水の自然」

台地と低地からなる市川の地形によって生み出され、かつては市川のいたるところにあった湧水の自然について紹介している。

- ・湧水のある大町自然観察園

○飼育コーナー

身近な生き物など、年間を通じて種類を入れ替えて飼育し展示している。

教育普及活動

博物館外での活動として、隣接する大町公園自然観察園（長田谷津）や市内各地での自然体験学習を主催するほか、学校や市民団体などの自然体験学習を積極的に支援している。

行事名	内容
おやこ自然観察会	親子を対象にした自然観察園での観察会
季節を感じる散策会	市内の自然豊かな場所を巡り季節の話題を観察
長田谷津散策会	自然観察園（長田谷津）の四季折々を楽しむ
野草名札付け	自然観察園で学芸員の指導により野草に名札をつけるボランティア活動
長田谷津環境整備	自然観察園で学芸員と共に環境整備作業を行うボランティア活動
学校や市民団体等への学芸員派遣	要請により学芸員を派遣する外部支援活動
少年自然の家でのグリーンスクールへの講師派遣	小学生の宿泊学習に伴う自然体験学習の支援
教員の研修受入れ	小中学校教員の研修支援

利用

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館は4時まで）

- 休館日 毎週月曜日（ただし月曜日が休日の場合は翌日）及び年末年始

- 入館料 無料

・利用状況（平成30年度） 開館日数 304日

	18歳未満	18歳以上	計
入館者	55,724	76,472	132,196
外部サービス利用者	4,442	995	5,437
	(大学生等を含む)		
合計	60,166	77,467	137,633

8. 市川市少年自然の家	〒272-0801 市川市大町 280-4 TEL 047-337-0533 FAX 047-337-0534
---------------------	--



- 引率者用 2室 定員 10人
- ・研修室
 - 第1研修室 1室 定員 80人
 - 第2研修室 1室 定員 50人
 - 和室研修室 1室 定員 40人
- ・視聴覚室 1室 定員 50人
- ・プラネタリウム室 1室 定員 217人
- ・体育室 縦25m 横15m
- ・食堂 1室 最大204席
- ・その他
 - 浴室、事務室、保健室他
 - 付帯設備 集いの広場 2,475㎡
 - 野外炊事場

特 色

市川市少年自然の家は、大町レクリエーションゾーン内にあり、動物園・観賞植物園・バラ園・自然観察園に隣接した、自然豊かなところに立地している。

設立主旨：児童・生徒を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活や野外活動を通じて、情操や社会性を豊かにするとともに、心身を鍛練し健全な児童・生徒の育成を図る。

設備：宿泊室・体育室・研修室・集いの広場（キャンプファイヤー場、野外炊事場、トイレ）プラネタリウム室

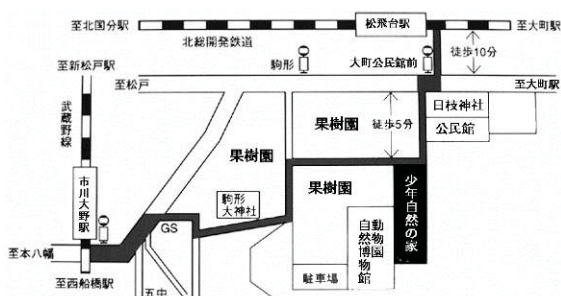
(2) 交通案内

- ・北総開発鉄道松飛台駅 徒歩 15分
- ・JR武蔵野線市川大野駅 徒歩 30分
- または、市川大野駅から京成バス「大町駅行」乗車、「大町公民館」下車 徒歩 5分・・・乗車時間 約 10分
- ・JR総武線本八幡駅北口から京成バス「大町駅行」乗車、「大町公民館」下車 徒歩 5分・・・乗車時間 約 35分

浴 草

- 昭和 57年 7月 開所
- 8月 プラネタリウム一般公開開始
- 昭和 62年 5周年記念式典
- 昭和 63年 野外活動倉庫建設
- 平成 5年 10周年フェスティバル実施
- 18年 9月 改修工事開始
- 19年 7月 リニューアルオープン
- 23年 4月 祝日開所開始

(3) 近隣地図



施 設（改修後）

- (1) 施設案内
 - 敷地面積 10,513㎡
 - 延床面積 3,730.79㎡（建築面積 1,209㎡）
 - 建築様式 鉄筋コンクリート造4階建て
 - 建物内訳
 - ・宿泊室
 - 児童・生徒用 18室 定員 180人
 - バリアフリー対応型 5室 定員 20人

利 用

- (1) 利用できる人
 - ・少年及び少年を主たる構成員とする団体並びにこれらの引率者
 - ・社会教育に係る学習、文化活動その他の生涯学習の諸活動を行うもので、教育委員会が認めるもの

(2) 宿泊利用に関わる経費 (H31. 4. 1 現在)

・ 宿泊施設使用料 (税抜)

市内の方	中学生以下	無料
	高校生以上	500 円
市外の方	高校生以下	2,250 円
	大学生以上	3,000 円

・ シーツ、枕カバー洗濯代 (税込)

1 人 194 円

・ 食事代 (税込)

朝食・昼食 560 円～580 円

夕食 580 円～790 円

《プラネタリウム公開》

◎ 投影開始時刻

毎週土・日・祝日 (元旦除く) 午後 1:30 分

(7・8 月は毎週日曜日・祝日)

25 名以上の団体は、予約により受付

※ 投影時間は、約 1 時間

・ プラネタリウム見学科 (税抜)

	個人	団体
市内の方	150 円	120 円
市外の方	300 円	240 円

◎ 休所日

月曜日 (祝日の場合はその後の平日)

年末・年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)

★ 利用状況 (平成 30 年度利用者)

開所日数 308 日 (単位: 団体、人)

		区 分	団体数	人 数	
宿泊利用	市内	幼小中高・特別支援学校	66	4,321	
		青少年団体	45	1,900	
		その他	19	518	
	市外	学校・青少年団体他	47	1,541	
小 計 A			177	8,280	
プラネタリウム見学	有料	公開日	市内	1	838
			市外	0	1,161
	団体	市内	1	29	
		市外	0	0	
	無料	小中高・特別支援学校他	0	0	
		その他 (減免団体)	14	957	
宿泊団体 D			74	3,929	
小 計 B			90	6,914	
日帰り利用	プラネタリウム見学なし C		25	2,494	
	プラネタリウム見学あり		16	728	
	小 計		41	3,222	
合 計 (A+B+C-D)			218	13,759	

★ 主催・共催事業 (平成 30 年度実績)

月	事 業 名
5	バラまつり
6	チャレンジャー・スクール① プラネタリウムコンサート①
7	ザ・チャレンジ! 自由研究、チャレンジャー・スクール②
8	
9	親子お月見の会
10	親子宿泊体験
11	大町レクリエーションゾーン秋のフェスティバル、チャレンジャー・スクール③
12	プラネタリウムコンサート②
1	チャレンジャー・スクール④、親子冬の天体観望会①
2	親子で火を囲もう、親子冬の天体観望会②
3	竹細工工房、チャレンジャー・スクール⑤

資料編	76
-----	----

I 学校施設関係	77
----------	----

- 1 教育施設配置図
- 2 学校一覧及び児童・生徒・園児数
- 3 学校施設の建物・面積
- 4 令和元年度 学校施設の整備状況
- 5 教職員の構成（県費負担）
- 6 令和元年度 国・県・私立学校・私立幼稚園等一覧

II 学校教育関係	93
-----------	----

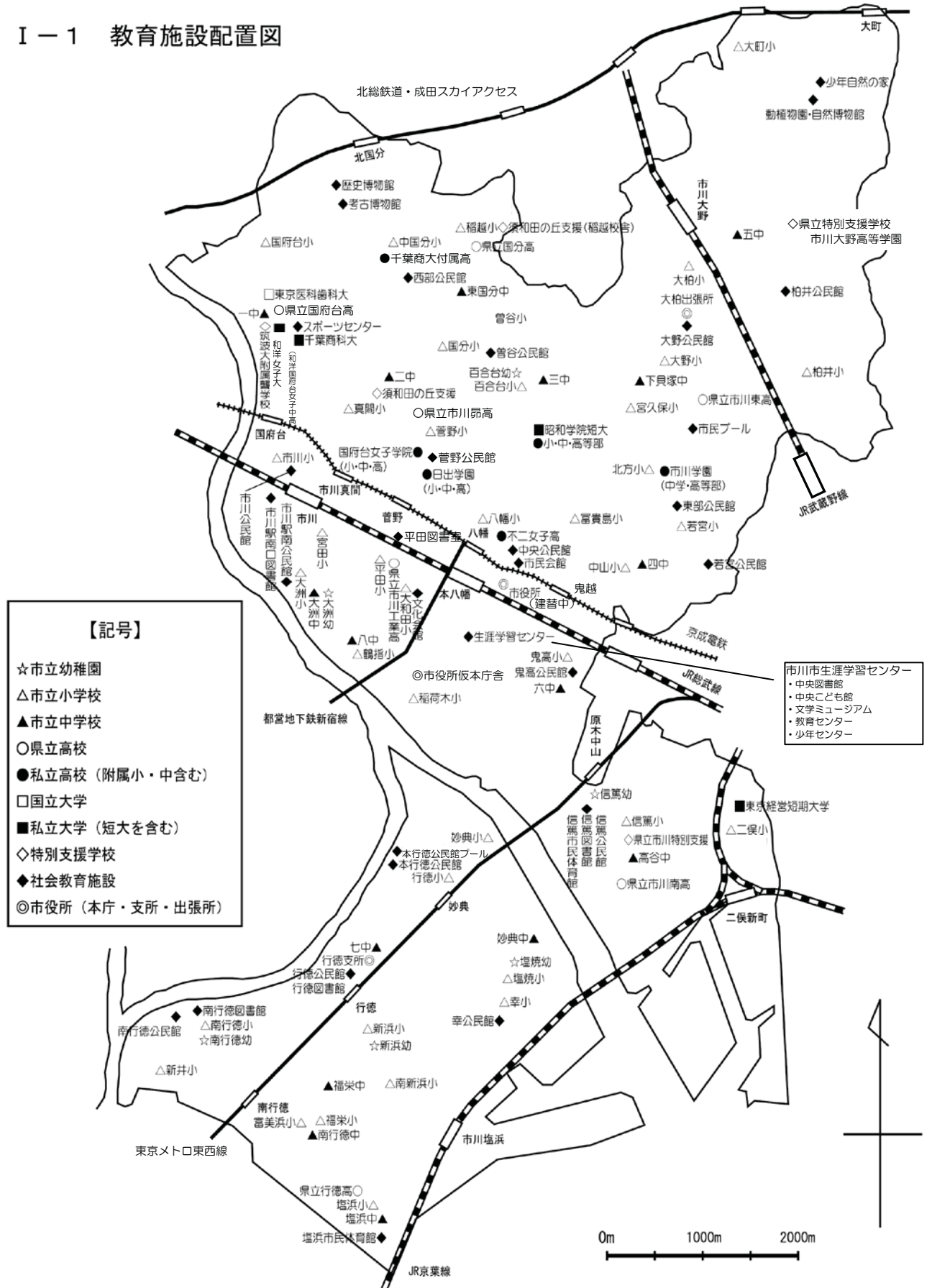
- 1 令和元年度 第5期 いちかわ学校三カ年計画
(創意と活力のある学校づくり) 推進テーマ一覧
- 2 令和元年度 研究指定校一覧
- 3 地域の教育力の活用事例（平成30年度）
- 4 市内公立中学校全卒業者の状況
- 5 平成30年度 児童生徒の体位・体力
- 6 平成30年度 学校管理下における災害発生状況
- 7 学校給食の実施状況

III 生涯学習関係	110
------------	-----

- 1 社会教育施設等一覧
- 2 史跡、文化財一覧

I 学校施設関係

I-1 教育施設配置図



I-2 学校一覧及び児童・生徒・園児数

【小学校】

(令和元年5月1日現在)

学校名	所在地	電話	創立年月日	児童数					
				普通				特別支援学級	
				学級数	男	女	計	学級数	児童数
1 市川小	市川2-32-5	(325)4758~9	明 7. 6. 1	21	322	344	666	1	8
2 真間小	真間4-1-1	(372)4726~7	昭 9. 11. 1	18	307	258	565	2	10
3 中山小	中山1-1-5	(335)2711~2	明16. 6. 15	19	290	298	588	2	16
4 八幡小	八幡3-24-1	(325)4763~4	明 6. 3. 1	21	361	277	638		
5 国分小	東国分2-4-1	(371)6793~4	明 6. 6. 1	12	138	131	269	3	21
6 大柏小	大野町2-1877	(337)8141~2	明 6. 2. 20	24	372	352	724	3	19
7 宮田小	新田4-8-15	(379)7647~8	昭25. 4. 1	15	193	217	410		
8 富貴島小	八幡6-10-11	(334)2624~5	昭26. 4. 1	21	308	314	622		
9 若宮小	若宮3-54-10	(339)2177~8	昭27. 4. 1	20	306	287	593	2	11
10 国府台小	国府台5-25-4	(372)4672~3	昭27. 4. 1	18	310	292	602	1	2
11 平田小	平田3-28-1	(379)6761~2	昭28. 4. 1	13	225	191	416	3	17
12 鬼高小	鬼高2-13-5	(335)0304~5	昭31. 4. 1	28	489	434	923		
13 菅野小	菅野6-14-1	(324)5955~6	昭32. 4. 1	17	269	274	543	1	5
14 行徳小	富浜1-1-40	(357)3116~7	明 6. 2. 16	27	495	406	901	3	22
15 信篤小	原木2-16-1	(328)0165~6	明 8. 7. 12	24	361	370	731	2	9
16 稲荷木小	稲荷木1-14-1	(376)5961~2	昭31. 4. 1	12	207	169	376		
17 南行徳小	欠真間1-6-38	(357)3126~7	明 6. 10. 9	22	349	368	717	1	5
18 鶴指小	大和田4-11-1	(379)3588~9	昭42. 4. 1	14	234	192	426	2	11
19 宮久保小	宮久保5-7-1	(371)2747~8	昭43. 4. 1	23	364	331	695		
20 二俣小	二俣678	(328)0105~6	昭45. 4. 1	10	129	107	236	1	4
21 中国分小	中国分1-22-1	(371)7886~7	昭47. 4. 1	16	262	227	489	1	6
22 曾谷小	曾谷7-18-1	(371)7888~9	昭47. 4. 1	14	213	208	421		
23 大町小	大町84-10	(337)3610・3635	昭48. 4. 1	6	42	53	95		
24 北方小	北方町4-1356-1	(339)1701~2	昭49. 4. 1	9	107	122	229	3	24
25 新浜小	行徳駅前4-5-1	(395)5331~2	昭50. 4. 1	24	404	401	805	3	20
26 百合台小	曾谷6-10-1	(374)1811~2	昭52. 4. 1	19	280	308	588	2	14
27 富美浜小	南行徳2-3-1	(396)2522~3	昭53. 4. 1	28	442	423	865	3	20
28 柏井小	柏井町1-1149-1	(337)8877~8	昭54. 4. 1	16	220	234	454		
29 大洲小	大洲4-18-1	(370)0300・0315	昭54. 4. 1	17	265	234	499		
30 幸小	幸1-11-1	(396)0770・0773	昭54. 4. 1	22	346	316	662		
31 新井小	新井1-18-13	(357)1722・1727	昭55. 4. 1	25	425	400	825	2	16
32 南新浜小	新浜1-26-1	(396)9731・9757	昭55. 4. 1	21	336	330	666		
33 大野小	南大野1-42-1	(338)3000~1	昭55. 4. 1	22	328	334	662		
34 塩焼小	塩焼5-9-8	(397)1231~2	昭56. 4. 1	26	422	437	859	3	21
35 稲越小	稲越町518-2	(373)8401~2	昭56. 4. 1	8	108	101	209		
37 大和田小	大和田1-1-3	(378)5001・5032	昭58. 4. 1	17	264	244	508		
38 福栄小	南行徳2-2-1	(397)8115~6	昭60. 4. 1	12	165	145	310	1	3
39 妙典小	妙典2-14-2	(399)5891~2	平11. 4. 1	22	361	352	713	1	5
計				703	11,019	10,481	21,500	46	289

※No.36塩浜小学校は、平成28年度より「義務教育学校・塩浜学園」として掲載(79ページ参照)

【通級指導教室(人数は再掲)】

(令和元年5月1日現在)

学校名	種 別	設置年月日	男	女	計
1 市川小	言語	昭43. 9. 1	12	3	15
2 八幡小	言語	昭39. 9. 1	22	7	29
3 行徳小	言語	昭45. 9. 1	27	13	40
4 北方小	言語	平21. 4. 1	14	7	21
5 新井小	言語	平 8. 4. 1	12	5	17
6 稲荷木小	聴覚	昭47. 7. 1	6	6	12
7 第七中	聴覚	昭54. 4. 1	3	1	4
8 平田小	自閉症情緒	平14. 5. 1	9	1	10
9 鶴指小	自閉症情緒	平28. 5. 1	10		10
10 中国分小	自閉症情緒	平18. 9. 1	11	2	13
11 新浜小	自閉症情緒	平10. 4. 1	11	2	13
12 大野小	自閉症情緒	平26. 4. 1	8	2	10
13 妙典小	自閉症情緒	平26. 4. 1	10	2	12
14 中山小	自閉症情緒	平31. 4. 1	5	2	7
15 ※鬼高小	自閉症情緒	平31. 4. 1	3		3
16 第五中	自閉症情緒	平29. 4. 1	3		3
17 ※下貝塚中	自閉症情緒	平29. 4. 1	2		2
18 東国分中	自閉症情緒	平31. 4. 1	3	2	5
19 ※大洲中	自閉症情緒	平31. 4. 1			

※巡回による指導

【中学校】

(令和元年5月1日現在)

学校名	所在地	電話	創立年月日	生徒数						
				普通				特別支援学級		
				学級数	男	女	計	学級数	生徒数	
1 第一中	国府台2-7-1	(371)6045~6	昭22. 5. 1	18	373	253	626	3	22	
2 第二中	須和田2-34-1	(371)6188~9	昭22. 5. 1	17	301	286	587	2	15	
3 第三中	曾谷3-2-1	(371)7341~2	昭22. 5. 1	21	367	339	706	2	10	
4 第四中	中山1-11-1	(335)3431~2	昭22. 5. 1	17	289	293	582	2	10	
5 第五中	大野町3-1993	(337)8344~5	昭22. 5. 1	17	281	283	564	2	11	
6 第六中	鬼高3-16-1	(370)0535~6	昭34. 4. 1	18	318	287	605			
7 第七中	末広1-1-48	(357)3183~4	昭37. 4. 1	24	409	430	839	4	25	
8 第八中	大和田4-9-1	(370)1394~5	昭42. 4. 1	17	283	296	579	5	35	
9 下貝塚中	下貝塚3-13-1	(371)8800~1	昭54. 4. 1	18	323	277	600			
10 高谷中	高谷1627-1	(328)0211~2	昭54. 4. 1	14	225	232	457	1	6	
11 福栄中	福栄3-4-1	(396)0701~2	昭54. 4. 1	20	364	337	701	3	17	
12 東国分中	東国分3-5-1	(371)5963~4	昭55. 4. 1	9	163	161	324	3	12	
13 大洲中	大洲4-21-5	(378)5783・5785	昭57. 4. 1	夜(3)	夜(11)	夜(6)	夜(17)			
				12	196	195	391			
15 南行徳中	南行徳2-2-2	(397)5910~1	昭60. 4. 1	19	326	316	642			
16 妙典中	妙典5-22-1	(395)5811~2	昭61. 4. 1	26	442	450	892			
計				夜(3)	夜(11)	夜(6)	夜(17)	25	157	
				267	4,660	4,435	9,095			

※No.13大洲中学校及び計欄の夜()は夜間中学校の学級数、生徒数である

※No.14塩浜中学校は、平成28年度より下記「義務教育学校・塩浜学園」として掲載

【義務教育学校】

(令和元年5月1日現在)

学校名	所在地	電話	創立年月日	生徒数						
				普通				特別支援学級		
				学級数	男	女	計	学級数	生徒数	
1 塩浜学園	塩浜4-6-1	(397)4421~2	平28. 4. 1	14	187	174	361			
計				14	187	174	361			

【特別支援学校】

(令和元年5月1日現在)

学校名	所在地	電話	創立年月日	生徒数						
				普通				特別支援学級		
				学級数	男	女	計	学級数	生徒数	
1 須和田の丘小	稲越町518-2	(373)9000	昭48. 4. 1	16	48	17	65			
2 須和田の丘中	須和田2-34-1	(371)2258~9	昭32. 4. 1	7	17	9	26			
3 須和田の丘高	〃	〃	昭47. 4. 1	11	45	20	65			
計				34	110	46	156			

【幼稚園】

(令和元年5月1日現在)

幼稚園名	所在地	電話	創立年月日	園児数						
				(年少～年長)				特別支援学級		
				学級数	男	女	計	学級数	園児数	
1 信篤	高谷1-8-1	(328)2325	昭46. 4. 1	3	24	30	54			
2 大洲	大洲4-3-12	(370)3648	昭49. 9. 20	4	42	46	88	1	7	
3 南行徳	欠真間1-6-15	(358)5333	昭50. 4. 1	5	79	73	152	1	6	
4 百合台	曾谷6-10-1	(373)8937	昭50. 7. 3	2	23	21	44	1	3	
5 新浜	行徳駅前4-5-2	(396)2521	昭53. 4. 1	4	46	41	87			
6 塩焼	塩焼5-9-1	(397)3857	昭57. 4. 3	6	83	80	163			
計				24	297	291	588	3	16	

【小 学 校】(再任用含む)

(令和元年5月1日現在)

学校名	教 職 員 等 の 状 況									校長名
	校長	副校長 教 頭	教 諭	助教諭	養 護 教 諭	学校栄 養職員 栄養教諭	事 務 職 員	定数内 欠 補	計	
1 市川小	1	1	26		1		1	2	32	川元 洋
2 真間小	1	1	24		1	1	1		29	石塚 浩
3 中山小	1	1	24		1	1	1	2	31	望戸 千恵美
4 八幡小	1	1	26		1		1	1	31	吉野 和雅
5 国分小	1	1	15		1		1	3	22	田代 邦子
6 大柏小	1	1	29		1	1	1	2	36	下川 泰弘
7 宮田小	1	1	17		1	1	1		22	本多 妃佐子
8 富貴島小	1	1	23		1	1	1	2	30	小籠 宏
9 若宮小	1	1	22		1		1	2	28	片岡 玲子
10 国府台小	1	1	21		1	1	1		26	井上 栄
11 平田小	1	1	17			1	1	2	23	杉本 雅彦
12 鬼高小	1	1	33		2	1	1	1	40	川口 美彦
13 菅野小	1	1	20		1	1	1		25	佐藤 伸雄
14 行徳小	1	1	36		2	1	2	3	46	中西 真
15 信篤小	1	1	30		1	1	1		35	蜂須賀 久幸
16 稲荷木小	1	1	15		1	1	1	1	21	島田 勉
17 南行徳小	1	1	26		1		1	1	31	石原 淳一
18 鶴指小	1	1	19		1		1		23	山本 伸一
19 宮久保小	1	1	24		1			4	31	松田 智
20 二俣小	1	1	12		1	1	1	1	18	新井 直樹
21 中国分小	1	1	21		1	1	1	1	27	山村 雅彦
22 曾谷小	1	1	17		1	1	1		22	野口 敏樹
23 大町小	1	1	7		1	1	1		12	藤田 直子
24 北方小	1	1	14		1	1	1	1	20	大澤 明洋
25 新浜小	1	1	33		1		1	2	39	堀切 宏
26 百合台小	1	1	24		1	1	1		29	皆川 真一
27 富美浜小	1	1	34		2		1	3	42	古田 由美子
28 柏井小	1	1	18		1	1	1		23	持田 春樹
29 大洲小	1	1	20		1	1	1		25	松井 聰
30 幸 小	1	1	24		1		1	2	30	石田 信之
31 新井小	1	1	28		1	1		5	37	小嶋 享治
32 南新浜小	1	1	24		1	1	1	1	30	小松崎 聡
33 大野小	1	1	25		1	1	1	1	31	西村 明之
34 塩焼小	1	1	33		2		1	1	39	大塚 美江
35 稲越小	1	1	8		1		1	1	13	清田 博之
37 大和田小	1	1	19		1	1	1	1	25	青山 了司
38 福栄小	1	1	15		1		1	1	20	松永 裕思
39 妙典小	1	1	28		1	1	1	1	34	河部 純
計	38	38	851		41	25	37	48	1,078	

※No.36塩浜小学校は、平成28年度より「義務教育学校・塩浜学園」として掲載(81ページ参照)

【中学校】（再任用含む）

（令和元年5月1日現在）

学校名	教職員等の状況									校長名
	校長	副校長 教頭	教諭	助教諭	養護 教諭	学校栄 養職員 栄養教諭	事務 職員	定数内 欠補	計	
1 第一中	1	2	32		1		1	2	39	林 直也
2 第二中	1	1	30		1	1	1		35	高井 伸明
3 第三中	1	1	33		1		1	2	39	大道 直和
4 第四中	1	1	29		1		1	1	34	永田 博彦
5 第五中	1	1	32		1		1	1	37	河合 滋
6 第六中	1	1	28		1		1	1	33	高橋 祐介
7 第七中	1	1	44		2	1	2	2	53	新部 操
8 第八中	1	1	31		1		2	3	39	佐野 典行
9 下貝塚中	1	1	28		1	1	1	1	34	佐々木 愁子
10 高谷中	1	1	23		1		1	1	28	大喜多 栄逸
11 福栄中	1	1	34		1	1	2	3	43	鈴木 康治
12 東国分中	1	1	19		1		1	2	25	岡 良和
13 大洲中	1	夜(1) 1	夜(4) 16		1		1	4	夜(5) 24	戸板 長俊
15 南行徳中	1	1	27		1	1	1	2	34	大久保 浩
16 妙典中	1	1	37		2		2	3	46	奥野 秀夫
計	15	夜(1) 16	夜(4) 443		17	5	19	28	夜(5) 543	

※No.13大洲中学校及び計欄の夜()は夜間中学校の教職員数である

※No.14塩浜中学校は、平成28年度より下記「義務教育学校・塩浜学園」として掲載

【義務教育学校】（再任用含む）

（令和元年5月1日現在）

学校名	教職員等の状況									校長名
	校長	副校長 教頭	教諭	助教諭	養護 教諭	学校栄 養職員 栄養教諭	事務 職員	欠補	計	
1 塩浜学園	1	3	21		2		2	1	30	藤井 義康
計	1	3	21		2		2	1	30	

【特別支援学校】（再任用含む）

（令和元年5月1日現在）

学校名	教職員等の状況									校長名
	校長	副校長 教頭	教諭	助教諭	養護 教諭	学校栄 養職員 栄養教諭	事務 職員	欠補	計	
1 須和田の丘小	1	1	26		1		1	3	33	五十嵐 祐子
2 須和田の丘中・高		1	45		2	1	3	3	55	〃
計	1	2	71		3	1	4	6	88	

【幼稚園】（再任用含む）

（令和元年5月1日現在）

幼稚園名	教職員等の状況									園長名
	園長	教頭	教諭						計	
1 信篤	1	1	4						6	古川 利志子
2 大洲	1	1	5						7	福地 かかり
3 南行徳	1	1	6						8	小沢 直美
4 百合台	1	1	3						5	田代 美香絵
5 新浜	1	1	4						6	池谷 佳子
6 塩焼	1	1	6						8	榊田 美恵子
計	6	6	28						40	

I-3 学校施設の建物・面積

【小学校】

(令和元年5月1日現在)

No.	学校名	校舎			保有教室数										屋内運動場			校地面積				
		保有面積 (㎡)			特別教室関係 (室数)										保有面積 (㎡)			保有面積 (㎡)				
		鉄筋	鉄骨	木造	理科	生活	音楽	図画・工作	家庭	視聴覚	コンピュータ	図書室	特別活動	教育相談	鉄筋	鉄骨	建物敷地	運動場	その他			
1	市川小	6,867	6,803	64	0	1	0	1	1	1	1	1	2	5	1	1,054	889	165	10,305	7,105	3,200	0
2	真間小	6,257	6,186	71	0	1	1	2	1	2	0	1	2	5	1	1,087	1,087	0	10,314	4,914	5,400	0
3	中山小	7,623	7,546	77	0	2	1	2	1	1	1	0	2	8	1	848	848	0	15,296	11,813	3,483	0
4	八幡小	5,744	5,546	198	0	1	0	1	1	1	0	1	2	4	1	1,110	0	1,110	9,435	5,571	3,864	0
5	国分小	5,963	5,963	0	0	1	1	1	1	1	0	1	2	10	1	1,042	0	1,042	13,183	6,487	6,696	0
6	大柏小	6,207	6,142	65	0	1	0	1	1	1	1	1	2	0	1	971	0	971	14,756	10,838	3,918	0
7	宮田小	4,353	4,210	126	17	1	0	1	1	1	0	1	2	2	1	711	711	0	6,454	2,677	3,777	0
8	富貴島小	5,996	5,950	46	0	1	0	1	1	1	0	1	1	3	2	982	982	0	12,921	6,130	6,791	0
9	若宮小	5,782	5,724	58	0	1	0	2	1	1	1	1	2	4	1	944	944	0	11,864	7,019	4,845	0
10	国府台小	7,112	6,690	422	0	1	1	2	1	2	0	1	1	9	1	849	0	849	14,573	7,223	5,605	1,745
11	平田小	6,210	6,157	53	0	1	1	2	1	1	1	1	2	6	1	981	0	981	12,379	7,874	4,505	0
12	鬼高小	7,700	7,673	27	0	2	0	2	1	1	1	1	2	4	1	1,025	0	1,025	15,680	8,984	6,696	0
13	菅野小	6,170	5,997	173	0	1	1	1	1	1	1	1	2	5	1	1,024	0	1,024	0	0	0	0
14	行徳小	8,186	8,100	86	0	2	1	2	1	1	0	1	2	9	0	963	0	963	17,927	9,999	7,928	0
15	信篤小	6,673	6,629	44	0	2	0	2	1	1	0	1	3	5	1	962	0	962	14,757	6,776	7,981	0
16	稲荷木小	5,857	5,828	29	0	1	1	2	1	1	1	1	2	6	1	777	0	777	10,000	5,323	4,677	0
17	南行徳小	7,693	7,581	112	0	2	1	2	1	1	0	1	2	9	1	1,158	1,158	0	18,354	10,594	7,760	0
18	鶴指小	7,518	7,491	27	0	2	1	2	1	1	1	1	2	7	1	732	732	0	13,299	6,820	6,479	0
19	宮久保小	6,154	6,088	66	0	1	0	1	1	1	0	1	2	4	2	873	873	0	14,354	7,938	6,416	0
20	二俣小	5,813	5,762	51	0	1	1	2	1	1	0	1	3	9	2	1,125	1,125	0	19,075	6,793	12,282	0
21	中国分小	4,975	4,938	37	0	1	0	1	1	1	0	1	1	5	1	819	0	819	16,824	8,654	8,170	0
22	曾谷小	6,626	6,593	33	0	1	0	2	1	1	1	1	2	10	2	819	0	819	17,580	7,636	9,944	0
23	大町小	4,541	4,518	23	0	1	1	1	1	1	1	1	2	7	1	837	0	837	13,330	5,480	7,850	0
24	北方小	5,267	5,111	156	0	1	1	1	1	1	0	1	2	7	1	911	0	911	12,728	5,201	7,527	0
25	新浜小	7,720	7,693	27	0	1	0	2	1	1	1	1	2	6	2	858	0	858	15,555	7,949	7,606	0
26	百合台小	6,070	6,043	27	0	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1	963	0	963	14,649	6,983	6,466	1,200
27	富美浜小	7,237	7,156	81	0	2	0	2	1	1	1	1	2	4	1	900	0	900	16,527	7,621	8,906	0
28	柏井小	5,025	4,128	897	0	1	1	1	1	1	0	1	2	5	1	963	0	963	15,559	8,204	7,355	0
29	大洲小	4,667	4,640	27	0	1	0	2	1	1	1	1	2	3	1	896	0	896	13,833	5,807	8,026	0
30	幸小	7,108	7,081	27	0	1	0	2	1	1	1	1	2	5	1	1,104	1,104	0	9,849	5,411	4,438	0
31	新井小	7,552	6,173	1,379	0	1	1	1	1	1	1	1	1	8	2	972	0	972	14,286	5,803	6,645	1,838
32	南新浜小	5,748	5,708	40	0	1	1	2	1	1	0	1	2	4	1	971	0	971	18,168	7,272	10,896	0
33	大野小	7,387	6,615	772	0	2	1	2	1	1	0	1	2	10	1	972	0	972	16,057	7,646	8,411	0
34	塩焼小	7,439	7,412	27	0	2	0	2	1	1	1	1	2	6	2	984	0	984	17,367	7,174	10,193	0
35	稲越小	4,551	4,524	27	0	1	1	1	1	1	0	1	1	6	2	917	0	917	19,700	7,780	11,920	0
37	大和田小	4,596	4,031	565	0	1	0	1	1	1	0	1	1	2	1	789	0	789	12,966	6,456	6,510	0
38	福栄小	4,592	4,565	27	0	2	0	2	1	1	0	1	1	4	1	1,100	1,100	0	10,910	4,536	6,367	7
39	妙典小	10,939	9,491	1,448	0	1	0	2	2	1	0	1	2	13	1	1,265	1,265	0	0	0	0	0
計		241,918	234,486	7,415	17	48	19	60	39	40	18	37	70	223	45	36,258	12,818	23,440	510,814	256,491	249,533	4,790

No. 36塩浜小学校は、平成28年度より「義務教育学校・塩浜学園」として掲載（83ページ「塩浜学園・前期課程」参照）

【中学校】

(令和元年5月1日現在)

No.	学校名	校舎			保有教室数										屋内運動場			校地面積						
		保有面積 (㎡)			特別教室関係 (室数)										保有面積 (㎡)			保有面積 (㎡)						
		鉄筋	鉄骨	木造	理科	音楽	美術	技術	家庭	外国語	視聴覚	コンピュータ	図書室	特別活動	教育相談	進路資料・指導	鉄筋	鉄骨	建物敷地	運動場	その他			
1	第一中	7,503	7,123	380	0	1	2	1	2	2	2	1	1	2	4	1	1	1,253	0	1,253	0	0	0	
2	第二中	6,342	6,097	245	0	2	2	1	2	2	0	2	1	1	5	1	0	1,062	0	1,062	19,640	10,293	9,347	0
3	第三中	6,923	6,812	111	0	2	1	1	1	2	0	0	2	1	4	1	0	1,155	0	1,155	21,101	13,015	6,861	1,225
4	第四中	6,201	6,201	0	0	2	1	1	1	2	1	1	1	1	5	1	1	1,588	0	1,588	13,262	6,190	6,451	621
5	第五中	7,964	7,892	42	30	3	2	1	1	2	0	1	1	1	8	3	1	1,150	0	1,150	11,293	2,285	8,548	460
6	第六中	7,531	7,444	87	0	3	2	1	2	2	0	0	1	1	6	1	0	1,485	0	1,485	16,764	7,318	8,971	475
7	第七中	12,038	11,866	172	0	3	2	2	2	2	0	1	1	1	14	1	0	1,389	1,389	0	23,518	15,096	8,422	0
8	第八中	7,836	7,783	53	0	2	2	1	2	2	0	1	1	1	6	1	0	1,144	1,144	0	17,463	7,375	10,088	0
9	下貝塚中	6,167	6,128	39	0	2	2	1	2	2	0	1	1	2	6	2	0	1,160	0	1,160	16,656	6,593	10,063	0
10	高谷中	6,830	6,791	39	0	2	2	2	2	2	0	1	1	2	6	2	0	1,159	0	1,159	18,535	5,805	12,598	132
11	福栄中	7,825	7,786	39	0	2	2	2	2	2	0	2	1	1	9	1	0	1,160	0	1,160	19,834	9,005	10,829	0
12	東国分中	6,181	6,168	13	0	2	2	1	1	2	0	1	1	1	7	1	0	1,163	0	1,163	20,014	6,953	13,061	0
13	大洲中	6,596	6,560	36	0	2	1	2	1	2	0	1	1	1	5	1	1	1,353	1,353	0	14,182	7,073	7,109	0
15	南行徳中	6,080	6,016	64	0	2	2	1	1	2	0	1	1	1	6	2	0	1,403	1,403	0	14,234	4,861	9,172	201
16	妙典中	8,056	6,291	1,765	0	3	2	1	1	2	0	1	1	2	5	2	0	1,446	73	1,373	16,540	7,980	8,560	0
計		110,073	106,958	3,085	30	33	27	19	23	30	3	15	16	19	96	21	4	19,070	5,362	13,708	243,036	109,842	130,080	3,114

No.14塩浜中学校は、平成28年度より「義務教育学校・塩浜学園」として掲載（下記「塩浜学園・後期課程」参照）

【義務教育学校】

(令和元年5月1日現在)

No.	学校名	校舎			保有教室数										屋内運動場			校地面積						
		保有面積 (㎡)			特別教室関係 (室数)										保有面積 (㎡)			保有面積 (㎡)						
		鉄筋	鉄骨	木造	理科	生活	音楽	図画・工作	家庭	外国語	視聴覚	コンピュータ	図書室	特別活動	教育相談	鉄筋	鉄骨	建物敷地	運動場	その他				
1	塩浜学園前期課程	4,507	4,480	27	0	1	1	1	1	1	0	1	1	11	1	984	0	984	15,487	9,406	6,081	0		
1	塩浜学園後期課程	4,825	4,798	27	0	2	2	1	1	2	0	1	1	2	3	2	1	1,021	1,021	0	17,160	4,954	12,206	0
計		9,332	9,278	54	0												2,005	1,021	984	32,647	14,360	18,287	0	

【特別支援学校】

(令和元年5月1日現在)

No.	学校名	校舎				校地面積			
		保有面積 (㎡)				保有面積 (㎡)			
		鉄筋	鉄骨	木造		建物敷地	運動場	その他	
1	須和田の丘	3,051	2,900	151	0	3,636	1,890	1,746	0
2	須和田の丘 (稲越校舎)	1,052	1,052	0	0	0	0	0	0
計		4,103	3,952	151	0	3,636	1,890	1,746	0

【幼稚園】

(令和元年5月1日現在)

No.	幼稚園名	園舎				校地面積			
		保有面積 (㎡)				保有面積 (㎡)			
		鉄筋	鉄骨	木造		建物敷地	運動場	その他	
1	信篤幼	1,218	1,178	40	0	3,313	2,081	1,232	0
2	大洲幼	1,149	1,149	0	0	2,048	1,344	704	0
3	南行徳幼	1,706	1,706	0	0	2,911	2,092	819	0
4	百合台幼	1,341	1,341	0	0	2,734	1,708	1,026	0
5	新浜幼	1,059	1,046	13	0	2,000	938	1,062	0
6	塩焼幼	1,258	1,258	0	0	2,800	1,620	1,180	0
計		7,731	7,678	53	0	15,806	9,783	6,023	0

I-4 令和元年度 学校施設の整備状況

1 学校施設の整備について

学校施設は子どもたちが一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、地域の重要な拠点ともなっていることから、安全で快適な環境を確保するという観点から整備を行っている。

旧耐震基準（昭和56年以前）の学校施設については、耐震診断の結果に基づき、補強が必要な施設について、建替え工事や耐震改修工事を行った。

また、学校施設は、その大半が築30年以上経過し、老朽化が進んでいることから、順次改修工事を行うこととしている。

2 令和元年度実施の主な事業

(1) 営繕事業

建設後、相当年数を経過し、老朽化が進んでいるため、児童・生徒等の安全を確保し衛生面、環境面を改善するため、年次改修計画に基づいたトイレの改修（多目的トイレの設置）や空調設備設置などの工事を行った。

(2) 義務教育学校整備事業

平成28年4月に義務教育学校となった塩浜学園の教育効果を高めるため、塩浜学園校舎一体化の整備事業を行った。平成30年9月から令和2年8月までの工期で、校舎及び体育館の新築工事を行っている。

また、同時に既存給食室の改修工事を行った。今後、既存校舎の取り壊し及び外構工事を行っていく。

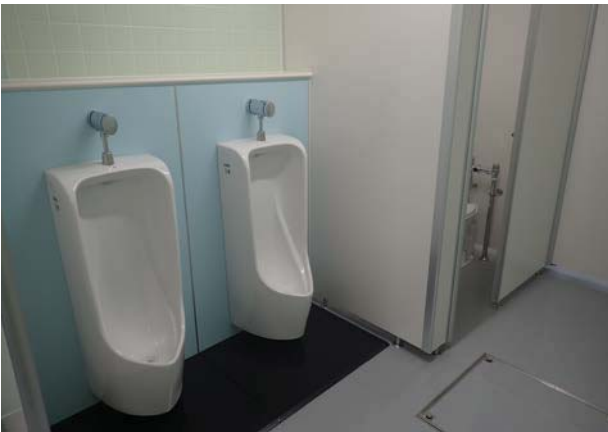
(3) 中学校建替事業

国府台病院院内学級（国府台小学校・第一中学校の分校）は、老朽化が著しく、また、児童生徒数の増加による狭隘化が進んでおり、施設の規模が不足していることから、令和2年9月までの工期で、院内学級の建替えの設計及び工事を行っている。

3 営繕事業の主な実績

- ・トイレ改修工事 北方小学校ほか2校
- ・屋上防水改修工事 富美浜小学校ほか1校
- ・塀等改修工事 八幡小学校ほか6校
- ・教室床改修工事 富貴島小学校
- ・受水槽等改修工事 信篤小学校
- ・校庭整備工事 大和田小学校
- ・外壁等改修工事 百合台小学校
- ・給食室渡り廊下建替工事 行徳小学校
- ・冷暖房機改修工事 幸小学校ほか2校
- ・屋内運動場床改修工事 妙典中学校
- ・消防設備改修工事 新浜小学校ほか2校
- ・プールろ過装置改修工事 鬼高小学校

トイレ改修工事 北方小学校



トイレ改修工事 百合台小学校



塀等改修工事 八幡小学校



冷暖房機改修工事 幸小学校（給食室）



屋内運動場床改修工事 妙典中学校



受水槽等改修工事 信篤小学校



4 義務教育学校整備事業の主な写真

- ・塩浜学園新築工事

塩浜学園 新築工事 完成予想



塩浜学園 新築工事 施工写真



I-5 教職員の構成(県費負担)

(栄養教諭、養護教諭、学校栄養職員、再任用等を除く)

(令和元年5月1日現在)

【小学校】

性別構成

	男	女	計(人)
小学校	320	553	873
割合(%)	36.7%	63.3%	100.0%

年齢別構成

	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以上	計(%)
男(320人)	31	56	65	51	26	17	20	54	320
%	9.7%	17.5%	20.3%	15.9%	8.1%	5.3%	6.3%	16.9%	100.0%
女(553人)	62	83	83	103	50	35	52	85	553
%	11.2%	15.0%	15.0%	18.6%	9.0%	6.3%	9.4%	15.4%	100.0%

勤務年数別構成

	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30～34年	35年以上	計(%)
男(320人)	82	79	58	28	8	6	31	28	320
%	25.6%	24.7%	18.1%	8.8%	2.5%	1.9%	9.7%	8.8%	100.0%
女(553人)	126	113	104	69	6	28	68	39	553
%	22.8%	20.4%	18.8%	12.5%	1.1%	5.1%	12.3%	7.1%	100.0%

【中学校】

性別構成

	男	女	計(人)
中学校	236	198	434
割合(%)	54.4%	45.6%	100.0%

年齢別構成

	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以上	計(%)
男(236人)	3	39	55	28	20	10	18	63	236
%	1.3%	16.5%	23.3%	11.9%	8.5%	4.2%	7.6%	26.7%	100.0%
女(198人)	5	32	49	26	20	16	13	37	198
%	2.5%	16.2%	24.7%	13.1%	10.1%	8.1%	6.6%	18.7%	100.0%

勤務年数別構成

	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30～34年	35年以上	計(%)
男(236人)	42	68	32	13	2	14	32	33	236
%	17.8%	28.8%	13.6%	5.5%	0.8%	5.9%	13.6%	14.0%	100.0%
女(198人)	27	63	30	22	7	12	10	27	198
%	13.6%	31.8%	15.2%	11.1%	3.5%	6.1%	5.1%	13.6%	100.0%

【義務教育学校】

年齢別構成

	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以上	計(%)
総数24人	1	2	7	5	1	2	1	5	24
%	4.2%	8.3%	29.2%	20.8%	4.2%	8.3%	4.2%	20.8%	100.0%

勤務年数別構成

	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30～34年	35年以上	計(%)
総数24人	2	6	7	2	0	1	3	3	24
%	8.3%	25.0%	29.2%	8.3%	0.0%	4.2%	12.5%	12.5%	100.0%

【特別支援学校】

年齢別構成

	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以上	計(%)
総数72人	6	15	14	11	8	6	6	6	72
%	8.3%	20.8%	19.4%	15.3%	11.1%	8.3%	8.3%	8.3%	100.0%

勤務年数別構成

	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30～34年	35年以上	計(%)
総数72人	25	20	11	3	2	5	3	3	72
%	34.7%	27.8%	15.3%	4.2%	2.8%	6.9%	4.2%	4.2%	100.0%

I-6 令和元年度 国・県・私立学校・私立幼稚園等一覧

(1) 大学

No.	学校名	所在地	開学年月	電話	学長名	設置学部等
1	和洋女子大学	国府台2-3-1	昭24.4	(371)1111	岸田 宏司	人文学部 家政学部 看護学部
2	千葉商科大学	国府台1-3-1	昭25.4	(372)4111	原科 幸彦	商経学部 政策情報学部 サービス創造学部 人間社会学部 国際教養学部
3	東京医科歯科大学(教養部)	国府台2-8-30	昭40.4	(300)7105	吉澤 靖之	医学部 歯学部

(2) 短期大学

No.	学校名	所在地	開学年月	電話	学長名	設置学部等
1	昭和学院短期大学	東菅野2-17-1	昭25.4	(324)7115	菅沼 恵子	人間生活学科 ヘルスケア栄養学科
2	東京経営短期大学	二俣625-1	平4.4	(328)6161	増田 哲也	経営総合学科 こども教育学科 留学生別科

(3) 高等学校(県立)

No.	学校名	所在地	創立年月日	電話	校長名	学科
1	市川工業高等学校	平田3-10-10	昭18.4.25	(378)4186	野崎 一哉	機械・電気・建築・インテリア
2	市川工業高等学校(定時制)	平田3-10-10	昭18.4.25	(378)4186	野崎 一哉	機械電気・建築
3	国府台高等学校	国府台2-4-1	昭18.4.1	(373)2141	苅込 英昭	普通
4	国分高等学校	稲越町310	昭39.4.1	(371)6100	高野 義幸	普通
5	行徳高等学校全日制	塩浜4-1-1	昭49.4.8	(395)1040	池田 浩二	普通
6	行徳高等学校(定時制)	塩浜4-1-1	昭53.4.1	(395)1040	池田 浩二	普通
7	市川東高等学校	北方町4-2191	昭52.4.1	(338)6810	原 義明	普通
8	市川昴高等学校	東国分1-1-1	昭54.4.10	(371)2841	西川 和樹	普通
9	市川南高等学校	高谷1509	昭56.4.13	(328)6001	石橋 修	普通

(4) 高等学校(私立)

No.	学校名	所在地	設置認可年月日	電話	校長名	学科
1	昭和学院高等学校	東菅野2-17-1	昭23.3.31	(323)4171	大井 俊博	普通
2	市川高等学校	本北方2-38-1	昭23.3.31	(339)2681	宮崎 章	普通
3	和洋国府台女子高等学校	国府台2-3-1	昭23.3.31	(371)1120	宮崎 康	普通・ファッションテクニクス
4	日出学園高等学校	菅野3-23-1	昭25.3.3	(324)0071	堀越 克茂	普通
5	千葉商科大学附属高等学校	中国分2-10-1	昭26.1.30	(373)2111	浅川 潤一	普通・商業
6	国府台女子学院高等部	菅野3-24-1	昭26.2.13	(326)8100	平田 史郎	普通・英語
7	不二女子高等学校	八幡4-5-7	昭52.12.9	(333)6345	奥野木 正彦	普通

(5) 中学校

No.	大学名	所在地	設置認可年月日	電話	校長名	区分
1	昭和学院中学校	東菅野2-17-1	昭22.5.19	(323)4171	大井 俊博	共学
2	市川中学校	本北方2-38-1	昭22.5.19	(339)2681	宮崎 章	共学
3	和洋国府台女子中学校	国府台2-3-1	昭24.1.21	(371)1120	宮崎 康	女子
4	日出学園中学校	菅野3-23-1	昭22.5.19	(324)0071	堀越 克茂	共学
5	国府台女子学院中学部	菅野3-24-1	昭22.5.5	(322)7770	平田 史郎	女子

(6) 小学校

No.	大学名	所在地	設置認可年月日	電話	校長名	区分
1	昭和学院小学校	東菅野2-17-1	昭24.12.26	(300)5844	鈴木 祐子	共学
2	日出学園小学校	菅野3-23-1	昭9.3.31	(322)3660	平山 淳子	共学
3	国府台女子学院小学部	菅野3-24-1	昭34.12.17	(322)5644	平田 史郎	女子

(7) 特別支援学校

No.	学校名	所在地	創立年月日	電話	校長名	学科
1	筑波大学附属 聴覚特別支援学校	国府台2-2-1	明8.5.22	(371)4135	鄭 仁豪	幼稚部 小学部 中学部 高等部普通科 高等部専攻科造形芸術科 高等部専攻科ビジネス情報科 高等部専攻科歯科技工科
2	県立市川特別支援 学校	原木1862	昭59.4.1	(327)4155	井上 宏樹	小学部 中学部 高等部
3	県立特別支援学校 市川大野高等学園	大野町4-2274	平24.4.1	(303)8011	田中 均宜	園芸技術科 工業技術科 生活デザイン科 流通サービス科

(8) 各種学校

No.	学校名	所在地	設置認可 年月日	電話	校長名	学科
1	市川和裁技術学院	市川南2-3-17	昭39.4.3	(322)0856	小林 幸子	本科
2	共進珠算学校	八幡3-4-19	昭27.8.12	(322)4997	松田 弘	初等科(夜間) 中等科(夜間) 高等科(夜間) 研究科(夜間) 専攻科(夜間)
3	若宮珠算学校	中山1-25-3	昭31.5.23	(333)7713	渡辺 道代	初等科(夜間) 中等科(夜間) 高等科(夜間) 研究科(夜間)

(9) 私立幼稚園一覧表

No.	幼稚園名	所在地	設置認可年月日	電話	園長名
1	日出学園幼稚園	菅野2-21-12	昭 9. 3. 30	(322)4012	鍛冶 礼子
2	自然幼稚園	市川1-24-21	〃 24. 8.31	(322)4095	石田 カチエ
3	和光幼稚園	相之川2-12-28	〃 30. 5. 4	(357)2331	吉田 みのり
4	市川学園幼稚園	八幡5-1-10	〃 28. 1.31	(334)4770	藤谷 佐和子
5	市川学園第2幼稚園	東菅野4-13-1	〃 40. 2.18	(339)1531	白金 顕
6	みどり幼稚園	中山3-10-4	〃 29. 3.12	(334)1224	緑谷 一樹
7	国府台文化幼稚園	中国分3-6-24	〃 40. 4. 1	(372)7005	吉川 宜範
8	つくし幼稚園	大和田3-3-3	〃 41. 5.31	(376)5922	小沢 光重
9	昭和学院幼稚園	宮久保1-3-8	〃 42. 4. 11	(374)8300	鈴木 祐子
10	市川聖マリア幼稚園	八幡3-19-12	〃 24. 8.31	(323)5371	宮崎 真琴
11	真間山幼稚園	真間4-9-1	〃 27. 12. 3	(371)7251	小平 一良
12	富貴島幼稚園	八幡6-12-12	〃 27. 12.25	(334)4860	由田 由佳理
13	アイリス幼稚園	北方2-29-9	〃 38. 5.1	(335)5530	新垣 博幸
14	須和田幼稚園	須和田1-20-3	〃 29. 3.30	(371)5457	楠崎 史子
15	共立幼稚園	新田4-15-27	〃 31. 3.29	(377)0851	腰本 和代
16	曾谷幼稚園	曾谷1-4-1	〃 40. 4. 1	(371)5440	松丸 早苗
17	白菊幼稚園	南八幡3-15-1	〃 40. 4. 1	(378)2160	山崎 一範
18	大町不二幼稚園	大町103	〃 45. 4. 1	(337)8337	奥野木 正彦
19	若宮幼稚園	若宮3-53-4	〃 40. 3. 1	(339)2057	栗原 政實
20	わかたけ幼稚園	北方町4-1798	〃 40. 4. 1	(338)1661	櫻庭 公子
21	ソフィア幼稚園	稲荷木3-22-5	〃 40. 4. 1	(379)1015	難波 香子
22	宮久保幼稚園	宮久保6-7-2	〃 42. 4.11	(371)7320	吉原 正実
23	浄光寺幼稚園	大野町3-1917	〃 42. 4. 6	(337)8413	二宮 由泰
24	国分幼稚園	曾谷5-32-18	〃 43. 4. 1	(373)1481	鈴木 敬子
25	いなほ幼稚園	国分3-4-12	〃 47. 3.15	(373)2201	山崎 和男
26	鬼高幼稚園	鬼高3-14-18	〃 46. 4. 1	(370)6583	堀内 しほ子
27	築葉根幼稚園	北方町4-2171	〃 51. 3.31	(338)4800	岩橋 伸孝
28	原木幼稚園	原木1-8-1	〃 52. 3.31	(327)1291	藍原 恵子
29	アンデルセン幼稚園	堀之内1-9-17	〃 52. 3.31	(374)1751	廣木 美代子
30	東浜幼稚園	行徳駅前3-12-14	〃 53. 2.25	(396)5321	川崎 善明
31	市川東学院三愛幼稚園	東国分1-20-12	〃 54. 2.28	(373)7272	芝田 弘一
32	塩浜幼稚園	塩浜4-2-28-101	〃 56. 2. 28	(399)2578	近藤 喜盛

Ⅱ 学校教育関係

Ⅱ-1 令和元年度

第5期いちかわ学校三ヵ年計画(創意と活力のある学校づくり) 推進テーマ一覧

1 小学校

No.	学校名	推進テーマ	研究教科等
1	市川小	やさしいところがいっぱい为学校	国語科
2	真間小	○自分の良さを生かし、互いに認め、励まし、高めあえる子どもを育てる。 ○子ども一人一人の良さを見だし、伸ばす教職員となる。 ○子どもの成長のために、全教職員がそれぞれの特長を生かして協働する学校を創る。	国語科
3	中山小	子どもと教職員にとって、また、保護者等にとっても、さらに、地域にとっても本校を「学ぶところ(学校)」「楽しいところ(楽校)」「力を合わせるところ(合校)」の「3つの学校」を標榜する中で、 ○知・徳・体の調和がとれた教育活動(総合的な人間力の育成)を推進する。 ○生活科・理科を中心として各教科・領域における授業の充実を目指す。	理科 生活科
4	八幡小	豊かな学びを通して、心も体もジャンボな子どもを育てる	国語科と生活科・総合的な学習の時間の有効な関連
5	国分小	児童一人一人が未来を切り拓く力を身に付けるために「心豊かで思いやりのある子・自分の考えが持てる子・たくましく最後までやりぬく子」を育成する学校を目指す。	国語科
6	大柏小	体験的な学習を計画的に実施し、人やものにつながる実感を大切にして、自分の思いを主体的に表現できる子どもを育成する。	国語科 算数科
7	宮田小	望ましい集団活動の日常化を図り、楽しい学校生活を創る子どもを育成する。	特別活動 学級活動
8	富貴島小	◎探究心にあふれ、主体的に学ぶ子(知) ◎感受性にあふれ、人間性豊かな子(徳) ◎がまん強く、健康でたくましい子(体)	国語科
9	若宮小	みんなのよさをみんなでつなぐ、楽しい学校	生活科・理科
10	国府台小	あらゆる教育活動を通し、生涯に渡り向上心を持ち、主体的に生きる児童を育成する	国語科 算数科
11	平田小	子供一人一人が活躍できる学校・地域から信頼される学校 学校は子どもの学力の保障と社会性を育てるためにあることを第一義とし、一人一人の子どもの可能性を伸ばし一日の成長が確認できる教育を目指す。地域を愛し、地域から愛され、いずれは地域に根ざし、地域共に生きる人(児童)を育成し、信頼される学校を目指す。	国語科
12	鬼高小	他者とともに 自己実現に取り組む 鬼高っ子 の育成 (異質な他者とも協働してより良いものを作り上げる児童)	国語科
13	菅野小	(1)確かな学力を育む (2)豊かな心を育む (3)健やかな体を育む (4)信頼される開かれた学校をつくる ～攻めの学校経営を推進する～	国語科
14	行徳小	学びをつなげ、気づきや考えを深めていく児童の育成	生活科 総合的な学習の時間
15	信篤小	自ら考え、問題に向き合う素直な児童の育成	道徳科
16	稲荷木小	基礎・基本を確実に身につけて、自ら考え判断し行動できる心豊かな児童の育成	国語科
17	南行徳小	知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」をもつ子どもの育成	国語科

No.	学校名	推進テーマ	研究教科等
18	鶴指小	一人で生きていける強さと、他人と生きていける優しさを培う —学校・家庭・地域が連携して教育の向上を図る—	国語科 算数科
19	宮久保小	心身ともに健康でたくましく、豊かな情操を持ち、相手を思いやり、自分で考え正しく判断し、他の者と協力し行動できる児童の育成	国語科
20	二俣小	豊かな心・健やかな体・確かな学力を身につけた児童の育成	算数科
21	中国分小	一人一人のよさが発揮でき、感動と喜びのある学校をつくる。 豊かな人間性を身に付けた子どもを育成する。 子ども一人一人に目を向け、あたたかい心で寄り添う教職員となる。	道徳科 外国語科 外国語活動
22	曾谷小	個性を尊重し、児童自らが主体的に学び、生活する教育を実践する。 「させられないで、する子ども」 ◎「わかる授業」◎「認め合う学級(学校)」◎「寄り添う生徒指導」	国語科
23	大町小	豊かな自然と小規模校の特色を生かし、地域社会と連携した教育活動の展開を図る ～小さな学校 大きな家族～	国語科
24	北方小	○教育・育ちについての意識を地域の皆とともに高めていく学校 —友達の考えや教材の内容と対話して、学びを主体的に進められる子の育成—	国語科
25	新浜小	○学校職員、子ども、保護者、地域の方の笑顔があふれる学校をつくる。 ・「かしこく」は正しく判断し行動することを大切にする。 ・「すこやかに」は健康で、よりよく生きようとする活力を持つことを大切にする。	算数科
26	百合台小	人と関わる力を育てる教育活動を推進する	算数科
27	富美浜小	学力・体力の基礎を培い、共に成長しあう豊かな関係を築く中で、確かな自己実現をめざす児童の育成	算数科
28	柏井小	豊かな体験を中心に、進んで学び、人や自然にやさしく体(命)を大切に する子どもを育成する	国語科
29	大洲小	信頼される社会に開かれた学校 (1)子どもたちが学ぶ楽しさや触れ合う喜びを感じる学校 (2)教職員が協働で学校づくりに参画し、やりがいと誇りを感じる学校 (PDCA サイクルの運用) (3)保護者・地域から信頼され、地域の教育力を学校の教育活動に生かす ことのできる学校	国語科
30	幸小	他人を思いやる優しい心を持ち、自ら学び自ら考え、心身ともに健康でたく ましい児童の育成	算数科
31	新井小	新井小ブランド力で、子供たちが新井小で学んでよかった、と実感できる学 校を目指して・・・ 「チーム新井」で！	社会科 理科 生活科
32	南新浜小	教師として必要な基礎基本を大前提として、子供達の思考力、判断力、表現 力を育成する。	算数科
33	大野小	すべての子どもたちが幸せを実感できる学校【3つの柱】 ○子どもに自信を持たせること ○子どもの居場所を作ること ○「人のため」を大切にすること	算数科
34	塩焼小	共に学ぶ、共に育つ、共に感動する (これからの社会に必要な人材を育む学校づくり)	国語科 算数科
35	稲越小	・学ぶ意欲の向上、「基礎・基本」の充実 ・子供にとって心身共に安全な学校づくり ・学校を開き、学校・家庭・地域の行動連携を活性化する。 ・教職員一人一人が高い志を持ち、組織力を高める。	算数科
36	大和田小	自ら学び、伝え合い、学び合う児童の育成を目指して	国語科
37	福栄小	変化の激しい21世紀をたくましく生き抜いていく『サファリな子』の育成	主体的・対話 的で深い学び の追究
38	妙典小	自分の考えを明確に持ち、主体的に学ぶ子の育成	国語科 総合的な学習 の時間

2 中学校

No.	学校名	推進テーマ	研究教科等
1	第一中	自ら学び、自ら考え、心豊かな生徒の育成 ～生徒・教師が生き生きと活動する学校づくりに向けて～	各教科・領域
2	第二中	「生徒が主役の学校」皆で高みを目指す。 生徒の主体的・対話的で深い学びを支援し、教育活動全体を通じて「生きる力」を育む。	全教科
3	第三中	「将来大人として社会で立派に通用する人間の育成」	全教科
4	第四中	ユニバーサルデザインの視点を生かした教育活動を展開し、「人間性豊かな生徒」の育成を目指す。	理科 (理科研修センター校)
5	第五中	「自ら学び、行動する生徒の育成」 ～生徒と教師の温かな人間関係を基に～	全教科・領域
6	第六中	子どもにとって理想の学校づくり ・生徒理解 ・研究研修に努め和のある職員 ・あたたかな人間関係	全教科
7	第七中	「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の在り方を探る」 ～伝える力・継続的に学ぶ力・人間力の向上を目指して～	全教科・領域 学校図書館活用
8	第八中	「主役の生徒たちが生き生きと学ぶ学校」 ～「確かな学力」を培い、一人一人の良さを引き出し生かす授業を目指して～	全教科
9	下貝塚中	豊かな心を持ち、主体的に学び、考える力を育む	全教科・領域
10	高谷中	・心の教育、道徳教育の推進 ・学力向上を目指す生徒、支える教師集団 ・連携の促進、保護者、地域との共育 協育	全教科・領域
11	福栄中	基礎・基本の定着を図り、わかる授業の実践と豊かな心を育む教育の推進	全教科
12	東国分中	知・徳・体の調和のとれた生徒 ～チーム東国分～	各教科
13	大洲中	主体的・協働的に学習に取り組み、自ら考える生徒の育成 ～わかる・できる授業、深い学びのある授業を作っていこう～	各教科・領域
14	南行徳中	「あたりまえのことがきちんとできる学校」と「授業改善を推進する学校」に重点をおいて	全教科・領域
15	妙典中	学ぶ楽しさを知り、学び続ける生徒の育成 「わかった」「できた」と生徒が実感できるための指導の工夫 生涯学習を意識した指導の工夫	全教科・領域

3 義務教育学校

No.	学校名	推進テーマ	研究教科等
1	塩浜学園	小中一貫教育の充実 コミュニティ・スクールの推進 小規模校によるきめ細かな教育の推進	塩浜ふるさと 防災科 各教科・領域

4 特別支援学校

No.	学校名	推進テーマ	研究教科等
1	須和田の丘支援	一人一人の良さを大事にし、一人一人が力を発揮できる学校づくり 地域の人たちに、もっと学校のことを知ってもらおう	小学部：生活 中学部：職業、 家庭 高等部：職業、 家庭

5 幼稚園

No.	園名	推進テーマ	研究教科等
1	信篤幼	一人一人が育ち人とつながるために ～『評価』から教師の援助の方向性を探る～	保育全般
2	大洲幼	「元気な子」－心身ともに健やかな体を育む－ 「あたたかな子」－思いやりのある豊かな心を育む－ 「考える子」－環境に意欲的にかかわる確かな学力を育む－	保育全般
3	南行徳幼	主体的に行動する幼児を育てるための教師の援助を考える ～幼児の遊びの読み取りをとおして～	保育全般
4	百合台幼	一人一人の子どもの育ちをつなぐ園生活を考える ～主体的・対話的な学びを促す環境や援助のあり方～	幼児教育
5	新浜幼	やってみる！やりとげる！幼児の育成をめざした保育を考える ～明日の保育につながる遊びの読み取りを通して～	保育全般
6	塩焼幼	一人一人が夢中になって遊ぶための教師の援助を探る ～明日の保育につながる振り返りを通して～	保育全般

Ⅱ-2 令和元年度 研究指定校一覧

令和元年9月30日現在

No.	学校名	指定の種別 文部科学省 県・市町村等	新規 又は 継続	指定 開始 年度	指定 終了 年度	教科・領域等	研究主題等	今年度 公開の 有無	公開期日
1	市川市立第七中学校	文部科学省	継続	30	1	図書館教育	各教科等のねらいを達成するために学校図書館を活用し、指導する具体的な方法の研究	有	9月～12月 を予定
2	市川市立下貝塚中学校	県	新規	1	2	道德教育	特色ある道德教育推進校	無	
3	市川市立二俣小学校	他	継続	30	1	金融教育	金融教育研究校	無	
4	市川市立菅野小学校	市	継続	30	1	福祉教育	福祉教育推進校	無	
5	市川市立百合台小学校	市	継続	30	1	福祉教育	福祉教育推進校	無	
6	市川市立大洲中学校	市	継続	30	1	福祉教育	福祉教育推進校	無	
7	市川市立福栄中学校	市	継続	30	1	福祉教育	福祉教育推進校	無	
8	市川市立中山小学校	市	継続	1	1	理科・生活科	市川市理科研修センター校（理科・生活科）	有	11月21日
9	市川市立第四中学校	市	継続	1	1	理科	市川市理科研修センター校	有	10月30日
10	市川市立高谷中学校	市	継続	27	2	人間力	市川市中高連携推進研究（人間力）	無	
11	市川市立第一中学校	市	継続	27	2	学力向上	市川市中高連携推進研究（学力向上）	無	
12	市川市立第八中学校	市	継続	27	2	キャリア教育	市川市中高連携推進研究（キャリア教育）	無	
13	市川市立新浜小学校	市	継続	30	2	幼小連携	幼小連携推進モデル園・校	無	
14	市川市立新浜幼稚園	市	継続	30	2	幼小連携	幼小連携推進モデル園・校	無	
15	市川市立塩焼小学校	市	継続	30	2	幼小連携	幼小連携推進モデル園・校	無	
16	市川市立塩焼幼稚園	市	継続	30	2	幼小連携	幼小連携推進モデル園・校	無	
17	市川市立市川小学校	市	継続	1	1	ヘルシースクール 推進校	ヘルシースクール推進校（体力づくり）	無	
18	市川市立八幡小学校	市	新規	1	1	ヘルシースクール 推進校	ヘルシースクール推進校（食に関する指導の充実）	無	
19	市川市立国分小学校	市	継続	1	1	ヘルシースクール 推進校	ヘルシースクール推進校（体力づくり、望ましい生活リズムの確立）	無	
20	市川市立鬼高小学校	市	新規	1	1	ヘルシースクール 推進校	ヘルシースクール推進校（体力づくり）	無	
21	市川市立行徳小学校	市	継続	1	1	ヘルシースクール 推進校	ヘルシースクール推進校（体力づくり）	無	
22	市川市立鶴指小学校	市	継続	1	1	ヘルシースクール 推進校	ヘルシースクール推進校（体力づくり、食に関する指導の充実）	無	
23	市川市立二俣小学校	市	継続	1	1	ヘルシースクール 推進校	ヘルシースクール推進校（体力づくり）	無	
24	市川市立中国分小学校	市	継続	1	1	ヘルシースクール 推進校	ヘルシースクール推進校（体力づくり）	無	
25	市川市立曾谷小学校	市	継続	1	1	ヘルシースクール 推進校	ヘルシースクール推進校（食に関する指導の充実）	無	
26	市川市立北方小学校	市	継続	1	1	ヘルシースクール 推進校	ヘルシースクール推進校（体力づくり、望ましい生活リズムの確立）	無	
27	市川市立富美浜小学校	市	継続	1	1	ヘルシースクール 推進校	ヘルシースクール推進校（体力づくり、食に関する指導の充実）	無	
28	市川市立塩焼小学校	市	継続	1	1	ヘルシースクール 推進校	ヘルシースクール推進校（体力づくり）	無	
29	市川市立大和田小学校	市	継続	1	1	ヘルシースクール 推進校	ヘルシースクール推進校（体力づくり、望ましい生活リズムの確立）	無	
30	市川市立第六中学校	市	継続	1	1	ヘルシースクール 推進校	ヘルシースクール推進校（体力づくり、望ましい生活リズムの確立）	無	

No.	学校名	指定の種別 文部科学省 県・市町村等	新規 又は 継続	指定 開始 年度	指定 終了 年度	教科・領域等	研究主題等	今年度 公開の 有無	公開期日
31	市川市立塩浜学園	市	継続	1	1	ヘルシースクール 推進校	ヘルシースクール推進校（望ましい生活リズムの確立）	無	
32	市川市立大洲幼稚園	市	新規	1	1	ヘルシースクール 推進校	ヘルシースクール推進校（体力づくり）	無	
33	市川市立市川小学校	市	新規	1	2	国語科	学力向上推進校（国語科）	有	11月26日
34	市川市立真間小学校	市	新規	1	2	国語科	学力向上推進校（国語科）	有	6月21日 9月20日 11月1日 11月29日 12月13日 1月24日
35	市川市立中山小学校	市	新規	1	2	理科・生活科	学力向上推進校（理科・生活科）	有	11月21日
36	市川市立宮田小学校	市	新規	1	2	特別活動・学級活動	学力向上推進校（特別活動・学級活動）	有	10月30日
37	市川市立南行徳小学校	市	新規	1	2	国語科	学力向上推進校（国語科）	有	9月5日
38	市川市立新井小学校	市	新規	1	2	社会科・理科 生活科	学力向上推進校（社会科・理科・生活科）	有	6月5日 9月30日 11月11日
39	市川市立塩焼小学校	市	新規	1	2	国語科・算数科	学力向上推進校（国語科・算数科）	有	12月4日
40	市川市立妙典小学校	市	新規	1	2	国語科 ・総合的な学習の時間	学力向上推進校（国語科・総合的な学習の時間）	有	1月31日
41	市川市立第四中学校	市	新規	1	2	全教科・領域	学力向上推進校（全教科・領域）	有	9月6日
42	市川市立第七中学校	市	新規	1	2	全教科・領域	学力向上推進校（全教科・領域）	有	9月25日
43	市川市立下貝塚中学校	市	新規	1	2	全教科・領域	学力向上推進校（全教科・領域）	有	9月27日
44	市川市立大洲幼稚園	市	新規	1	2	保育全般	学力向上推進校（保育全般）	無	
45	市川市立富貴島小学校	市	継続	30	1	国語科	学力向上推進校（国語科）	有	11月29日
46	市川市立平田小学校	市	継続	30	1	国語科	学力向上推進校（国語科）	有	11月28日
47	市川市立鶴指小学校	市	継続	30	1	国語科・算数科	学力向上推進校（国語科・算数科）	有	12月6日
48	市川市立幸小学校	市	継続	30	1	算数科	学力向上推進校（算数科）	有	11月26日
49	市川市立第一中学校	市	継続	30	1	全教科・道徳	学力向上推進校（全教科・道徳）	有	11月6日
50	市川市立第二中学校	市	継続	30	1	全教科・領域	学力向上推進校（全教科・領域）	有	9月12日
51	市川市立信篤幼稚園	市	継続	30	1	保育全般	学力向上推進校（保育全般）	有	10月30日

Ⅱ－３ 地域の教育力の活用事例（平成３０年度）

学校名	各校の代表的な活用事例
市川小	４年生国語科 「落語教室」～本物の落語家さんと笑顔いっぱいの体験活動～
真間小	４年生 総合学習 「車椅子白杖体験」 高齢者や障がい者のサポートの方から話を伺い、誰もが住みやすい街について考える。
中山小	全校 道徳科 「全校ふれあい道徳」 地域の先生
八幡小	全校 道徳科 「全校道徳」 地域支援者
国分小	３年生社会科・総合学習 梨園体験～地域の梨農家さんとともに～
大柏小	５年生 「米づくり」 地域の農家の方々
宮田小	「学習支援ボランティア」 保護者による多岐にわたる学習活動支援
富貴島小	５年生 「米作り体験」 米作農家の方から技術を学ぶ
若宮小	全校 「若宮っ子体験学習」 地域の教育力を結集し、児童に感動を与える
国府台小	全学年 特別活動 デイサービスセンターとの交流における高齢者の方との活動
平田小	３年生 図画工作 「のこぎりの使い方教室」 市川工業高校の学生との活動
鬼高小	５年生 音楽科 「お箏教室」 箏の師範による体験学習
菅野小	２年生 生活科 「町探検」 地域に根差した施設を訪問し、人々と交流する。
行徳小	全校 「行徳っ子祭り」 ２００人近くのボランティアの方々と、行徳の伝統文化である神輿を担ぐ
信篤小	全学年 わくわく農園活動～地域支援者ととともに～
稲荷木小	全学年 「わんぱく稲荷木フェスティバル」 「カフェ稲荷木」では、地域のお年寄りとの交流活動が行われた。
南行徳小	１年生 生活科 「ふれあい交流会」 地域のお年寄りの方々に昔遊びを教わりながら交流を深める活動。
鶴指小	特別支援学級 「バルーンアート教室」 地域の方を講師として招き、体験学習。
宮久保小	４年生 国語科 「落語教室」 落語家を招いて、体験学習。
二俣小	全校 算数科 「チャレンジタイム」 児童の問題演習時、指導の支援を行う。
中国分小	１年生 生活科 昔遊び体験 地域の方々を多数招き、子どもたちの技を披露する。
曾谷小	５年生 総合学習 稲作指導 地域支援者による校内にあるミニ水田での指導。
大町小	１・２年生 道徳科 「収穫感謝祭」 高齢者の方々との交流。

学校名	各校の代表的な活用事例
北方小	6年生 キャリア教育 地域支援者3人による講和と体験学習。
新浜小	6年生 キャリア教育 「わたしの未来」 グループごとに様々な職業の方にインタビューを行い、将来に向けて必要な力について考えた。
百合台小	全校 「体験学習の日」 地域の方々や専門の知識をもった方々を招いて、体験活動をする。
富美浜小	6年生 国語科・社会科 「被爆者体験講話」 広島で被爆された方のお話を聞き、戦争について考える。
柏井小	全学年 国語科 読み聞かせ活動 読み聞かせや人形劇の披露。
大洲小	5年生 音楽科 「お琴教室」～「さくらさくら」を習って演奏しよう～
幸小	1年生の昔遊び体験～地域のお年寄りの方共に～
新井小	地域の方々とともに「昔遊びに挑戦」 未来に向かって「働くって何だろう」
南新浜小	1年生の昔遊び体験 地域の方々に支援していただき、昔遊びを学ぶ。
大野小	稲作作り～「緑のみずがき隊」の皆さんと～
塩焼小	3～6年生「席書会」～学校・保護者・地域との連携～
稲越小	3年生社会科、総合的な学習の時間における「梨づくり」
大和田小	勤労観・職業観を育むキャリア教育「夢に向かってはばたけ」
福栄小	地域の方々に朝会にご招待～地域で育つ福栄っ子たちだからこそ～
妙典小	4年生 総合学習 「花道（花育）を通して日本の伝統を学ぶ
一中	地域の方から学ぼう「一中フェスタ」
二中	地域学校協働活動推進員と連携したキャリア教育の推進「職業体験」「職場体験」
三中	体験活動を通じた、自主性や郷土意識の育成「全校道徳」「地域交流」
四中	地域支援者と人権問題を考える「学校支援実践講座」
五中	柔道の授業を通して学ぶ～「礼儀・日本の伝統・体を調整する」を地域の方と共に～
六中	思いやりの心を育てる「学習支援実践講座」
七中	職業講演会「キャリア教育～地域の教育力を活かして～」
八中	福祉教育～地域の教育力を生かして～「福祉体験学習」
下貝塚中	地域の方々の専門性を活用した学習「薬の授業」
高谷中	多角的な教育活動の実践～地域の方々の力を借りて～「花いっぱい活動」

学校名	各校の代表的な活用事例
福栄中	地域の方々の専門性を生かした活動「職業人に学ぶ」
東国分中	ふれあい広場（体験学習）「アートフラワー」 地域事業所における「職業体験」
大洲中	日本の伝統芸能に触れる「生け花教室」
南行徳中	1年生 「民話に触れる集会」 市川や行徳にまつわる話を地域の方に聴く。
妙典中	「キャリア教育セミナー」～自らの進路を選択できる生徒に～
塩浜学園	(小) 3年生 社会科 「昔の生活」について学ぼう 地域のお年寄りの方々との交流活動。
須和田の丘支援	小学部 「クラシックで音楽鑑賞会」 地域支援者の方を招き、演奏を実施し、音を楽しむ。

Ⅱ-4 市内公立中学校全卒業者の状況

1 進路内訳

(平成31年3月31日現在)

区分	卒業生総数	高校進学者数	純就職	各種学校 訓練校等	その他 自営家事等
男(人)	1,742	1,726	3	2	11
女(人)	1,592	1,575	0	2	15
計(人)	3,334	3,301	3	4	26
率(%)	100	99.0	0.1	0.1	0.8

2 高校進学内訳

区分	高校 進学者数	国・公立高校進学者数					私立高校進学者数			
		全日制				定時 通信制	全日制			定時 通信制
		高専	県内	県外	小計		県内	県外	小計	
男(人)	1,726	9	1,034	7	1050	36	382	192	574	66
女(人)	1,575	2	960	15	977	32	287	221	508	58
計(人)	3,301	11	1,994	22	2,027	68	669	413	1,082	124
率(%)	100	0.3	60.4	0.7	61.4	2.1	20.3	12.5	32.8	3.8

3 高校進学者の推移

卒業 年度	卒業生 総人数 (人)	高校進学者			全日制 進学率 (%)	定時 通信制 進学率 (%)	高校 進学率 (%)
		全日制 (人)	定時 通信制 (人)	合計 (人)			
21	2,979	2,793	116	2,909	93.8%	3.9%	97.7%
22	2,693	2,543	49	2,592	94.4%	1.8%	96.2%
23	2,786	2,606	69	2,675	93.5%	2.5%	96.0%
24	3,053	2,911	72	2,983	95.3%	2.4%	97.7%
25	3,099	2,984	71	3,055	96.3%	2.3%	98.6%
26	3,271	3,110	122	3,232	95.1%	3.7%	98.8%
27	3,392	3,225	122	3,347	95.1%	3.6%	98.7%
28	3,336	3,162	140	3,302	94.8%	4.2%	99.0%
29	3,324	3,136	151	3,287	94.3%	4.5%	98.9%
30	3,334	3,109	192	3,301	93.3%	5.8%	99.0%

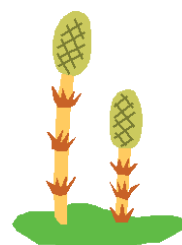
Ⅱ－5 平成30年度 児童生徒の体位・体力

※平成12年度の欄は新体力テストが導入された年度の翌年度のデータである。

(1) 学年別体位平均(小学校)

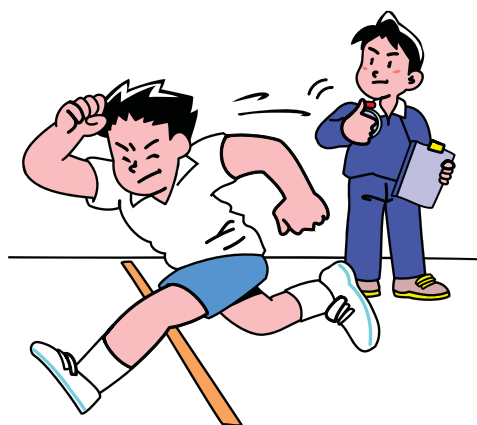
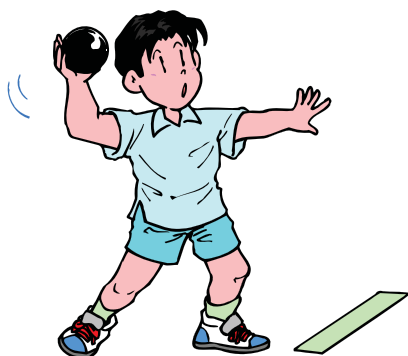
種別	年度	学年 性	1		2		3	
			男	女	男	女	男	女
身長 (cm)	29	全国	116.5	115.7	122.5	121.5	128.2	127.3
	29	千葉県	116.8	116.0	122.9	121.7	128.3	127.6
	30	市川市	116.8	116.1	122.9	121.7	128.8	127.9
	12	市川市	116.8	115.9	122.8	121.6	128.2	127.6
体重 (kg)	29	全国	21.4	21.0	24.1	23.5	27.2	26.4
	29	千葉県	21.4	21.1	24.3	23.6	27.2	26.8
	30	市川市	21.3	20.9	23.9	23.4	27.2	26.6
	12	市川市	21.5	21.2	24.5	23.5	27.6	27.0

種別	年度	学年 性	4		5		6	
			男	女	男	女	男	女
身長 (cm)	29	全国	133.5	133.4	139.0	140.1	145.0	146.7
	29	千葉県	134.1	133.9	139.2	140.4	145.4	146.6
	30	市川市	134.1	133.9	139.7	140.1	145.6	147.3
	12	市川市	133.8	133.8	139.4	140.1	145.1	147.0
体重 (kg)	29	全国	30.5	29.9	34.2	34.0	38.2	39.0
	29	千葉県	31.0	29.9	34.0	33.9	38.5	38.9
	30	市川市	30.7	29.8	34.2	33.6	38.5	38.5
	12	市川市	31.2	30.8	35.2	34.5	39.3	39.7



(2) 学年別体位平均(中学校)

種別	年度	学年 性	1		2		3	
			男	女	男	女	男	女
身長 (cm)	29	全国	152.8	151.8	160.0	154.9	165.3	156.5
	29	千葉県	152.9	152.2	159.5	155.0	165.4	156.8
	30	市川市	153.1	152.7	160.1	155.1	165.7	156.7
	12	市川市	153.1	152.3	160.0	155.5	165.8	157.2
体重 (kg)	29	全国	44.0	43.6	49.0	47.2	53.9	50.0
	29	千葉県	44.0	43.4	48.2	47.3	54.2	50.1
	30	市川市	44.1	43.6	48.1	46.4	53.6	49.1
	12	市川市	45.2	44.6	50.1	48.4	55.4	50.5



(3) 学年別体力平均(小学校1年から3年)

種別	年度	学年 性	1		2		3	
			男	女	男	女	男	女
握力 (kg)	29	全国	9.36	8.79	11.10	10.42	13.08	12.31
	30	千葉県	9.71	9.20	11.49	10.75	13.25	12.38
	30	市川市	9.04	8.55	10.86	10.06	12.88	11.95
	12	市川市	8.84	8.11	10.93	10.02	12.65	11.82
上体起こし (回)	29	全国	11.54	11.29	14.42	13.78	16.68	15.90
	30	千葉県	12.64	12.38	15.42	14.44	17.23	16.37
	30	市川市	11.17	10.69	14.21	13.77	16.70	15.81
	12	市川市	10.37	9.48	12.29	11.67	14.75	13.54
長座体前屈 (cm)	29	全国	26.18	28.15	27.82	30.68	29.48	32.65
	30	千葉県	26.70	29.40	28.83	31.60	30.44	33.96
	30	市川市	24.94	27.58	26.91	29.95	29.31	33.16
	12	市川市	25.94	27.96	26.92	29.00	29.49	32.28
反復横とび (点)	29	全国	27.94	26.98	32.70	31.26	36.45	34.55
	30	千葉県	28.70	27.64	33.08	31.40	36.60	34.90
	30	市川市	26.56	25.68	29.92	28.74	34.12	32.09
	12	市川市	25.42	24.35	29.18	27.86	33.33	31.64
20mシャトルラン (回)	29	全国	18.64	15.80	29.77	23.05	38.49	29.17
	30	千葉県	21.87	17.62	31.90	24.02	38.72	28.63
	30	市川市	18.62	15.77	28.37	22.30	34.83	25.77
	12	市川市	15.07	13.16	23.56	19.22	32.15	24.66
50m走 (秒)	29	全国	11.44	11.77	10.61	10.94	10.02	10.35
	30	千葉県	11.10	11.38	10.39	10.75	9.92	10.30
	30	市川市	11.63	11.90	10.66	11.06	10.16	10.48
	12	市川市	12.01	12.24	11.05	11.25	10.40	10.60
立ち幅跳び (cm)	29	全国	114.92	107.99	127.37	120.55	135.63	129.47
	30	千葉県	119.39	111.85	129.74	121.13	139.09	130.83
	30	市川市	112.56	104.78	124.20	114.79	134.99	125.89
	12	市川市	114.04	104.31	123.55	114.37	137.31	128.42
ソフトボール投げ (m)	29	全国	8.62	5.80	12.36	7.71	15.94	9.94
	30	千葉県	9.13	6.33	12.38	8.19	15.75	10.12
	30	市川市	7.75	5.45	11.11	7.25	14.36	8.98
	12	市川市	8.50	5.42	12.03	7.26	16.13	9.67

(4) 学年別体力平均(小学校4年から6年)

種別	年度	学年 性	4		5		6	
			男	女	男	女	男	女
握力 (kg)	29	全国	14.90	14.13	16.90	16.71	20.02	19.58
	30	千葉県	15.05	14.47	17.57	17.23	20.96	20.32
	30	市川市	15.00	14.29	16.95	16.22	20.03	19.86
	12	市川市	14.90	13.77	17.30	16.29	20.68	19.76
上体起こし (回)	29	全国	18.53	17.89	20.72	19.35	22.05	20.44
	30	千葉県	19.50	18.48	21.82	20.90	23.70	22.18
	30	市川市	18.19	17.65	20.23	19.49	22.52	21.30
	12	市川市	16.38	15.09	18.31	16.87	20.71	18.40
長座体前屈 (cm)	29	全国	31.23	35.25	33.62	37.90	35.43	39.96
	30	千葉県	32.52	36.59	36.04	40.22	39.23	43.24
	30	市川市	30.22	34.37	33.06	37.38	37.43	42.47
	12	市川市	32.36	34.59	34.49	36.70	36.36	39.52
反復横とび (点)	29	全国	40.28	38.57	43.94	41.40	46.98	44.35
	30	千葉県	40.98	38.90	45.16	43.19	47.94	45.23
	30	市川市	37.49	35.94	41.73	40.11	45.43	43.63
	12	市川市	37.12	34.98	40.27	38.04	43.71	41.03
20mシャトルラン (回)	29	全国	48.64	37.55	56.85	45.54	64.48	50.94
	30	千葉県	48.34	37.78	57.90	47.51	65.73	52.49
	30	市川市	43.13	33.78	52.55	42.10	59.51	48.79
	12	市川市	38.34	28.87	45.92	36.39	55.48	43.43
50m走 (秒)	29	全国	9.55	9.88	9.19	9.45	8.79	9.12
	30	千葉県	9.45	9.76	9.08	9.32	8.64	8.96
	30	市川市	9.74	10.00	9.41	9.68	8.98	9.20
	12	市川市	9.92	10.16	9.55	9.77	9.03	9.32
立ち幅跳び (cm)	29	全国	146.55	139.84	155.43	147.45	165.19	156.68
	30	千葉県	148.87	142.40	159.87	153.84	173.23	161.87
	30	市川市	141.57	135.08	151.89	144.75	161.64	155.71
	12	市川市	145.88	137.57	155.07	146.26	165.72	155.62
ソフトボール投げ (m)	29	全国	20.02	19.90	23.51	14.40	26.81	16.33
	30	千葉県	19.21	12.12	22.62	14.26	26.26	16.10
	30	市川市	17.63	11.09	21.07	12.94	23.98	15.00
	12	市川市	20.16	11.55	23.56	13.87	28.10	16.09

(5) 学年別体力平均(中学校)

種別	年度	学年 性	1		2		3	
			男	女	男	女	男	女
握力 (kg)	29	全国	24.07	21.71	29.75	24.22	34.90	25.59
	30	千葉県	23.31	21.50	29.00	24.09	34.05	25.82
	30	市川市	22.52	21.62	28.28	23.83	33.43	25.60
	12	市川市	25.27	22.49	31.40	25.04	37.12	26.71
上体起こし (回)	29	全国	24.64	21.29	28.08	23.96	30.44	25.03
	30	千葉県	24.74	22.39	28.08	25.17	30.52	26.63
	30	市川市	23.52	21.84	27.55	24.47	30.13	25.40
	12	市川市	22.77	18.27	25.50	20.04	27.78	20.66
長座体前屈 (cm)	29	全国	39.70	42.87	43.95	46.25	47.73	48.15
	30	千葉県	41.48	45.83	46.26	48.36	50.95	52.17
	30	市川市	42.23	46.44	46.25	48.96	50.99	50.67
	12	市川市	41.97	44.17	46.94	47.31	49.59	49.41
反復横とび (て)	29	全国	49.96	45.95	53.45	47.73	55.92	48.56
	30	千葉県	49.46	46.33	53.24	47.88	55.82	49.05
	30	市川市	48.26	45.38	52.47	47.11	54.93	47.95
	12	市川市	45.83	41.72	48.39	42.28	51.22	42.81
20mシャトルラン (回)	29	全国	72.11	53.12	89.93	61.52	96.64	61.19
	30	千葉県	70.18	54.59	88.90	63.09	95.08	63.50
	30	市川市	68.06	51.28	87.38	61.04	95.66	63.24
	12	市川市	62.95	44.91	77.64	51.28	85.23	52.81
50m走 (秒)	29	全国	8.42	8.93	7.80	8.66	7.44	8.58
	30	千葉県	8.45	8.92	7.81	8.60	7.40	8.49
	30	市川市	8.62	9.01	7.90	8.69	7.48	8.61
	12	市川市	8.72	9.24	8.11	8.97	7.71	8.92
立ち幅跳び (cm)	29	全国	181.24	166.19	199.64	172.06	212.56	173.83
	30	千葉県	179.91	165.69	198.32	172.66	213.47	177.51
	30	市川市	173.64	162.67	193.77	171.36	208.82	172.65
	12	市川市	180.40	162.85	197.75	169.15	215.02	173.29
ハンドボール投げ (m)	29	全国	18.29	12.16	21.29	13.35	23.82	14.43
	30	千葉県	17.05	11.33	20.13	12.98	22.81	14.18
	30	市川市	16.38	10.76	19.41	12.19	22.20	13.34
	12	市川市	18.65	11.94	21.63	13.56	24.18	14.13

Ⅱ-6 平成30年度 学校管理下における災害発生状況

スポーツ振興センター
災害共済給付制度申請状況より

(1) 学年別発生状況 (単位：人)

区分	学年	男子	女子	合計	比率
小学校	1年	84	64	148	12.2
	2年	100	65	165	13.6
	3年	98	73	171	14.1
	4年	146	83	229	18.9
	5年	163	95	258	21.3
	6年	135	103	238	19.6
	小計	726	483	1,209	100.0
中学校	1年	183	137	320	36.5
	2年	218	146	364	41.6
	3年	109	83	192	21.9
	小計	510	366	876	100.0
特別支援学校	小学	0	0	0	0.0
	中学	0	0	0	0.0
	高等	2	0	2	100.0
	小計	2	0	2	100.0
幼稚園	年小	6	3	9	45.0
	年長	5	6	11	55.0
	小計	11	9	20	100.0
総合計	1,249	858	2,107	100.0	

(2) 災害の種類別発生状況 (単位：人)

区分	種類	人数	比率	区分	種類	人数	比率
小学校	死亡	0	0.0	幼稚園	死亡	0	0.0
	骨折	274	19.1		骨折	0	0.0
	捻挫	303	21.1		捻挫	4	18.2
	脱臼	23	1.5		脱臼	0	0.0
	打撲	254	17.7		打撲	5	22.7
	挫傷	241	16.8		挫傷	3	13.6
	切傷	28	2.0		切傷	2	9.2
	裂傷	25	1.7		裂傷	2	9.1
	その他	286	19.9		その他	6	27.3
	小計	1,434	100.0		小計	22	100.0
中学校	死亡	0	0.0	総合計	死亡	0	0.0
	骨折	239	24.2		骨折	514	21.1
	捻挫	278	28.1		捻挫	585	23.9
	脱臼	11	1.1		脱臼	34	1.4
	打撲	145	14.7		打撲	404	16.5
	挫傷	138	14.0		挫傷	383	15.7
	切傷	8	0.8		切傷	38	1.6
	裂傷	7	0.7		裂傷	34	1.4
	その他	163	16.5		その他	455	18.6
	小計	989	100.0		小計	2,447	100.0
特別支援学校	死亡	0	0.0				
	骨折	1	50.0				
	捻挫	0	0.0				
	脱臼	0	0.0				
	打撲	0	0.0				
	挫傷	1	50.0				
	切傷	0	0.0				
	裂傷	0	0.0				
	その他	0	0.0				
小計	2	100.0					

II-7 学校給食の実施状況

(平成31年4月1日現在)

学校番号	学校名	給食型	給食費(月額)円	調理方式	給食室面積(m ²)	開設年月	備考
1	市川小	完全A型	4,351	調理等業務委託方式	195	S38. 1	
2	真間小	〃	〃	直営方式	250	S32. 10	
3	中山小	〃	〃	調理等業務委託方式	254	S36. 5	
4	八幡小	〃	〃	調理等業務委託方式	263	S34. 11	
5	国分小	〃	〃	調理等業務委託方式	729	S36. 2	H25. 4新築
6	大柏小	〃	〃	調理等業務委託方式	324	S38. 3	
7	宮田小	〃	〃	直営方式	128	S36. 11	
8	富貴島小	〃	〃	調理等業務委託方式	290	S31. 5	
9	若宮小	〃	〃	調理等業務委託方式	291	S34. 3	
10	国府台小	〃	〃	調理等業務委託方式	336	S31. 1	
11	平田小	〃	〃	調理等業務委託方式	328	S29. 12	
12	鬼高小	〃	〃	調理等業務委託方式	302	S36. 2	
13	菅野小	〃	〃	調理等業務委託方式	302	S32. 10	
14	行徳小	〃	〃	調理等業務委託方式	317	S34. 7	
15	信篤小	〃	〃	調理等業務委託方式	319	S34. 5	
16	稲荷木小	〃	〃	調理等業務委託方式	247	S36. 3	
17	南行徳小	〃	〃	直営方式	300	S37. 3	
18	鶴指小	〃	〃	調理等業務委託方式	201	S42. 4	
19	宮久保小	〃	〃	調理等業務委託方式	277	S43. 4	
20	二俣小	〃	〃	調理等業務委託方式	316	S45. 7	
21	中国分小	〃	〃	調理等業務委託方式	252	S47. 4	
22	曾谷小	〃	〃	調理等業務委託方式	295	S48. 4	
23	大町小	〃	〃	調理等業務委託方式	277	S49. 5	
24	北方小	〃	〃	調理等業務委託方式	338	S49. 5	
25	新浜小	〃	〃	調理等業務委託方式	300	S53. 1	
26	百合台小	〃	〃	調理等業務委託方式	391	S52. 4	
27	富美浜小	〃	〃	調理等業務委託方式	300	S53. 5	
28	柏井小	〃	〃	調理等業務委託方式	300	S55. 4	
29	大洲小	〃	〃	調理等業務委託方式	330	S55. 4	
30	幸小	〃	〃	調理等業務委託方式	242	S54. 4	
31	新井小	〃	〃	調理等業務委託方式	277	S55. 4	
32	南新浜小	〃	〃	調理等業務委託方式	300	S55. 4	
33	大野小	〃	〃	調理等業務委託方式	304	S55. 5	
34	塩焼小	〃	〃	直営方式	313	S56. 4	
35	稲越小	〃	〃	調理等業務委託方式	272	S56. 4	
37	大和田小	〃	〃	調理等業務委託方式	309	S58. 3	
38	福栄小	〃	〃	調理等業務委託方式	—	S60. 4	福栄中調理場(親子方式)
39	妙典小	〃	〃	直営方式	431	H11. 4	
1	第一中	完全A型	5,609	調理等業務委託方式	—	S52. 1	国分小調理場(親子方式)
2	第二中	〃	〃	調理等業務委託方式	288	S52. 1	
3	第三中	〃	〃	調理等業務委託方式	—	S44. 5	北方小調理場(親子方式)
4	第四中	〃	〃	調理等業務委託方式	—	S44. 6	柏井小調理場(親子方式)
5	第五中	〃	〃	調理等業務委託方式	280	S39. 1	
6	第六中	〃	〃	調理等業務委託方式	—	S47. 1	大和田小調理場(親子方式)
7	第七中	〃	〃	調理等業務委託方式	476	S39. 10	H16. 9新築
8	第八中	〃	〃	調理等業務委託方式	—	S44. 6	平田小調理場(親子方式)
9	下貝塚中	〃	〃	調理等業務委託方式	300	S54. 4	
10	高谷中	〃	〃	調理等業務委託方式	—	S54. 4	二俣小調理場(親子方式)
11	福栄中	〃	〃	調理等業務委託方式	302	S54. 5	
12	東国分中	〃	〃	調理等業務委託方式	—	S55. 4	百合台小調理場(親子方式)
13	大洲中	〃	〃	調理等業務委託方式	—	S57. 4	大洲小調理場(親子方式)
15	南行徳中	〃	〃	調理等業務委託方式	299	S60. 4	
16	妙典中	〃	〃	調理等業務委託方式	370	S63. 4	
1	塩浜学園前期	完全A型	4,351	調理等業務委託方式	306	S56. 5	
2	塩浜学園後期	〃	5,609	調理等業務委託方式	—	S57. 4	塩浜学園(前期)調理場(親子方式)
1	須和田の丘小	完全A型	4,351	調理等業務委託方式	—	S56. 4	稲越小調理場で調理
2	須和田の丘中	〃	5,609	直営方式	78	S38. 2	
	須和田の丘高	〃	〃				

平成28年度より、No. 36塩浜小学校は「1 塩浜学園前期」、No. 14塩浜中学校は「2 塩浜学園後期」として掲載

Ⅲ 生涯学習関係

Ⅲ-1 社会教育施設等一覧

施設名	住所	電話	備考(延床面積㎡)
生涯学習センター (メディアパーク市川) 中央図書館 中央こども館 文学ミュージアム 教育センター 少年センター	鬼高1-1-4	(320) 3346 (320) 3337 (320) 3334 (320) 3335 (320) 3345	19,647.79
行徳図書館	末広1-1-31	(358) 9011	2,397.66
信篤図書館	高谷1-8-1	(328) 8831	912.60
南行徳図書館	相之川1-2-4	(357) 4188	364.00
市川駅南口図書館	市川南1-10-1 3F	(325) 6241	573.03
平田図書室	平田1-20-6	(321) 2243	256.00
中央公民館	八幡4-2-1	(334) 4279	602.21
鬼高公民館	鬼高2-12-23	(334) 2612	424.27
信篤公民館	高谷1-8-1	(327) 6807	1,392.91
東部公民館	本北方3-19-16	(337) 8886	2,633.23
柏井公民館	柏井町2-844	(338) 2988	630.00
大野公民館	南大野2-3-19	(339) 3400	1,073.03
若宮公民館	若宮2-15-8	(336) 7958	600.00
市川公民館	市川2-33-2	(321) 1171	1,944.41
西部公民館	中国分2-13-8	(373) 8175	2,386.47
市川駅南公民館	大洲4-18-3	(370) 3564	1,689.96
曾谷公民館	曾谷6-25-5	(372) 2871	2,783.82
行徳公民館	末広1-1-31	(356) 0763	3,142.44
本行徳公民館	本行徳12-8	(359) 1351	958.89
幸公民館	幸1-16-18	(398) 0481	693.64
南行徳公民館	相之川1-3-7	(356) 7371	1,986.80
菅野公民館	菅野3-24-2	(322) 7761	477.32
市川考古博物館	堀之内2-26-1	(373) 2202	1,513.68
市川歴史博物館	堀之内2-27-1	(373) 6351	2,001.57
市川自然博物館	大町284	(339) 0477	2,052.30
少年自然の家	大町280-4	(337) 0533	3,730.79

Ⅲ-2 史跡、文化財一覧

1 史跡の公有化

(31. 3. 31現在)

史跡名	指定年月日	指定面積	公有化面積	買収金額	買収年度
下総国分尼寺跡	昭42. 12. 27 平元. 3. 29 平14. 9. 20	6, 615. 49㎡	5, 584. 15㎡	954, 547, 463 円	昭42～44 平6～8. 10. 11. 15. 16 (10年)
姥山貝塚	昭42. 8. 17	22, 772. 81㎡	22, 772. 81㎡	231, 664, 810 円	昭43～48(6年)
堀之内貝塚	昭39. 7. 6 昭42. 6. 22 昭47. 2. 3	26, 789. 85㎡	25, 738. 62㎡	422, 319, 947 円	昭45～48(4年)
下総国分寺跡 附北下瓦窯跡	昭42. 12. 27 平14. 9. 20 平22. 8. 5	21, 336. 85㎡	4, 343. 99㎡	916, 578, 266 円	昭48. 平15. 16. 17. 23 (5年)
曾谷貝塚	昭54. 12. 22 平21. 7. 23 平28. 3. 1	50, 216. 87㎡	36, 779. 79㎡	6, 029, 584, 218 円	昭54～平17. 19～ 22. 24～30 (39年)
計		127, 731. 87㎡	95, 219. 36㎡	8, 554, 694, 704 円	

() 内は、通算年

2 史跡の整備

(31. 3. 31現在)

史跡名	環境整備	備考
堀之内貝塚	昭和48～51、53、55、56、平成4、5、27年度 擁壁等崖地整備、巡回路、フェンス、張芝、植樹、ベンチ、説明板等 総事業費 55, 858, 190 円	49～51、56年度 国庫補助事業 32, 290, 000 円
姥山貝塚	昭和44、46、48、49、52～58年度、平成元、30年度 擁壁等崖地整備、フェンス、張芝、四阿、丸太ベンチ、説明板 標識、案内板、照明灯、園路、正門、通用門、くずかご、吸殻入れ 車止、植栽等 総事業費 187, 739, 550円	52～58年度 国庫補助事業 127, 500, 000 円
下総国分寺跡 附北下瓦窯跡	昭和50、51年度、平成18、30年度 公有地分整備、盛土、整地、張芝、パーゴラ、ベンチ、管理柵、車止 標識、照明灯等 総事業費 8, 248, 560 円	現状変更により整備
下総国分尼寺跡	昭和43、44、50、52年度 平成12、13年度 整地、張芝、植樹、ベンチ、管理柵、園路等 総事業費 18, 091, 000 円	現状変更により整備
曾谷貝塚	昭和56～平成15、17、27～30年度 管理柵、看板、張芝、説明板、ベンチ等 総事業費 43, 625, 299 円	現状変更により整備
計	313, 562, 599 円	

3 市内指定文化財数

(31. 3. 31現在)

種別 区分	有形文化財						天然記念物		史跡	民俗 文化財	無形 文化財	計
	絵画	彫刻	工芸	書跡	建造物	考古・歴史資料	昆虫	植物				
国指定	2		1	3	4			1	5			16
県指定	2	1	1						1		1	6
市指定		3	1	1	16	2	2	3	4	3		35
計	4	4	3	4	20	2	2	4	10	3	1	57

4 指定文化財一覧

(1) 国指定

番号	種別	名称	員数	所在地又は伝承地	所有者又は管理者	指定年月日	備考
1	国宝 (書跡)	立正安国論	1巻	中山2丁目10-1	法華経寺	昭和27年3月29日	
2	国宝 (書跡)	観心本尊抄 附添状・春日山蒔絵筥	1帖 1巻、1合	中山2丁目10-1	法華経寺	昭和27年3月29日	
3	重要文化財 (建造物)	法華経寺五重塔	1基	中山2丁目10-1	法華経寺	大正5年5月24日	
4	重要文化財 (建造物)	法華経寺法華堂 附棟札	1棟 5枚	中山2丁目10-1	法華経寺	大正5年5月24日 昭和60年5月18日	
5	重要文化財 (建造物)	法華経寺四足門	1棟	中山2丁目10-1	法華経寺	大正5年5月24日 昭和30年6月22日	
6	重要文化財 (建造物)	法華経寺祖師堂 附棟札	1棟 11枚	中山2丁目10-1	法華経寺	昭和60年5月18日	
7	重要文化財 (絵画)	絹本着色十六羅漢像	1双	中山2丁目10-1	法華経寺	明治37年2月18日	
8	重要文化財 (絵画)	絹本着色日蓮聖人像	1幅	中山3丁目10-4	浄光院	昭和27年7月19日	
9	重要文化財 (工芸)	刀(無銘伝兼永)	1口		個人所有	昭和30年2月2日	
10	重要文化財 (書跡)	日蓮自筆遺文 附蒔絵聖教箱	56巻、4冊 1帖、3幅、2合	中山2丁目10-1	法華経寺	昭和42年6月15日 平成5年1月20日	
11	史跡	堀之内貝塚	26, 789. 85㎡	堀之内2丁目2899 ほか	市川市ほか	昭和39年7月6日 昭和42年6月22日 昭和47年2月3日	一部 追加 指定
12	史跡	姥山貝塚	22, 772. 81㎡	柏井町1丁目1212 ほか	市川市	昭和42年8月17日	
13	史跡	下総国分寺跡 附北下瓦窯跡	21, 336. 85㎡	国分3丁目1790-1 ほか	市川市ほか	昭和42年12月27日 平成14年9月20日 平成22年8月5日	一部 追加 指定
14	史跡	下総国分尼寺跡	6, 615. 49㎡	国分4丁目1966-1 ほか	市川市ほか	昭和42年12月27日 平成元年3月29日 平成14年9月20日	一部 追加 指定
15	史跡	曾谷貝塚	50, 216. 87㎡	曾谷2丁目500-1 ほか	市川市ほか	昭和54年12月22日 平成21年7月23日 平成28年3月1日	一部 追加 指定
16	天然記念物	千本公孫樹	1樹	八幡4丁目2-1	葛飾八幡宮	昭和6年2月20日	

(2) 県指定

番号	種別	名称	員数	所在地又は伝承地	所有者又は管理者	指定年月日	備考
1	有形文化財 (工芸)	梵鐘 (元亨元年在銘)	1口	八幡4丁目2-1	葛飾八幡宮	昭和34年4月24日	
2	無形文化財	茶道 式正織部流		国府台3丁目8-2	織部桔梗会	昭和30年12月15日	
3	史跡	須和田遺跡	7, 712㎡	須和田2丁目417ほか 須和田公園	市川市	平成6年2月22日	
4	有形文化財 (彫刻)	木造釈迦如来・多宝如来座像 附像内納入品	2軀	中山2丁目10-1	法華経寺	平成10年3月20日	
5	有形文化財 (絵画)	絹本着色十羅刹女像	1幅	中山3丁目10-4	浄光院	平成12年2月25日	
6	有形文化財 (絵画)	柴田是真画連句額	1面	菅野1丁目15-2	白幡天神社	平成18年3月14日	

(3) 市指定

番号	種別	名称	員数	所在地又は伝承地	所有者又は管理者	指定年月日	備考
1	有形文化財 (建造物)	常夜灯	1基	本行徳34番地先	市川市	昭和35年10月7日	
2	有形文化財 (建造物)	随神門	1棟	八幡4丁目2-1	葛飾八幡宮	昭和35年10月7日	
3	有形文化財 (建造物)	狩野浄天夫妻墓石・供養塔 附狩野浄天骨壺	3基 1個	香取1丁目16-26 市立市川歴史博物館	狩野一廣 市川市 附	昭和36年2月1日 昭和63年7月5日	
4	有形文化財 (建造物)	元弘の板碑	1基	高石神21-9	泰福寺	昭和36年2月1日	
5	有形文化財 (建造物)	法華経寺黒門 附太田資順筆扁額	1棟 1面	中山4丁目7地先	法華経寺	昭和36年11月9日	
6	有形文化財 (建造物)	本阿弥家分骨墓	3基	中山2丁目10-1	法華経寺	昭和36年11月9日	
7	有形文化財 (建造物)	明戸古墳石棺	2基	国府台3丁目67-5 里見公園内	市川市	昭和37年6月11日	
8	有形文化財 (建造物)	妙好寺山門	1棟	妙典1丁目11-10	妙好寺	昭和43年2月27日	
9	有形文化財 (建造物)	小笠原政信夫妻供養塔	2基	国府台3丁目10-1	総寧寺	昭和54年4月24日	
10	有形文化財 (建造物)	庚申五層塔	1基	柏井町3丁目654 子安神社	子安神社	昭和54年4月24日	
11	有形文化財 (建造物)	本阿弥光悦分骨墓	1基	中山2丁目10-1	法華経寺	昭和54年9月27日	
12	有形文化財 (建造物歴史資料)	真間万葉頭彰碑 附鈴木長頼蔵骨器及び墓誌	3基1個	真間4丁目4-9 真間4丁目6-11 真間4丁目7-23	亀井院・弘法寺 真間史蹟保存会	昭和54年9月27日	
13	有形文化財 (建造物)	鈴近江翁碑	1基	真間4丁目3	亀井院	昭和57年3月10日	
14	有形文化財 (建造物)	徳願寺山門	1棟	本行徳5-22	徳願寺	平成16年3月24日	
15	有形文化財 (建造物)	徳願寺鐘楼	1棟	本行徳5-22	徳願寺	平成16年3月24日	

16	有形文化財 (建造物)	徳願寺経蔵	1棟	本行徳5-22	徳願寺	平成16年3月24日	
17	有形文化財 (彫刻)	木彫日蓮坐像	1軀	柏井1丁目1696	唱行寺	昭和36年9月18日	
18	有形文化財 (彫刻)	浄光寺二王像	1軀	大野町3丁目1917	浄光寺	昭和40年3月2日	
19	有形文化財 (彫刻)	法華経寺銅造釈迦如来坐像	1軀	中山2丁目10-1	法華経寺	平成31年3月13日	
20	有形文化財 (書跡)	光悦筆扇額 附「通本」	3面 1面	中山2丁目10-1	法華経寺	昭和36年11月9日 附 昭和54年9月27日	
21	有形文化財 (考古資料)	鬼高遺跡出土一括遺物	1括	市立市川考古博物館	市川市	昭和56年4月17日	
22	有形文化財 (工芸)	誕生仏	1軀	市立市川考古博物館	市川市	昭和56年4月17日	
23	有形文化財 (歴史資料)	「ワートル薬性論」版木	8枚	市立市川歴史博物館	市川市	昭和61年11月3日	
24	民俗文化財	御奉謝		大野町4丁目2759 駒形大神社	駒形神社お奉謝部	昭和40年3月2日	
25	民俗文化財	国府台辻切り		国府台3丁目 (旧国府台地区)	国府台辻切り 保存会	昭和54年4月24日	
26	民俗文化財	武内宿禰山車人形	1体	市川市市川3丁目20番5号 春日神社	春日神社	平成28年4月15日	
27	史跡	美濃輪台遺跡 -B地点-	1, 745㎡	本北方3丁目18	市川市	昭和50年1月8日	
28	史跡	須和田遺跡	5, 288㎡	須和田2丁目401ほか 須和田公園	市川市	昭和50年1月8日	
29	史跡	下総総社跡	1, 120. 5㎡	市川市スポーツセンター内	市川市	昭和50年1月8日	
30	史跡	鬼高遺跡	2, 479㎡	鬼高1丁目95-1	日本毛織(株)	昭和63年7月5日	
31	天然記念物	ヒメアカネ		大町公園自然観察園周辺	市川市	昭和51年6月12日	
32	天然記念物	ヒヌマイトトンボ		河原、稲荷木の江戸川河 岸の湿地帯	市川市	昭和51年6月12日	
33	天然記念物	伊弉諾神社ハリギリ	1樹	堀之内4丁目26-13	伊弉諾神社	昭和54年4月24日	
34	天然記念物	愛宕神社イチョウ	2樹	北国分1丁目12-24	愛宕神社	昭和58年11月3日	
35	天然記念物	禅照庵マキ	1樹	北国分4丁目13-24	禅照庵	昭和58年11月3日	

5 登録文化財

番号	種別	名称	員数	所在地又は伝承地	所有者又は管理者	登録年月日	備考
1	有形文化財 (建造物)	西洋館倶楽部(渡辺家住宅)	1棟	新田5丁目6-21	渡辺 俊司	平成11年7月8日	
2	有形文化財 (建造物)	日本福音ルーテル市川教会会堂	1棟	市川4丁目288-14	宗教法人 日本福音ルーテル教会	平成20年10月23日	
3	有形文化財 (建造物)	加藤家住宅主屋 加藤家住宅煉瓦塀	1棟 1基	本行徳6-1	個人所有	平成22年4月28日	
4	有形文化財 (建造物)	旧浅子神輿店店舗兼主屋	1棟	本行徳37-2	市川市	平成22年9月10日	
5	有形文化財 (建造物)	昭和学院創立記念館	1棟	東菅野2丁目1470-1ほか	学校法人 昭和学院	平成23年1月26日	
6	有形文化財 (建造物)	中村家住宅主屋 中村家住宅離れ 中村家住宅煉瓦蔵 中村家住宅土蔵 中村家住宅北蔵及び事務所 中村家住宅倉庫 中村家住宅稲荷社 中村家住宅防空壕 中村家住宅門及び石塀	1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1棟 1基 1基	鬼越2丁目200-1ほか	個人所有	平成26年10月7日	
7	有形文化財 (建造物)	後藤家住宅主屋 後藤家住宅稲荷社	1棟 1棟	新田1丁目296ほか	個人所有	平成29年6月28日	

令和元年度版 市川市の教育

発行日 令和2年1月
編集発行 市川市教育委員会 生涯学習部 教育総務課
住所 〒272-0023
千葉県市川市南八幡1丁目17番15号
電話 047-334-1111（代表） 047-383-9224（直通）
URL <http://www.city.ichikawa.lg.jp>
